

第 I 部 調査概要

第1章 調査の趣旨、実施方法等

1 本調査の趣旨・目的

人生100年時代を迎え、働く意欲がある高齢者がその能力を十分に発揮できるよう、高齢者の活躍の場を整備することが重要な課題となっている。

こうした中で、高齢者雇用に関する政策立案のための基礎資料として活用されるよう、現行の高年齢者雇用安定法の下での高年齢者雇用確保措置の実施状況や、高齢者の就業・生活に関する実態について、調査を行ったものである。

また、本調査の調査項目の一部は、2014年に実施した「60代の雇用・生活調査」を引き継いでいる。これは、古くは2004年まで厚生労働省で実施していた「高年齢者就業実態調査」の流れをくむものである。本調査における基本的な調査項目については、今後とも5年程度の間隔で継続的に実態を把握していくことが重要である。

2 調査の対象、時期及び回収状況

- 調査対象

60～69歳の5,000人（個人を対象）

就業構造基本調査（2017年）における年齢階層別・性別の雇用者数及び自営業主数に基づき、年齢階層別・性別の調査対象者数を次のように設定

{	60～64歳	男性 1,600人、女性 1,100人	}
	65～69歳	男性 1,400人、女性 900人	}

- 調査方法

住民基本台帳から層化二段系統抽出法により抽出
訪問留め置き法

- 調査時期

2019年7月～8月（調査時点2019年6月1日）

- 有効回答

2,883人（有効回答率：57.7%）

3 結果の表章

本調査の結果は、抽出率の逆数によるウェイトバック（復元）を行い、それぞれの調査項目の該当者計の復元後の人数（千人単位）及びカテゴリーごとの構成比で表章している。

なお、回答者の実人数と復元後の人数とは図表1-1（次ページ）のようになっている。

図表 1-1 回答者の実人数とウエイト復元後の人数の対応表

		回答者実人数		復元後の人数	
		人数（人）	構成比（％）	人数（千人）	構成比（％）
60～69 歳計		2,883	100.0	17,303	100.0
	60～64 歳	1,590	55.2	7,634	44.1
	65～69 歳	1,293	44.8	9,668	55.9
男性	60～69 歳計	1,731	60.0	8,467	48.9
	60～64 歳	934	32.4	3,780	21.8
	65～69 歳	797	27.6	4,687	27.1
女性	60～69 歳計	1,152	40.0	8,835	51.1
	60～64 歳	656	22.8	3,854	22.3
	65～69 歳	496	17.2	4,981	28.8

4 本調査シリーズの構成

調査結果の概要は、第2章と第3章に分けて記述している。

第2章は、今回の調査結果の概要のとりまとめであり、通常の調査結果のとりまとめと同様である。

一方、第3章においては、2014年調査と今回の調査で調査項目が同様のものについて結果を比較している。これは、本調査の調査項目の一部が5年程度の間隔で定期的に行われており、時系列的な変化を観察できるためであり、本調査シリーズの特徴といえる。

なお、当機構が2014年に実施した「60代の雇用・生活調査」については、JILPT調査シリーズ No.135 として、とりまとめられているところである。

第2章 調査結果の概要（1）（2019年調査のみ）

1 60代の就業状況

（1）60代の就業有無

60代の就業有無について、2019年6月に収入になる仕事をした者（以下「就業者」という。）は59.0%、仕事をしなかった者は41.0%である。なお、就業者には仕事を持っていて6月中に休職・休業していた者も含む。

年齢階層別にみると、60代前半層は就業者が70.2%、60代後半層は50.1%である。性・年齢階級別に就業者の割合をみると、男性60～64歳は80.8%、65～69歳は59.6%、女性60～64歳は59.8%、65～69歳は41.1%となっており、いずれの年齢階層においても、男性の方が就業率が20ポイント程度高い。（図表2-1）

図表2-1 就業有無(2019年6月)(単位:%)

		総数(人)	計	した	しなかった	無回答
全体		17,302,654	100.0	59.0	41.0	-
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	70.2	29.8	-
	65～69歳	9,668,578	100.0	50.1	49.9	-
男性計		8,467,638	100.0	69.1	30.9	-
	60～64歳	3,780,235	100.0	80.8	19.2	-
	65～69歳	4,687,403	100.0	59.6	40.4	-
女性計		8,835,016	100.0	49.3	50.7	-
	60～64歳	3,853,841	100.0	59.8	40.2	-
	65～69歳	4,981,175	100.0	41.1	58.9	-

（2）60代の就業者の状況

（仕事の種類）

就業者の仕事の種類をみると、「専門的・技術的な仕事」（21.8%）、「サービスの仕事」（14.8%）、「事務的な仕事」（10.5%）、「管理的な仕事」（9.0%）の順に多い。

男女別にみると、男性では「専門的・技術的な仕事」（23.7%）、「管理的な仕事」（13.1%）、「サービスの仕事」（11.9%）の順に多いのに対して、女性では「専門的・技術的な仕事」（19.2%）、「サービスの仕事」（18.6%）、「事務的な仕事」（14.3%）が多くなっている。（図表2-2）

図表 2-2 就業者の仕事内容(単位:%)

	総数(人)	計	管理的な仕事	専門的・技術的な仕事	事務的な仕事	販売の仕事	サービスの仕事	保安の仕事	農林漁業の仕事	生産工程の仕事	輸送・機械運転の仕事	建設・採掘の仕事	運搬・清掃・包装等の仕事	その他	無回答	
全体	10,200,993	100.0	9.0	21.8	10.5	7.5	14.8	1.3	4.5	6.9	3.0	3.3	6.0	11.0	0.6	
年齢階層	60～64歳	5,358,662	100.0	8.3	24.4	12.0	8.1	13.4	1.2	3.0	7.7	3.2	2.8	5.8	9.6	0.4
	65～69歳	4,842,331	100.0	9.6	18.8	8.9	6.8	16.3	1.3	6.1	6.0	2.8	3.7	6.3	12.5	0.8
男性計	5,849,379	100.0	13.1	23.7	7.7	6.8	11.9	2.1	4.4	5.5	4.9	5.4	5.1	8.8	0.4	
	60～64歳	3,055,757	100.0	12.7	26.6	9.5	6.9	11.1	2.0	2.6	6.4	5.0	4.8	4.4	7.7	0.3
	65～69歳	2,793,622	100.0	13.5	20.4	5.7	6.7	12.8	2.3	6.3	4.6	4.8	6.1	5.9	10.1	0.6
女性計	4,351,614	100.0	3.4	19.2	14.3	8.4	18.6	0.1	4.7	8.7	0.4	0.4	7.3	13.9	0.7	
	60～64歳	2,302,905	100.0	2.6	21.4	15.3	9.7	16.3	0.3	3.6	9.4	0.8	0.3	7.7	12.2	0.5
	65～69歳	2,048,709	100.0	4.4	16.7	13.2	6.9	21.1	-	5.9	7.8	-	0.5	6.9	15.7	1.0

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

(勤務先の業種)

就業者の勤務先の業種をみると、「製造業」(13.5%)、「医療・福祉」(12.1%)、「サービス業(他に分類されないもの)」(12.1%)、「卸売・小売業」(10.1%)の順に多い。

男女別にみると、男性は「製造業」(15.1%)と「建設業」(12.6%)、「サービス業(他に分類されないもの)」(12.1%)が多いのに対し、女性は「医療・福祉」(19.5%)、「サービス業(他に分類されないもの)」(12.1%)、「卸売・小売業」(11.8%)、「製造業」(11.3%)が多くなっている。(図表2-3)

図表 2-3 就業者の勤務先の業種(単位:%)

	総数(人)	計	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	生活関連サービス・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉	複合サービス業	サービス業(他に分類されないもの)	公務	その他	無回答	
全体	10,200,993	100.0	4.7	0.1	8.8	13.5	1.7	1.7	5.3	10.1	1.4	3.0	3.4	5.3	2.4	5.0	12.1	2.4	12.1	4.3	1.5	1.3	
年齢階層	60～64歳	5,358,662	100.0	3.1	0.2	8.1	15.4	1.6	2.3	5.8	1.2	2.1	3.7	4.1	1.9	5.1	13.1	1.8	10.7	6.0	1.4	0.8	
	65～69歳	4,842,331	100.0	6.5	-	9.5	11.4	1.9	0.9	4.8	1.2	4.0	3.1	6.7	3.1	4.8	11.0	3.0	13.6	2.4	1.6	1.8	
男性計	5,849,379	100.0	4.6	0.2	12.6	15.1	2.5	2.1	8.2	8.9	2.0	2.8	4.1	2.6	1.9	3.8	6.6	2.2	12.1	5.3	1.3	1.2	
	60～64歳	3,055,757	100.0	2.8	0.4	12.3	17.7	2.4	2.9	8.5	10.1	2.3	1.7	4.0	2.3	0.8	4.5	6.1	0.8	11.4	7.9	0.9	0.3
	65～69歳	2,793,622	100.0	6.5	-	12.8	12.2	2.5	1.3	8.0	1.7	4.0	4.2	2.9	3.2	2.9	7.2	3.8	12.8	2.3	1.7	2.3	
女性計	4,351,614	100.0	4.9	-	3.7	11.3	0.7	1.0	1.4	11.8	0.6	3.2	2.4	9.0	3.1	6.6	19.5	2.5	12.1	2.9	1.8	1.3	
	60～64歳	2,302,905	100.0	3.6	-	2.6	12.2	0.5	1.5	2.3	12.8	0.8	2.6	3.3	6.6	5.9	22.4	3.1	9.7	3.3	2.0	1.5	
	65～69歳	2,048,709	100.0	6.4	-	4.9	10.3	1.0	0.5	10.8	0.5	3.9	1.5	11.8	2.9	7.4	16.2	2.0	14.7	2.5	1.5	1.0	

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

(勤務先の従業員規模)

就業者の勤務先の従業員規模をみると、30人未満の企業が43.7%、100人以上の企業が33.0%を占める。年齢階層別にみると、60代前半層では30人未満の企業規模の者が37.9%であるのに対し、60代後半層では50.2%であり、10ポイント程度高くなっている。性別でみると、いずれの性別でも30人未満の企業が4割を占める(男性43.4%、女性44.2%)。

(図表2-4)

図表 2-4 就業者の勤務先の従業員規模(単位:%)

		総数(人)	計	4人以下	5~9人	10~29人	30~49人	50~99人	100~299人	300~499人	500~999人	1,000~4,999人	5,000人以上	官公庁	無回答
全体		10,200,993	100.0	20.8	9.8	13.2	7.7	8.9	12.0	4.8	4.9	6.5	4.8	3.3	3.4
年齢階層	60~64歳	5,358,662	100.0	17.4	7.9	12.6	7.7	8.9	13.5	5.1	5.4	7.8	6.9	4.2	2.7
	65~69歳	4,842,331	100.0	24.4	12.0	13.7	7.7	9.0	10.4	4.4	4.3	5.0	2.5	2.3	4.2
男性計		5,849,379	100.0	19.9	10.1	13.4	7.3	8.3	12.0	5.1	5.0	8.0	5.0	3.6	2.2
	60~64歳	3,055,757	100.0	17.1	8.2	12.7	6.8	7.2	12.7	5.2	6.8	9.0	7.8	5.0	1.6
	65~69歳	2,793,622	100.0	22.9	12.2	14.1	8.0	9.5	11.2	5.1	3.2	6.9	1.9	2.1	2.9
女性計		4,351,614	100.0	21.9	9.5	12.8	8.2	9.9	12.1	4.3	4.7	4.4	4.6	2.8	4.9
	60~64歳	2,302,905	100.0	17.9	7.4	12.5	8.9	11.2	14.5	5.1	3.6	6.1	5.6	3.1	4.1
	65~69歳	2,048,709	100.0	26.5	11.8	13.2	7.4	8.3	9.3	3.4	5.9	2.5	3.4	2.5	5.9

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

(勤続年数)

就業者の勤続年数をみると、「31年以上」が31.4%と最も多く、これに「11年以上20年以下」(16.0%)、「21年以上30年以下」(12.7%)、「6~10年」(12.7%)がつづく。平均勤続年数は20.7年、標準偏差は16.3である。

男性では、「31年以上」が40.3%と最も多く、これに「21年以上30年以下」(11.3%)、「6~10年」(10.7%)、「11年以上20年以下」(10.6%)がつづく(平均23.1、標準偏差17.4)。女性では、「11年以上20年以下」が23.2%と最も多く、これに「31年以上」(19.5%)、「6~10年」(15.4%)がつづく(平均17.5、標準偏差14.1)。31年以上と非常に長期に渡って同一企業に勤務する者の割合は、男性の方が女性より20ポイント程度高い。(図表2-5)

図表 2-5 就業者の勤続年数(単位:%)

		総数(人)	計	1年以下	2年以上3年以下	4年以上5年以下	6年以上10年以下	11年以上20年以下	21年以上30年以下	31年以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		10,200,993	100.0	9.9	9.3	7.4	12.7	16.0	12.7	31.4	0.5	20.7	16.3
年齢階層	60~64歳	5,358,662	100.0	9.3	9.6	6.7	10.7	17.6	14.0	31.8	0.4	20.6	15.4
	65~69歳	4,842,331	100.0	10.5	9.1	8.2	14.9	14.2	11.3	31.1	0.7	20.7	17.3
男性計		5,849,379	100.0	10.1	9.7	6.8	10.7	10.6	11.3	40.3	0.5	23.1	17.4
	60~64歳	3,055,757	100.0	9.5	9.1	6.2	8.3	10.3	12.2	44.0	0.3	23.9	16.5
	65~69歳	2,793,622	100.0	10.7	10.3	7.4	13.3	10.9	10.3	36.2	0.8	22.2	18.3
女性計		4,351,614	100.0	9.6	8.9	8.3	15.4	23.2	14.6	19.5	0.5	17.5	14.1
	60~64歳	2,302,905	100.0	8.9	10.2	7.4	13.8	27.3	16.3	15.6	0.5	16.3	12.6
	65~69歳	2,048,709	100.0	10.3	7.4	9.3	17.2	18.6	12.7	24.0	0.5	18.8	15.6

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

(6月の勤務日数)

就業者の2019年6月の勤務日数は、「20~24日」が46.4%と最も多く、これに「25日以上」(17.1%)、「15~19日」(16.3%)がつづく。20日以上の割合が63.5%を占めており、6割以上が週5日以上働いているといえる。なお、6月の平均勤務日数は18.8日、標準偏差

6.2 である。

20 日以上勤務する者の割合を年齢階層別にみると、60 代前半層では 70.1%、60 代後半層では 56.2%であり、60 代後半層でも半数以上が週 5 日以上働いている。(図表 2-6)

図表 2-6 就業者の勤務日数(2019 年 6 月)(単位:%)

		総数(人)	計	4日以下	5~9日	10~14日	15~19日	20~24日	25日以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		10,200,993	100.0	4.1	4.3	11.0	16.3	46.4	17.1	0.9	18.8	6.2
年齢階層	60~64歳	5,358,662	100.0	2.5	3.6	7.5	15.6	52.3	17.8	0.7	19.7	5.5
	65~69歳	4,842,331	100.0	5.9	5.0	14.9	17.0	39.8	16.4	1.0	17.8	6.8
男性計		5,849,379	100.0	3.2	3.8	8.9	13.9	50.1	19.4	0.6	19.5	6.0
	60~64歳	3,055,757	100.0	1.7	2.3	4.4	11.8	57.9	21.7	0.3	20.7	5.0
	65~69歳	2,793,622	100.0	4.8	5.5	13.9	16.2	41.7	16.8	1.1	18.1	6.7
女性計		4,351,614	100.0	5.4	4.9	13.8	19.5	41.3	14.0	1.1	17.9	6.4
	60~64歳	2,302,905	100.0	3.6	5.4	11.7	20.7	44.9	12.5	1.3	18.3	5.8
	65~69歳	2,048,709	100.0	7.4	4.4	16.2	18.1	37.3	15.7	1.0	17.4	6.9

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

(6月の1日当たりの労働時間)

就業者の1日当たりの労働時間は、8時間以上が 51.2%、5~7時間が 29.1%を占める。

8時間以上の割合を年齢階層別にみると、60代前半層では 59.7%、60代後半層では 41.9%であり、60代後半層では 20ポイント程低い。性別でみると、男性では 65.1%、女性では 32.5%であり、女性の方が 30ポイント程低い。(図表 2-7)

図表 2-7 就業者の1日あたりの平均労働時間(2019 年 6 月)(単位:%)

		総数(人)	計	1時間以下	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間以上	無回答
全体		10,200,993	100.0	2.5	2.6	5.6	8.0	8.9	8.7	11.5	35.7	7.1	8.4	0.8
年齢階層	60~64歳	5,358,662	100.0	1.2	1.3	3.2	6.6	8.1	7.5	11.8	41.4	8.5	9.8	0.6
	65~69歳	4,842,331	100.0	4.0	4.0	8.4	9.6	9.9	10.1	11.1	29.4	5.6	6.9	1.0
男性計		5,849,379	100.0	1.6	1.5	3.2	4.1	5.4	8.3	10.1	43.6	10.3	11.3	0.6
	60~64歳	3,055,757	100.0	0.9	0.8	2.1	1.5	2.3	5.0	9.4	50.7	12.7	14.3	0.3
	65~69歳	2,793,622	100.0	2.3	2.3	4.4	6.9	8.8	11.8	10.9	35.8	7.6	8.0	1.1
女性計		4,351,614	100.0	3.8	4.1	8.9	13.4	13.7	9.4	13.3	25.1	2.9	4.6	1.0
	60~64歳	2,302,905	100.0	1.5	2.0	4.6	13.5	15.8	10.7	15.1	29.1	2.8	3.8	1.0
	65~69歳	2,048,709	100.0	6.4	6.4	13.7	13.2	11.3	7.8	11.3	20.6	2.9	5.4	1.0

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

(6月の賃金等収入)

就業者の2019年6月の賃金等収入は、「5万円以上10万円未満」が 19.9%で最も多く、これに「20万円以上30万円未満」(16.7%)、「10万円以上15万円未満」(16.2%)が

く。15万円未満は48.3%、15万円以上は45.4%であり、ほぼ拮抗している。

性別でみると、男性は15万円未満が31.5%、15万円以上が62.6%であるのに対し、女性は15万円未満が71.0%、15万円以上が22.2%であり、性別による差が大きいといえる。

さらに年齢階層・性別で15万円未満の割合をみると、男性は60代前半層で19.1%なのに対し、60代後半層になると45.1%と25ポイント以上上昇する。女性は60代前半層66.1%から60代後半層76.5%と、男性ほどではないにせよ、年齢によって10ポイント程度、低賃金の割合が上昇する。(図表2-8)

図表2-8 就業者の賃金等収入(2019年6月)(単位:%)

		総数(人)	計	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上15 万円未満	15万円以上20 万円未満	20万円以上30 万円未満	30万円以上50 万円未満	50万円 以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		10,200,993	100.0	12.2	19.9	16.2	12.6	16.7	10.0	6.0	6.3	20.5	33.8
年齢階層	60~64歳	5,358,662	100.0	7.6	16.9	14.7	14.4	20.9	11.9	7.3	6.2	22.8	31.5
	65~69歳	4,842,331	100.0	17.3	23.1	17.9	10.6	12.1	7.9	4.5	6.5	18.0	36.1
男性計		5,849,379	100.0	7.8	9.9	13.8	15.5	22.5	14.9	9.6	5.9	27.1	42.4
	60~64歳	3,055,757	100.0	4.0	5.3	9.8	16.8	27.8	19.3	11.9	5.0	30.4	38.7
	65~69歳	2,793,622	100.0	12.0	14.9	18.1	14.1	16.6	10.1	7.2	6.9	23.5	46.0
女性計		4,351,614	100.0	18.2	33.3	19.5	8.7	9.0	3.4	1.1	6.8	11.6	10.9
	60~64歳	2,302,905	100.0	12.5	32.4	21.2	11.2	11.7	2.0	1.3	7.7	12.4	10.9
	65~69歳	2,048,709	100.0	24.5	34.3	17.6	5.9	5.9	4.9	1.0	5.9	10.6	10.9

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

(6月の賞与)

就業者のうち、賞与をもらえる見込みのある人は30.0%で、年齢階層別にみると60代前半層で37.7%、60代後半層で21.6%である。

その見込み額は、「30万円以上50万円未満」(15.3%)が最も多く、次いで「5万円未満」(13.6%)、「50万円以上70万円未満」(11.0%)である。平均70.2万円、標準偏差127.4で、ばらつきが大きい。男女別に平均値をみると、男性は92.0万円であるのに対し、女性は32.9万円、性別による差が大きい。さらに、年齢階層別・性別に平均値をみると男性60代前半は102.6万円、60代後半は69.1万円、女性60代前半は41.7万円、60代後半は18.2万円である。このことから、性別のみでなく60代後半になるにつれ賞与額は下がっているといえる。(図表2-9、2-10)

図表2-9 就業者の賞与をもらえる見込み(2019年6月)(単位:%)

		総数(人)	計	賞与をもらえる見込みが ない	賞与をもらえる見込みが ある	無回答
全体		10,200,993	100.0	67.5	30.0	2.4
年齢階層	60~64歳	5,358,662	100.0	59.6	37.7	2.7
	65~69歳	4,842,331	100.0	76.3	21.6	2.1
男性計		5,849,379	100.0	64.5	32.9	2.6
	60~64歳	3,055,757	100.0	55.1	42.6	2.3
	65~69歳	2,793,622	100.0	74.7	22.3	2.9
女性計		4,351,614	100.0	71.6	26.2	2.2
	60~64歳	2,302,905	100.0	65.6	31.1	3.3
	65~69歳	2,048,709	100.0	78.4	20.6	1.0

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

図表 2-10 今年1年間で見込まれる賞与金額(2019年6月)(単位:%)

		総数(人)	計	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	50万円以上 70万円未満	70万円以上 100万円未満	100万円以上 150万円未満	150万円以上 200万円未満	200万円以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		3,065,182	100.0	13.6	7.5	8.6	4.1	9.8	15.3	11.0	8.8	6.8	3.4	8.6	2.6	70.2	127.4
年齢階層	60～64歳	2,019,971	100.0	8.7	7.0	7.9	4.0	9.1	17.2	12.3	10.4	7.7	3.4	10.1	2.3	81.4	144.6
	65～69歳	1,045,212	100.0	23.1	8.5	9.9	4.3	11.0	11.6	8.5	5.9	5.1	3.4	5.6	3.2	48.4	79.6
男性計		1,926,669	100.0	5.8	4.9	7.4	3.9	9.9	16.5	14.4	9.1	9.3	4.8	12.1	2.1	92.0	151.1
	60～64歳	1,303,250	100.0	3.1	2.8	6.8	3.1	9.6	18.9	16.8	10.2	9.6	4.3	13.4	1.2	102.6	169.6
	65～69歳	623,419	100.0	11.3	9.4	8.5	5.7	10.4	11.3	9.4	6.6	8.5	5.7	9.4	3.8	69.1	96.5
女性計		1,138,513	100.0	26.9	11.9	10.6	4.5	9.6	13.2	5.2	8.5	2.6	1.0	2.6	3.5	32.9	51.9
	60～64歳	716,720	100.0	18.9	14.8	9.8	5.7	8.2	13.9	4.1	10.7	4.1	1.6	4.1	4.1	41.7	61.8
	65～69歳	421,793	100.0	40.5	7.1	11.9	2.4	11.9	11.9	7.1	4.8	-	-	-	2.4	18.2	21.4

注: サンプル数は、図表2-9で「賞与をもらえる見込みがある」と回答した者である。

(就業者の働く理由)

就業者に仕事をした理由を複数回答で尋ねたところ、「経済上の理由」が76.4%と最も多く、次いで「いきがい、社会参加のため」が33.4%となっている。(図表2-11)

最も主要な理由でも「経済上の理由」の割合が64.7%と最も高く、第2位の「いきがい、社会参加のため」(11.0%)を大きく引き離している。年齢階層別にみると、60代前半層は「経済上の理由」が70.1%、60代後半層は58.6%と、60代前半層の方が10ポイント程高い。なお、性別による差はみられない。(図表2-12)

「経済上の理由」を最も主要な理由として挙げた人に対して、その理由を尋ねたところ、「自分と家族の生活を維持するため」が84.2%と最も多く、「生活水準を上げるため」(9.8%)を大きく引き離している。なお年齢階層や性別による差は見られない。(図表2-13)

図表 2-11 就業者が働いていた理由(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	経済上の理由	健康上の理由 (健康に良いなど)	いきがい、 社会参加のため	頼まれたから	時間に余裕があるから	その他	無回答
全体		10,200,993	76.4	20.6	33.4	15.6	22.6	10.1	1.0
年齢階層	60～64歳	5,358,662	82.3	18.7	33.6	13.1	20.3	9.3	0.8
	65～69歳	4,842,331	69.8	22.7	33.2	18.3	25.2	11.0	1.1
男性計		5,849,379	78.2	21.9	31.3	15.8	18.7	11.2	0.9
	60～64歳	3,055,757	84.5	18.4	29.7	12.7	14.2	10.3	0.7
	65～69歳	2,793,622	71.4	25.7	33.1	19.2	23.6	12.2	1.3
女性計		4,351,614	73.8	18.9	36.2	15.2	27.9	8.6	1.0
	60～64歳	2,302,905	79.3	19.1	38.8	13.5	28.3	7.9	1.0
	65～69歳	2,048,709	67.6	18.6	33.3	17.2	27.5	9.3	1.0

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

図表 2-12 働いていた最も主要な理由（単位：％）

		総数（人）	計	経済上の理由	健康上の理由 （健康に良い など）	いきがい、社会 参加のため	頼まれたから	時間に余裕が あるから	その他	無回答
全体		10,200,993	100.0	64.7	3.3	11.0	5.5	5.3	7.8	2.5
年齢階層	60～64歳	5,358,662	100.0	70.1	2.7	9.9	4.7	3.8	6.9	2.0
	65～69歳	4,842,331	100.0	58.6	4.0	12.2	6.4	7.0	8.8	3.0
男性計		5,849,379	100.0	65.9	3.6	9.5	5.3	4.2	8.8	2.7
	60～64歳	3,055,757	100.0	73.0	2.8	8.1	4.0	2.3	7.8	2.1
	65～69歳	2,793,622	100.0	58.1	4.4	11.2	6.7	6.3	9.9	3.4
女性計		4,351,614	100.0	63.0	3.0	12.9	5.7	6.8	6.4	2.1
	60～64歳	2,302,905	100.0	66.3	2.6	12.2	5.6	5.9	5.6	1.8
	65～69歳	2,048,709	100.0	59.3	3.4	13.7	5.9	7.8	7.4	2.5

注：サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

図表 2-13 経済上の理由と答えた最も主要な理由（単位：％）

		総数（人）	計	自分と家族の生活 を維持するため	生活水準を 上げるため	その他	無回答
全体		7,788,921	100.0	84.2	9.8	2.4	3.5
年齢階層	60～64歳	4,409,266	100.0	85.9	8.2	2.4	3.5
	65～69歳	3,379,655	100.0	82.0	11.9	2.5	3.6
男性計		4,575,980	100.0	85.1	9.1	2.3	3.5
	60～64歳	2,582,216	100.0	89.3	6.3	2.0	2.4
	65～69歳	1,993,764	100.0	79.6	12.7	2.7	5.0
女性計		3,212,941	100.0	83.0	10.9	2.6	3.6
	60～64歳	1,827,050	100.0	81.0	10.9	2.9	5.1
	65～69歳	1,385,891	100.0	85.5	10.9	2.2	1.4

注：サンプル数は図表2-12で「経済上の理由」と回答した者である。

（仕事の満足度）

就業者の仕事の満足度をみると、「普通」47.2%、「やや満足している」22.7%、「大いに満足している」14.6%となっており、年齢階層や性別によらず同様の傾向を示している。（図表2-14）

図表 2-14 就業者の仕事の満足度(単位:%)

		総数(人)	計	大いに満足している	やや満足している	普通	やや不満である	大いに不満である	無回答
全体		10,200,993	100.0	14.6	22.7	47.2	11.2	3.4	1.0
年齢階層	60～64歳	5,358,662	100.0	14.7	22.2	47.6	11.0	3.9	0.6
	65～69歳	4,842,331	100.0	14.6	23.2	46.8	11.3	2.7	1.4
男性計		5,849,379	100.0	14.3	20.8	48.4	11.4	3.9	1.2
	60～64歳	3,055,757	100.0	14.6	20.3	48.3	11.4	4.8	0.7
	65～69歳	2,793,622	100.0	14.1	21.5	48.4	11.4	2.9	1.7
女性計		4,351,614	100.0	15.0	25.1	45.7	10.8	2.6	0.7
	60～64歳	2,302,905	100.0	14.8	24.7	46.7	10.5	2.8	0.5
	65～69歳	2,048,709	100.0	15.2	25.5	44.6	11.3	2.5	1.0

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

(体力等の低下による仕事への影響)

体力等の低下で仕事上の不都合を感じているか尋ねたところ、「体力等の衰えはあるが、仕事をする上では特に不都合はない」が54.8%と最も多く、これに「体力等の問題はまだ余り感じたことがない」(19.1%)、「やや不都合を感じている」(18.8%)がつづく。

体力等の低下によって不都合を感じている人は25.6%であり、年齢階層や性別による差はみられない。(図表2-15)

図表 2-15 体力等の低下で感じる仕事上の不都合(単位:%)

		総数(人)	計	体力等の問題は まだ余り感じたことが ない	体力等の衰えは あるが、仕事をする上では 特に不都合はない	やや不都合を感じて いる	体力や記憶力などが 原因で、仕事上、少 し失敗したことがある	かなり不都合があ り、仕事を辞めること も考え始めている	無回答
全体		10,200,993	100.0	19.1	54.8	18.8	4.1	2.6	0.4
年齢階層	60～64歳	5,358,662	100.0	20.7	52.9	19.4	4.3	2.5	0.3
	65～69歳	4,842,331	100.0	17.4	57.0	18.2	4.0	2.8	0.6
男性計		5,849,379	100.0	19.7	54.5	18.6	3.8	2.7	0.6
	60～64歳	3,055,757	100.0	22.0	52.2	18.8	3.7	3.0	0.3
	65～69歳	2,793,622	100.0	17.3	57.1	18.3	4.0	2.3	1.1
女性計		4,351,614	100.0	18.3	55.3	19.2	4.5	2.6	0.1
	60～64歳	2,302,905	100.0	18.9	53.8	20.2	5.1	1.8	0.3
	65～69歳	2,048,709	100.0	17.6	56.9	18.1	3.9	3.4	-

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

(65歳を過ぎても働くために必要なこと)

65歳を過ぎても働くために必要なことを複数回答で尋ねたところ、「健康・体力」が82.0%と最も多く、次いで「仕事への意欲」(58.9%)、「仕事の専門知識・技能があること」(46.2%)、「協調性(年下の管理監督者の下で働けることなど)」(34.9%)、「専門性よりは色々な仕事ができる能力や幅広い経験」(21.4%)が挙げられた。(図表2-16)

図表 2-16 65歳を過ぎても働くために必要なこと(複数回答)(単位:%)

	総数(人)	仕事の 専門知識・技能 があること	専門性よりは 色々な仕事で できる能力や幅広い 経験	協調性(年下 の管理監督者の 下でも働けること など)	仕事への意欲	健康・体力	幅広い人脈、知 り合いが多いこと	過去の 転職経験	定年前から、 定年後を意識し た準備(転職の 準備を含む)を 進めること	わからない	その他	無回答
全体	10,200,993	46.2	21.4	34.9	58.9	82.0	15.3	3.6	9.2	1.6	1.1	0.5
年齢階層												
60～64歳	5,358,662	46.1	22.8	37.7	60.9	84.2	15.0	3.8	9.9	1.9	1.1	0.2
65～69歳	4,842,331	46.3	19.9	31.9	56.7	79.7	15.7	3.4	8.5	1.2	1.1	0.8
男性計	5,849,379	51.4	21.9	33.4	56.8	79.2	18.0	3.0	9.2	1.6	1.0	0.6
60～64歳	3,055,757	50.3	22.0	34.4	58.7	80.5	18.5	3.7	9.1	2.1	1.2	0.3
65～69歳	2,793,622	52.6	21.9	32.2	54.7	77.7	17.5	2.3	9.3	1.1	0.8	1.1
女性計	4,351,614	39.2	20.8	37.0	61.7	85.9	11.6	4.3	9.3	1.5	1.2	0.2
60～64歳	2,302,905	40.6	24.0	42.1	63.8	89.0	10.2	3.8	11.0	1.5	1.0	-
65～69歳	2,048,709	37.7	17.2	31.4	59.3	82.4	13.2	4.9	7.4	1.5	1.5	0.5

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

(3) 60代の不就業者の状況

(6月中に仕事をしていなかった理由)

前掲の図表2-1で確認した通り、2019年6月の不就業者は41.0%である。その理由をみると、「仕事をしたいと思わなかった」人が71.8%で最も多いが、「仕事をしたいと思いつながら仕事に就けなかった」人も26.4%いる。なお、この傾向に年齢階層や性別による差はみられない。(図表2-17)

図表 2-17 不就業者が仕事をしなかった理由(単位:%)

	総数(人)	計	仕事をしたいと思いつながら仕事につけなかった	仕事をしたいと思わなかった	無回答
全体	7,101,661	100.0	26.4	71.8	1.8
年齢階層					
60～64歳	2,275,414	100.0	31.1	68.2	0.7
65～69歳	4,826,247	100.0	24.2	73.4	2.4
男性計	2,618,259	100.0	30.6	68.3	1.1
60～64歳	724,478	100.0	40.8	58.7	0.6
65～69歳	1,893,781	100.0	26.7	72.0	1.2
女性計	4,483,402	100.0	24.0	73.8	2.3
60～64歳	1,550,936	100.0	26.5	72.7	0.8
65～69歳	2,932,466	100.0	22.6	74.3	3.1

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「しなかった」と回答した者である。

「仕事をしたいと思いつながら仕事に就けなかった」人についてその理由を尋ねたところ、「あなたの健康上の理由」が38.3%と最も多く、次いで「適当な仕事が見つからなかった」(28.2%)、「家族の健康上の理由(介護等)」(19.8%)である。(図表2-18)

図表 2-18 6 月中に仕事に就けなかった主な理由(単位: %)

		総数(人)	計	適当な仕事が見 つからなかった	起業・開業の 準備中であった	請負や内職の仕事 の注文がなかった	あなたの健康上 の理由	家族の健康上の 理由(介護等)	家庭の事情 (5を除く。家 事など)	その他	無回答
全体		1,875,301	100.0	28.2	0.2	0.7	38.3	19.8	8.0	4.8	-
年齢階層	60～64歳	706,690	100.0	25.9	0.6	1.1	35.0	28.7	6.7	2.0	-
	65～69歳	1,168,610	100.0	29.6	-	0.5	40.3	14.3	8.7	6.5	-
男性計		801,250	100.0	36.8	0.5	1.7	42.6	11.4	1.5	5.4	-
	60～64歳	295,457	100.0	30.1	1.4	2.7	47.9	15.1	-	2.7	-
	65～69歳	505,793	100.0	40.7	-	1.2	39.5	9.3	2.3	7.0	-
女性計		1,074,051	100.0	21.8	-	-	35.1	26.0	12.8	4.3	-
	60～64歳	411,233	100.0	22.9	-	-	25.7	38.6	11.4	1.4	-
	65～69歳	662,818	100.0	21.2	-	-	40.9	18.2	13.6	6.1	-

注: サンプル数は図表2-17で「仕事をしたいと思いつながら仕事に就けなかった」と回答した者である。

さらに「適当な仕事が見つからなかった」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「職種が希望と合わなかった」が 37.2%、「条件にこだわらないが、仕事がない」が 26.5%、「労働時間が希望と合わなかった」が 14.6%であった。年齢階層別に見ると、60代前半層では「職種が希望と合わなかった」(54.4%)、60代後半層では「条件にこだわらないが、仕事がない」(34.2%)が最も多い。(図表 2-19)

図表 2-19 適当な仕事が見つからなかった主な理由(単位: %)

		総数(人)	計	職種が希望と合 わなかった	労働時間が希 望と合わなかった	賃金、報酬が希 望と合わなかった	勤務場所が希 望と合わなかった	条件にこだわらない が、仕事がない	その他	無回答
全体		529,482	100.0	37.2	14.6	1.9	9.0	26.5	6.3	4.6
年齢階層	60～64歳	183,038	100.0	54.4	11.8	5.4	5.4	12.1	8.6	2.2
	65～69歳	346,443	100.0	28.1	16.0	-	10.9	34.2	5.1	5.8
男性計		294,888	100.0	33.8	13.3	1.4	7.4	35.4	7.4	1.4
	60～64歳	89,042	100.0	59.1	4.5	4.5	4.5	18.2	4.5	4.5
	65～69歳	205,846	100.0	22.9	17.1	-	8.6	42.9	8.6	-
女性計		234,594	100.0	41.4	16.1	2.5	11.1	15.3	5.0	8.6
	60～64歳	93,996	100.0	50.0	18.8	6.3	6.3	6.3	12.5	-
	65～69歳	140,598	100.0	35.7	14.3	-	14.3	21.4	-	14.3

注: サンプル数は図表2-18で「適当な仕事が見つからなかった」と回答した者である。

「適当な仕事が見つからなかった」人に、希望する働き方を尋ねたところ、「短時間勤務で会社などに雇われたい」が 50.5%と約半数を占め、「普通勤務(フルタイム勤務)で会社などに雇われたい」は 21.0%にとどまる。この傾向は、年齢階層別、性別によらず同様である。(図表 2-20)

図表 2-20 最も希望する働き方(単位:%)

		総数(人)	計	普通勤務(フルタイム勤務)で会社などに雇われたい	短時間勤務で会社などに雇われたい	近所の人や会社などに頼まれたりして、任意に行う仕事をしたい	家庭で内職をしたい	自分で事業をしたい	その他	無回答
全体		529,482	100.0	21.0	50.5	11.3	8.2	4.9	1.1	3.0
年齢階層	60～64歳	183,038	100.0	20.9	52.0	12.1	6.4	5.4	3.2	-
	65～69歳	346,443	100.0	21.1	49.6	10.9	9.2	4.6	-	4.6
男性計		294,888	100.0	28.9	50.2	11.5	4.0	3.4	-	2.0
	60～64歳	89,042	100.0	36.4	40.9	18.2	-	4.5	-	-
	65～69歳	205,846	100.0	25.7	54.3	8.6	5.7	2.9	-	2.9
女性計		234,594	100.0	11.1	50.7	11.1	13.6	6.8	2.5	4.3
	60～64歳	93,996	100.0	6.3	62.5	6.3	12.5	6.3	6.3	-
	65～69歳	140,598	100.0	14.3	42.9	14.3	14.3	7.1	-	7.1

注: サンプル数は図表2-18で「適当な仕事が見つからなかった」と回答した者である。

(不就業者の求職活動状況)

図表2-18の中で、「適当な仕事が見つからなかった」と回答した者に対して、現在の求職活動状況を尋ねたところ、「している」人が45.0%、「していない」人が55.0%であった。

年齢階層別にみると、求職活動を「している」人の割合は、60代前半層で61.8%、60代後半層で36.1%で、前半層の方が25ポイント程度高い。また性別では、男性で38.4%、女性で53.2%で、女性の方が15ポイント程度高い。(図表2-21)

図表 2-21 求職活動の有無(単位:%)

		総数(人)	計	している	していない	無回答
全体		529,482	100.0	45.0	55.0	-
年齢階層	60～64歳	183,038	100.0	61.8	38.2	-
	65～69歳	346,443	100.0	36.1	63.9	-
男性計		294,888	100.0	38.4	61.6	-
	60～64歳	89,042	100.0	54.5	45.5	-
	65～69歳	205,846	100.0	31.4	68.6	-
女性計		234,594	100.0	53.2	46.8	-
	60～64歳	93,996	100.0	68.8	31.3	-
	65～69歳	140,598	100.0	42.9	57.1	-

注: サンプル数は図表2-18で「適当な仕事が見つからなかった」と回答した者である。

上記のうち、現在求職活動をしている人に、求職活動期間を尋ねたところ、「3ヶ月～6ヶ月未満」(25.1%)、「6ヶ月～1年未満」(24.2%)、「3ヶ月未満」(19.9%)の順に多く、半年未満が45.0%、半年以上が55.0%を占める。半年以上の求職活動者は、特に60代後半層(60.4%)と女性(60.4%)が多い。(図表2-22)

図表 2-22 求職期間(単位:%)

		総数 (人)	計	3ヶ月未満	3ヶ月～ 6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年～1年 6ヶ月未満	1年6ヶ月～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年以上	無回答
全体		238,141	100.0	19.9	25.1	24.2	17.5	2.5	1.7	9.2	-
年齢階層	60～64歳	113,191	100.0	26.3	24.7	27.9	12.3	5.2	3.6	-	-
	65～69歳	124,951	100.0	14.1	25.5	20.8	22.2	-	-	17.5	-
男性計		113,263	100.0	26.3	24.7	12.3	22.7	-	3.6	10.4	-
	60～64歳	48,568	100.0	25.0	33.3	16.7	16.7	-	8.3	-	-
	65～69歳	64,694	100.0	27.3	18.2	9.1	27.3	-	-	18.2	-
女性計		124,878	100.0	14.1	25.5	34.9	12.7	4.7	-	8.0	-
	60～64歳	64,622	100.0	27.3	18.2	36.4	9.1	9.1	-	-	-
	65～69歳	60,256	100.0	-	33.3	33.3	16.7	-	-	16.7	-

注: サンプル数は図表2-21で求職活動を「している」と回答した者である。

(就業を希望しない理由)

図表2-17で、「仕事をしたいと思わなかった」と回答した人に対して、その理由を尋ねたところ、「あなたの健康上の理由」(26.0%)、「家事などに専念したいから」(22.2%)、「趣味、社会活動に専念したいから」(14.8%)、「家族の健康上の理由(介護など)」(11.1%)の順に多い。男女別にみると、男性は「あなたの健康上の理由」が27.2%、女性は「家事などに専念したいから」が32.9%と最も多くなっている。(図表2-23)

図表 2-23 仕事をしたいと思わなかった理由(単位:%)

		総数 (人)	計	経済的に余裕 があるから	今までの技能、 経験が通用し なくなったから	適当な就職口 がみつからな くなったから	あなたの健康上 の理由	家族の健康上 の理由(介護 など)	趣味、社会活 動に専念した いから	家事などに専 念したいから	その他	無回答
全体		5,096,654	100.0	9.7	2.8	7.1	26.0	11.1	14.8	22.2	4.1	2.2
年齢階層	60～64歳	1,552,926	100.0	8.5	2.1	6.5	23.7	13.1	9.9	29.3	4.2	2.8
	65～69歳	3,543,728	100.0	10.2	3.1	7.3	27.0	10.2	17.0	19.1	4.0	2.0
男性計		1,789,436	100.0	14.3	5.1	13.9	27.2	8.1	21.1	2.4	6.0	2.1
	60～64歳	424,973	100.0	17.1	4.8	11.4	28.6	10.5	18.1	1.9	5.7	1.9
	65～69歳	1,364,464	100.0	13.4	5.2	14.7	26.7	7.3	22.0	2.6	6.0	2.2
女性計		3,307,218	100.0	7.2	1.6	3.4	25.4	12.7	11.4	32.9	3.1	2.3
	60～64歳	1,127,953	100.0	5.2	1.0	4.7	21.9	14.1	6.8	39.6	3.6	3.1
	65～69歳	2,179,264	100.0	8.3	1.8	2.8	27.2	12.0	13.8	29.5	2.8	1.8

注: サンプル数は図表2-17で「仕事をしたいと思わなかった」と回答した者である。

就業を希望しない理由として「経済的に余裕があるから」と回答した人に、さらに具体的な理由を複数回答で尋ねたところ、「年金、退職金で生活できるようになったから」が73.4%と多数を占め、これに「預貯金があるから」(43.7%)がつづく。(図表2-24)

図表 2-24 経済的な余裕がある理由(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	年金、退職金で生活 できるようになったから	財産収入がある から	預貯金があるから	配偶者や子供の 収入があるから	その他	無回答
全体		494,689	73.4	19.3	43.7	23.0	3.2	-
年齢階層	60～64歳	131,600	69.8	27.4	59.2	24.0	-	-
	65～69歳	363,089	74.6	16.4	38.1	22.6	4.4	-
男性計		255,173	89.0	21.0	53.6	7.8	2.3	-
	60～64歳	72,852	77.8	33.3	66.7	11.1	-	-
	65～69歳	182,321	93.5	16.1	48.4	6.5	3.2	-
女性計		239,516	56.6	17.5	33.2	39.2	4.2	-
	60～64歳	58,748	60.0	20.0	50.0	40.0	-	-
	65～69歳	180,768	55.6	16.7	27.8	38.9	5.6	-

注: サンプル数は図表2-23で「経済的に余裕があるから」と回答した者である。

2 60代の雇用者の状況

(1) 60代の雇用者の状況

(就業者に占める雇用者の割合)

2019年6月時点の就業者に対して、その働き方を尋ねたところ、「会社、団体などに雇われて仕事をしてきた」（以下「雇用者」という）が65.0%を占め、「商店、工場、農家などの自家営業や自由業であった」（11.9%）と「会社、団体などの役員であった」（11.5%）がそれぞれ1割程度である。雇用者の割合を年齢階層別に見ると、60代前半層では71.7%、60代後半層では57.6%であり、後半層の方が14ポイント程度低い。なお、性別による差は見られない。（図表2-25）

図表2-25 就業者の働き方(2019年6月)(単位:%)

		総数(人)	計	会社、団体などに雇われて仕事をしてきた	会社、団体などの役員(会社経営、役員等)であった	商店、工場、農家などの自家営業(自営業主の場合をいいます)や自由業であった	近所の人や会社などに頼まれて、任意で行う仕事をしてきた	シルバー人材センターを通じて仕事をしてきた	家庭で内職をしていた	家業(自家営業)の手伝いをしていた	無回答
全体		10,200,993	100.0	65.0	11.5	11.9	1.8	1.9	1.3	5.5	1.1
年齢階層	60~64歳	5,358,662	100.0	71.7	10.1	9.9	1.8	1.1	0.8	3.5	1.2
	65~69歳	4,842,331	100.0	57.6	13.0	14.2	1.9	2.9	1.8	7.7	1.0
男性計		5,849,379	100.0	64.7	14.3	13.3	2.0	2.2	0.4	2.6	0.6
	60~64歳	3,055,757	100.0	70.7	12.8	11.1	1.6	0.9	0.1	1.7	0.9
	65~69歳	2,793,622	100.0	58.1	15.8	15.6	2.5	3.6	0.6	3.6	0.2
女性計		4,351,614	100.0	65.4	7.8	10.1	1.5	1.6	2.6	9.3	1.7
	60~64歳	2,302,905	100.0	73.0	6.4	8.2	2.0	1.3	1.8	5.9	1.5
	65~69歳	2,048,709	100.0	56.9	9.3	12.3	1.0	2.0	3.4	13.2	2.0

注: サンプル数は、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

(雇用契約期間)

雇用者の雇用契約の期間については、「1年」(37.4%)と、「特に定められていない」(36.4%)が拮抗している。なお、年齢階層や性別による差は、あまりみられない。（図表2-26）

図表2-26 雇用者の雇用契約期間(単位:%)

		総数(人)	計	1ヶ月以内(日雇いを含む)	1ヶ月を超え1年未満	1年	1年を超え5年以内	特に定められていない	無回答
全体		6,629,665	100.0	0.7	13.1	37.4	11.4	36.4	1.0
年齢階層	60~64歳	3,841,471	100.0	0.7	12.3	38.8	13.6	33.5	1.2
	65~69歳	2,788,193	100.0	0.7	14.1	35.6	8.4	40.4	0.6
男性計		3,784,532	100.0	0.4	10.9	41.2	15.5	31.0	0.9
	60~64歳	2,161,291	100.0	0.7	8.8	40.6	19.5	29.6	0.7
	65~69歳	1,623,241	100.0	-	13.8	42.0	10.1	33.0	1.1
女性計		2,845,133	100.0	1.1	15.9	32.4	6.0	43.5	1.0
	60~64歳	1,680,181	100.0	0.7	16.8	36.4	5.9	38.5	1.7
	65~69歳	1,164,952	100.0	1.7	14.7	26.7	6.0	50.9	-

注: サンプル数は図表2-25で「会社、団体などに雇われて仕事をしてきた」と回答した者である。

（雇用者の勤務形態）

雇用者の勤務形態は、「普通勤務（フルタイム勤務）」が50.6%と半数を占め、ついで「普通勤務より一日当たりの労働時間が短い」（16.0%）、「普通勤務より一日当たりの労働時間が短く、一週間当たりの勤務日数も少ない」（14.1%）である。

フルタイム勤務の割合を年齢階層別にみると、60代前半層では59.1%、60代後半層では39.0%で、前半層の方が20ポイント程フルタイムの割合が高い。性別でみると、男性では63.7%、女性では33.3%で、男性の方が30ポイント程フルタイムの割合が高い。（図表2-27）

図表 2-27 雇用者の勤務形態（単位：％）

		総数（人）	計	普通勤務（フルタイム勤務）	普通勤務より1日当たりの労働時間が短い	普通勤務より1週間当たりの勤務日数が少ない	普通勤務より1日当たりの労働時間が短く、1週間当たりの勤務日数も少ない	勤務日と時間帯を弾力的に設定できるフレックス勤務	在宅勤務・テレワーク	その他	無回答
全体		6,629,665	100.0	50.6	16.0	9.8	14.1	4.7	0.5	3.3	0.9
年齢階層	60～64歳	3,841,471	100.0	59.1	14.7	9.4	9.5	3.0	0.1	3.5	0.8
	65～69歳	2,788,193	100.0	39.0	17.8	10.4	20.4	7.1	1.1	3.1	1.0
男性計		3,784,532	100.0	63.7	9.5	8.8	10.4	4.0	0.4	2.4	0.8
	60～64歳	2,161,291	100.0	77.0	7.1	7.5	3.6	1.5	0.2	2.6	0.6
	65～69歳	1,623,241	100.0	46.0	12.7	10.5	19.6	7.2	0.7	2.2	1.1
女性計		2,845,133	100.0	33.3	24.7	11.3	18.9	5.7	0.7	4.4	1.0
	60～64歳	1,680,181	100.0	36.0	24.5	11.9	17.1	4.9	-	4.5	1.0
	65～69歳	1,164,952	100.0	29.3	25.0	10.3	21.6	6.9	1.7	4.3	0.9

注：サンプル数は図表2-25で「会社、団体などに雇われて仕事をしている」と回答した者である。

（雇用形態）

雇用者の雇用形態をみると、「パート・アルバイト」が40.7%で最も多く、これに「正社員」（21.4%）、「嘱託」（15.2%）、「契約社員」（14.4%）がつづく。正社員比率が最も高いのは60代前半層の男性で37.1%を占める。これに対し「パート・アルバイト」率が最も高いのは、60代後半層の女性で69.8%である。（図表2-28）

図表 2-28 雇用者の雇用形態（単位：％）

		総数（人）	計	正社員	パート・アルバイト	嘱託	契約社員	派遣労働者	その他	無回答
全体		6,629,665	100.0	21.4	40.7	15.2	14.4	2.7	4.7	0.9
年齢階層	60～64歳	3,841,471	100.0	26.4	34.6	18.2	13.6	2.9	3.3	0.9
	65～69歳	2,788,193	100.0	14.6	49.0	11.1	15.6	2.3	6.6	0.8
男性計		3,784,532	100.0	29.3	22.4	21.3	20.0	2.2	3.8	1.0
	60～64歳	2,161,291	100.0	37.1	13.7	24.0	18.2	2.2	3.7	1.1
	65～69歳	1,623,241	100.0	18.8	34.1	17.8	22.5	2.2	4.0	0.7
女性計		2,845,133	100.0	11.0	64.9	7.1	7.0	3.3	5.9	0.8
	60～64歳	1,680,181	100.0	12.6	61.5	10.8	7.7	3.8	2.8	0.7
	65～69歳	1,164,952	100.0	8.6	69.8	1.7	6.0	2.6	10.3	0.9

注：サンプル数は図表2-25で「会社、団体などに雇われて仕事をしている」と回答した者である。

現在勤務している企業で何歳まで働きたいかを尋ねたところ、「() 歳くらいまで働きたい」が 49.2%と半数を占め、これに「年齢に関係なく、働けるうちはいつまでも働きたい」(31.6%) がつづく。(図表 2-29)

上記の () 内に入る具体的な年齢を尋ねたところ、「70 歳」が 46.0%と最も多く、ついで「65 歳」(27.4%) である。平均は 68.8 歳、標準偏差は 3.2 である。(図表 2-30)

図表 2-29 現在勤務している企業でどのくらい働きたいか(単位:%)

		総数(人)	計	() 歳くらいまで働きたい	年齢に関係なく、働けるうちはいつまでも働きたい	わからない	無回答
全体		6,629,665	100.0	49.2	31.6	18.8	0.4
年齢階層	60~64歳	3,841,471	100.0	52.4	28.5	18.6	0.5
	65~69歳	2,788,193	100.0	44.8	35.9	19.1	0.2
男性計		3,784,532	100.0	52.5	28.9	18.2	0.5
	60~64歳	2,161,291	100.0	57.3	23.4	18.7	0.6
	65~69歳	1,623,241	100.0	46.0	36.2	17.4	0.4
女性計		2,845,133	100.0	44.9	35.1	19.8	0.2
	60~64歳	1,680,181	100.0	46.2	35.0	18.5	0.3
	65~69歳	1,164,952	100.0	43.1	35.3	21.6	-

注: サンプル数は図表2-25で「会社、団体などに雇われて仕事をしていた」と回答した者である。

図表 2-30 現在勤務している会社で希望する就労年齢(単位:%)

		総数(人)	計	64歳以下	65歳	66~69歳	70歳	71歳以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		3,263,021	100.0	3.4	27.4	9.0	46.0	14.1	0.2	68.8	3.2
年齢階層	60~64歳	2,013,960	100.0	5.5	44.3	10.6	36.6	2.7	0.3	67.2	2.8
	65~69歳	1,249,061	100.0	-	-	6.3	61.2	32.4	-	71.2	2.2
男性計		1,985,419	100.0	3.5	27.5	9.3	44.6	15.2	-	68.8	3.4
	60~64歳	1,238,492	100.0	5.6	44.1	10.1	37.3	2.9	-	67.3	2.9
	65~69歳	746,926	100.0	-	-	7.9	56.7	35.4	-	71.4	2.4
女性計		1,277,603	100.0	3.2	27.1	8.5	48.3	12.4	0.5	68.7	3.0
	60~64歳	775,468	100.0	5.3	44.7	11.4	35.6	2.3	0.8	67.2	2.6
	65~69歳	502,135	100.0	-	-	4.0	68.0	28.0	-	70.9	1.9

注: サンプル数は図表2-29で「() 歳くらいまで働きたい」と回答した者である。

(2) 高齢期を迎えた社員の体力等の問題に対する企業の配慮

雇用者に対して、高齢期を迎えた社員の体力等の問題について、会社側がどの程度配慮しているかを尋ねたところ、「仕事の内容に関する個人的相談の場はあるが、体力や視力などの問題は個人的な問題として、特に配慮はしてもらえない」が 37.6%と最も多く、ついで「会社とは仕事の内容について個人的に相談・面接する場が定期的であり、その際、作業上の問題なども相談できるので配慮してもらっている」が 31.6%を占める。(図表 2-31)

図表 2-31 社員の体力低下等の問題に対する会社側の配慮(単位:%)

		総数(人)	計	会社とは、仕事の内容について個人的に相談・面接する場が定期的であり、その際、作業上の問題なども相談できるので、配慮してもらっている	仕事の内容に関する個人的相談の場は持たないが、契約の年度更新などの際に申し入れれば、職場で用いる文字の大きさや補助器具の購入、作業の速度などについては、見直して(または検討して) けている	仕事の内容に関する個人的相談の場はあるが、体力や視力などの問題は個人的な問題として、特に配慮はしてもらえない	会社側は何も配慮(対応)してくれないので、必要な作業機器や什器などは自分で揃えている	その他	無回答
全体		6,629,665	100.0	31.6	12.6	37.6	6.9	9.2	2.1
年齢階層	60～64歳	3,841,471	100.0	32.3	11.9	36.4	7.4	9.5	2.4
	65～69歳	2,788,193	100.0	30.7	13.4	39.2	6.2	8.8	1.6
男性計		3,784,532	100.0	33.1	12.4	36.7	8.3	7.2	2.3
	60～64歳	2,161,291	100.0	33.1	11.4	36.5	8.8	7.7	2.4
	65～69歳	1,623,241	100.0	33.0	13.8	37.0	7.6	6.5	2.2
女性計		2,845,133	100.0	29.7	12.7	38.8	5.1	12.0	1.8
	60～64歳	1,680,181	100.0	31.1	12.6	36.4	5.6	11.9	2.4
	65～69歳	1,164,952	100.0	27.6	12.9	42.2	4.3	12.1	0.9

注: サンプル数は図表2-25で「会社、団体などに雇われて仕事をしていた」と回答した者である。

3 60代の就業意向

(1) 65歳以降の就業意向

60代前半層の就業者に、65歳以降の就業意向を尋ねたところ、「採用してくれる職場があるなら、ぜひ働きたい」(30.5%)、「まだ決めていない」(27.2%)、「すでに働くことが(ほぼ)決まっている(誘い・雇用契約がある)」(25.6%)の順に多い。なお、性別による差はほとんどみられない。「採用してくれる職場があるなら、ぜひ働きたい」と「すでに働くことが(ほぼ)決まっている」を合わせると半数以上(56.1%)が、明確な就業意欲を持っているといえる。なお、性別による差はほとんどみられない。(図表2-32)

図表 2-32 65歳以降の就業意向(単位:%)

		総数(人)	計	採用してくれる 職場があるなら、 ぜひ働きたい	すでに働くことが (ほぼ)決まってい る(誘い・雇用 契約がある)	まだ決めてい ない。わからな い	仕事はしたく ない。仕事か らは引退する つもり	自分の健康、 家庭の事情 等で働けない と思う	健康ではあるが、 私の職種は体力 等を要する仕事 なので、肉体的に 働けないと思う	その他	無回答
全体		5,358,662	100.0	30.5	25.6	27.2	7.0	2.0	1.9	3.8	2.1
年齢階層	60～64歳	5,358,662	100.0	30.5	25.6	27.2	7.0	2.0	1.9	3.8	2.1
	65～69歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性計		3,055,757	100.0	32.5	24.4	27.7	7.4	0.8	1.3	4.8	1.2
	60～64歳	3,055,757	100.0	32.5	24.4	27.7	7.4	0.8	1.3	4.8	1.2
	65～69歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性計		2,302,905	100.0	27.8	27.3	26.5	6.4	3.6	2.6	2.6	3.3
	60～64歳	2,302,905	100.0	27.8	27.3	26.5	6.4	3.6	2.6	2.6	3.3
	65～69歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注: サンプル数は、60代前半で、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

この2つの選択肢の回答者に対して、65歳以降に希望する労働時間を複数回答で尋ねたところ、「フルタイム」が41.5%、「短時間(週20～30時間未満)」が27.4%、「短時間(週30時間以上)」が20.1%であった。男性では「フルタイム」が55.9%、女性では「短時間(週20～30時間未満)」が36.1%と最も多い。(図表2-33)

図表 2-33 65歳以降に仕事をする場合、希望する労働時間(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	フルタイム	短時間(週30 時間以上)	短時間(週20～30時 間未満)	短時間(週20 時間未満)	その他	無回答
全体		3,005,265	41.5	20.1	27.4	16.6	2.1	0.8
年齢階層	60～64歳	3,005,265	41.5	20.1	27.4	16.6	2.1	0.8
	65～69歳	0	-	-	-	-	-	-
男性計		1,736,318	55.9	20.5	21.0	8.2	2.3	0.7
	60～64歳	1,736,318	55.9	20.5	21.0	8.2	2.3	0.7
	65～69歳	0	-	-	-	-	-	-
女性計		1,268,948	21.8	19.4	36.1	28.2	1.9	0.9
	60～64歳	1,268,948	21.8	19.4	36.1	28.2	1.9	0.9
	65～69歳	0	-	-	-	-	-	-

注: サンプル数は、図表2-32で「採用してくれる職場があるならぜひ働きたい」と「すでに働くことが決まっている」と回答した者である。

さらに65歳以降に希望する就業形態についても複数回答で尋ねたところ、「パート・アルバイト」が42.3%と最も多く、ついで「正社員」(18.6%)、「契約社員」(13.8%)、「嘱託」(13.1%)である。男性は「正社員」(27.0%)と「パート・アルバイト」(26.8%)が拮抗しているが、女性は「パート・アルバイト」(63.4%)を希望する者が多い。(図表2-34)

図表 2-34 65歳以降に仕事をする場合、希望する就業形態(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	役員	正社員	パート・アルバイト	契約社員	嘱託	派遣労働者	他社へ出向	起業による自営業	起業以外の自営業(家業の継承など)	家族従業者	シルバー人材センター等を通じた就業	その他	無回答
全体		3,005,265	10.3	18.6	42.3	13.8	13.1	3.4	0.5	6.8	2.6	5.0	5.7	2.5	1.1
年齢階層	60~64歳	3,005,265	10.3	18.6	42.3	13.8	13.1	3.4	0.5	6.8	2.6	5.0	5.7	2.5	1.1
	65~69歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性計		1,736,318	12.4	27.0	26.8	19.8	16.6	2.8	0.5	10.0	3.5	1.9	6.8	2.6	0.9
	60~64歳	1,736,318	12.4	27.0	26.8	19.8	16.6	2.8	0.5	10.0	3.5	1.9	6.8	2.6	0.9
	65~69歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性計		1,268,948	7.4	6.9	63.4	5.6	8.3	4.2	0.5	2.3	1.4	9.3	4.2	2.3	1.4
	60~64歳	1,268,948	7.4	6.9	63.4	5.6	8.3	4.2	0.5	2.3	1.4	9.3	4.2	2.3	1.4
	65~69歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注: サンプル数は、図表2-32で「採用してくれる職場があるならぜひ働きたい」と「すでに働くことが決まっている」と回答した者である。

また、現在の企業で働き続けたいかについても尋ねたところ、「今の会社は就業規則上、65歳を超えても働けるので、ここで働き続けたいと思っている」が65.4%を占める。ついで「今の会社は、継続雇用の年限が65歳までと定められているので、別の会社を探さなければならない」(14.9%)、「わからない」(13.8%)、「会社の規定にかかわらず、別の会社で働きたい」(5.3%)の順となった。男女別にみると、同じ企業で働き続けたい人の割合は、男性で58.7%、女性で74.5%で、女性の方が15ポイント程高い。(図表2-35)

図表 2-35 65歳以降に仕事をする場合、今の職場で働きたいか(単位:%)

		総数(人)	計	今の会社は就業規則上、65歳を超えても働けるので、ここで働き続けたいと思っている	今の会社は、継続雇用の年限が65歳までと定められているので、別の会社を探さなければならない	会社の規定にかかわらず、別の会社で働きたい	わからない	無回答
全体		3,005,265	100.0	65.4	14.9	5.3	13.8	0.7
年齢階層	60~64歳	3,005,265	100.0	65.4	14.9	5.3	13.8	0.7
	65~69歳	0	0.0	-	-	-	-	-
男性計		1,736,318	100.0	58.7	18.6	6.8	15.4	0.5
	60~64歳	1,736,318	100.0	58.7	18.6	6.8	15.4	0.5
	65~69歳	0	0.0	-	-	-	-	-
女性計		1,268,948	100.0	74.5	9.7	3.2	11.6	0.9
	60~64歳	1,268,948	100.0	74.5	9.7	3.2	11.6	0.9
	65~69歳	0	0.0	-	-	-	-	-

注: サンプル数は、図表2-32で「採用してくれる職場があるならぜひ働きたい」と「すでに働くことが決まっている」と回答した者である。

「会社の規定にかかわらず、別の会社で働きたい」を選択した人に対して、その理由を複数回答で尋ねたところ、「今の仕事は肉体的にきつから(体力や視力の衰えがあると勤めきれない)」(30.1%)、「今の会社は賃金が低いから」(29.2%)、「今の職場は人間関係や職場環

境がよくないから」(29.2%)の順で多かった。(図表2-36)

図表2-36 今の会社で勤務を希望しない理由(複数回答)(単位:%)

	総数 (人)	今の仕事は難しいから (高度な知識・技能、 経験を要求される)	今の仕事は肉体的に きつから(体力や視 力の衰えがあると勤め きれない)	今の会社は 忙しすぎるから	今の会社は 賃金が低いから	今の会社は業績が 悪く、希望しても雇わ れないだろうから	今の職場には希望す る勤務形態の仕事 がないから	今の職場は人間関 係や職場環境がよ くないから	今の仕事より 能力を活かせる 仕事をした いから	今の仕事より 他の仕事に 興味があるから	その他	無回答
全体	158,497	2.6	30.1	10.2	29.2	5.1	7.7	29.2	23.0	21.6	6.3	-
年齢階層	158,497	2.6	30.1	10.2	29.2	5.1	7.7	29.2	23.0	21.6	6.3	-
60～64歳	158,497	2.6	30.1	10.2	29.2	5.1	7.7	29.2	23.0	21.6	6.3	-
65～69歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性計	117,373	3.4	20.7	13.8	34.5	6.9	10.3	34.5	31.0	24.1	3.4	-
60～64歳	117,373	3.4	20.7	13.8	34.5	6.9	10.3	34.5	31.0	24.1	3.4	-
65～69歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性計	41,123	-	57.1	-	14.3	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-
60～64歳	41,123	-	57.1	-	14.3	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-
65～69歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注: サンプル数は図表2-35で「会社の規定にかかわらず、別の会社で働きたい」と回答した者である。

(就業意向が不透明な理由)

図表2-32で、65歳以降の働く予定について「まだ決めていない。わからない」と回答した人に対して、その理由を尋ねたところ、「今のところは現在の勤務(継続雇用)が終わったら少しゆっくりするつもりなので、まだ決めていない」が45.6%で最も多く、これに「仕事の中身(賃金額、仕事の内容、勤務先、勤務場所など)がまだわからないから」(22.2%)がつづく。(図表2-37)

図表2-37 65歳以降の働く予定を不明と答えた主な理由(単位:%)

	総数(人)	計	年金額がわ からないから	仕事の中身(賃金額、 仕事の内容、勤務先、 勤務場所など)が まだわからないから	今のところは現在の勤務 (継続雇用)が終わつた ら少しゆっくりするつもり なので、まだ決めていない	仕事以外のこと を始めるかもしれ ないから	その他	無回答
全体	1,456,873	100.0	6.3	22.2	45.6	6.5	16.2	3.3
年齢階層	1,456,873	100.0	6.3	22.2	45.6	6.5	16.2	3.3
60～64歳	1,456,873	100.0	6.3	22.2	45.6	6.5	16.2	3.3
65～69歳	-	-	-	-	-	-	-	-
男性計	845,898	100.0	6.7	24.4	49.3	7.7	9.1	2.9
60～64歳	845,898	100.0	6.7	24.4	49.3	7.7	9.1	2.9
65～69歳	-	-	-	-	-	-	-	-
女性計	610,975	100.0	5.8	19.2	40.4	4.8	26.0	3.8
60～64歳	610,975	100.0	5.8	19.2	40.4	4.8	26.0	3.8
65～69歳	-	-	-	-	-	-	-	-

注: サンプル数は、図表2-32で「まだ決めていない。わからない」と回答した者である。

(就業意向がない理由)

図表2-32で、65歳以降の働く予定について「仕事はしたくない。仕事からは引退するつもり」と回答した人に対して、その理由を複数回答で尋ねた。「もう十分に働いたので、引退して好きなことをして楽しみたい」(76.6%)が最も多く、これに「健康ではあるが、私の職種は体力等を要する仕事(体力を要する、視力が悪いとできない、など)なので、肉体的に働けないと思うから」(23.4%)、「生活のめどが立ったから」(23.0%)がつづく。(図表2-38)

図表 2-38 65歳以降、仕事はしたくないと答えた理由(複数回答)(単位:%)

	総数(人)	生活のめどが 立ったから	もう十分に働 いたので、引 退して好きな ことを楽しめ たい	本当は働きたい が、健康上の 問題、家庭の 事情があって働 けないため	健康ではあるが、私の職種 は体力等を要する仕事(体 力を要する、視力が悪いと きかない、など)なので、肉 体的に働けないと思うから	仕事を探したが、 そもそも求人 がなかったため	仕事を探したが、 経験を活か せる適職を見 つからなかったため	仕事を探したが、 どれも資金 が低かったため	仕事を探したが、 希望する勤務 形態の仕事が なかったため	仕事を探したが、 どれも忙し すぎる仕事ば かりだったため	家の近くでは 仕事が見つ けなかったため	その他	無回答
全体	373,521	23.0	76.6	10.6	23.4	3.7	2.7	1.1	3.7	2.2	2.7	6.4	3.7
年齢階層													
60～64歳	373,521	23.0	76.6	10.6	23.4	3.7	2.7	1.1	3.7	2.2	2.7	6.4	3.7
65～69歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性計	226,652	25.0	82.1	7.1	17.9	3.6	1.8	1.8	3.6	3.6	1.8	5.4	3.6
60～64歳	226,652	25.0	82.1	7.1	17.9	3.6	1.8	1.8	3.6	3.6	1.8	5.4	3.6
65～69歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性計	146,869	20.0	68.0	16.0	32.0	4.0	4.0	-	4.0	-	4.0	8.0	4.0
60～64歳	146,869	20.0	68.0	16.0	32.0	4.0	4.0	-	4.0	-	4.0	8.0	4.0
65～69歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：サンプル数は、図表2-32で「仕事はしたくない。仕事からは引退するつもり」と回答した者である。

(2) 70歳以降の就業意向

60代後半層の就業者に、70歳以降の就業意向を尋ねたところ、「まだ決めていない。わからない」が28.9%で最も多く、これに「年金だけでは生活ができないので、なお働かねばならない」(26.9%)、「生きがいや健康のために、元気な限り働きたい」(22.4%)がみつづく。

「年金だけでは生活ができないので、なお働かねばならない」、「生きがいや健康のために、元気な限り働きたい」、「すでに働くことが(ほぼ)決まっている」を合わせると53.0%であり、70歳以降も明確な就業意向を持っている人が半数を占める。なお、この傾向に性別による差はほとんどみられない。(図表2-39)

図表 2-39 70歳以降の就業意向(単位:%)

	総数(人)	計	まだ決めてい ない。わから ない	もう十分に働 いたので、引 退して好きな ことを楽しめ たい	年金だけでは生活 ができないので、 なお働かねば ならない	生きがいや健康 のために、元 気な限り働 きたい	すでに働くこと が(ほぼ)決 まっている(誘 い・雇用契約 がある)	その他	無回答
全体	4,842,331	100.0	28.9	11.0	26.9	22.4	3.8	3.2	3.8
年齢階層									
60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
65～69歳	4,842,331	100.0	28.9	11.0	26.9	22.4	3.8	3.2	3.8
男性計	2,793,622	100.0	27.2	12.6	27.2	21.9	4.4	2.7	4.0
60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
65～69歳	2,793,622	100.0	27.2	12.6	27.2	21.9	4.4	2.7	4.0
女性計	2,048,709	100.0	31.4	8.8	26.5	23.0	2.9	3.9	3.4
60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
65～69歳	2,048,709	100.0	31.4	8.8	26.5	23.0	2.9	3.9	3.4

注：サンプル数は、60代後半で、図表2-1で2019年6月に収入になる仕事を「した」と回答した者である。

4 55歳当時から就業状況の変化

(1) 55歳当時の雇用の有無や雇用形態等

(55歳当時の雇用有無)

全ての回答者に対して、55歳当時、会社などに雇われていたかを尋ねたところ、「雇われていた」が73.1%を占めた。男女別にみると、男性では81.0%、女性では65.6%であり、男性の方が雇用者の割合が15ポイント高い。(図表2-40)

図表2-40 55歳当時の雇用有無(単位:%)

		総数(人)	計	雇われていた	雇われていなかった	無回答
全体		17,302,654	100.0	73.1	26.6	0.3
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	74.2	25.5	0.3
	65～69歳	9,668,578	100.0	72.3	27.4	0.3
男性計		8,467,638	100.0	81.0	19.0	0.0
	60～64歳	3,780,235	100.0	81.5	18.4	0.1
	65～69歳	4,687,403	100.0	80.6	19.4	-
女性計		8,835,016	100.0	65.6	33.8	0.5
	60～64歳	3,853,841	100.0	67.1	32.5	0.5
	65～69歳	4,981,175	100.0	64.5	34.9	0.6

55歳当時「雇われていた」人に対して、その雇用形態をみると、「正社員」(62.6%)が最も多く、ついで「パート・アルバイト」(23.3%)である。男女別にみると、男性は「正社員」が84.5%と8割以上が正社員であるのに対し、女性は「パート・アルバイト」が46.6%、「正社員」が36.8%である。(図表2-41)

図表2-41 55歳当時の雇用形態(単位:%)

		総数(人)	計	正社員	パート・アルバイト	嘱託	契約社員	派遣労働者	その他	無回答
全体		12,654,396	100.0	62.6	23.3	2.3	4.5	1.4	4.3	1.6
年齢階層	60～64歳	5,664,935	100.0	63.0	23.1	2.5	4.4	1.4	4.5	1.0
	65～69歳	6,989,461	100.0	62.3	23.4	2.1	4.5	1.4	4.1	2.2
男性計		6,855,842	100.0	84.5	3.6	1.8	4.3	1.1	3.3	1.4
	60～64歳	3,080,042	100.0	84.8	3.4	2.0	4.7	0.9	3.3	0.9
	65～69歳	3,775,800	100.0	84.3	3.7	1.7	3.9	1.2	3.3	1.9
女性計		5,798,555	100.0	36.8	46.6	2.8	4.8	1.8	5.4	1.9
	60～64歳	2,584,893	100.0	37.0	46.6	3.2	4.1	2.0	5.9	1.1
	65～69歳	3,213,661	100.0	36.6	46.6	2.5	5.3	1.6	5.0	2.5

注: サンプル数は図表2-40で「雇われていた」と回答した者である。

また、55歳当時「雇われていた」人について、当時の役職を尋ねたところ、「一般従業員」(60.5%)が最も多く、これに「課長相当」(13.1%)がつづく。男女別にみると、男性は「一般従業員」(41.8%)、「課長相当」(21.9%)、「部長相当」(13.3%)の順に多いのに対し、女性は「一般従業員」が82.5%と8割以上を占めている。(図表2-42)

図表 2-42 55歳当時の役職(単位:%)

		総数(人)	計	一般従業員	係長相当	課長相当	部長相当	役員相当	無回答
全体		12,654,396	100.0	60.5	7.6	13.1	7.7	8.2	2.9
年齢階層	60～64歳	5,664,935	100.0	59.6	7.7	13.8	7.3	8.9	2.6
	65～69歳	6,989,461	100.0	61.2	7.6	12.5	8.0	7.7	3.1
男性計		6,855,842	100.0	41.8	10.3	21.9	13.3	10.9	1.8
	60～64歳	3,080,042	100.0	41.0	10.9	21.4	12.7	12.4	1.6
	65～69歳	3,775,800	100.0	42.5	9.8	22.3	13.7	9.7	2.0
女性計		5,798,555	100.0	82.5	4.5	2.6	1.1	5.1	4.1
	60～64歳	2,584,893	100.0	81.8	3.9	4.8	0.9	4.8	3.9
	65～69歳	3,213,661	100.0	83.1	5.0	0.9	1.3	5.3	4.4

注: サンプル数は図表2-40で「雇われていた」と回答した者である。

さらに、55歳当時「雇われていた」人に、勤務先の従業員数を尋ねたところ、100人以上が47.0%、30人未満が27.2%、30人～100人が16.2%を占める。100人以上の企業の割合を男女別にみると、男性は50.4%、女性は42.9%である。(図表2-43)

図表 2-43 55歳当時の勤務先の従業員数(単位:%)

		総数(人)	計	4人以下	5～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300～499人	500～999人	1,000～4,999人	5,000人以上	官公庁	無回答
全体		12,654,396	100.0	7.6	7.4	12.2	7.1	9.1	12.8	7.1	5.6	11.4	10.0	7.1	2.5
年齢階層	60～64歳	5,664,935	100.0	8.1	7.5	12.6	7.4	7.6	14.3	5.9	5.7	10.5	11.3	7.4	1.8
	65～69歳	6,989,461	100.0	7.2	7.4	11.8	6.9	10.3	11.7	8.1	5.5	12.1	8.9	6.8	3.2
男性計		6,855,842	100.0	5.6	6.6	12.2	6.5	8.5	10.8	6.8	6.4	13.6	12.8	8.4	1.7
	60～64歳	3,080,042	100.0	6.2	7.5	11.7	7.2	6.8	12.5	5.5	6.3	12.6	13.4	8.7	1.6
	65～69歳	3,775,800	100.0	5.1	5.9	12.6	5.9	9.8	9.3	7.8	6.5	14.5	12.3	8.3	1.9
女性計		5,798,555	100.0	10.0	8.4	12.1	7.8	9.8	15.3	7.5	4.7	8.7	6.7	5.4	3.5
	60～64歳	2,584,893	100.0	10.5	7.5	13.6	7.5	8.4	16.4	6.4	5.0	8.0	8.9	5.9	2.0
	65～69歳	3,213,661	100.0	9.7	9.1	10.9	8.1	10.9	14.4	8.4	4.4	9.4	5.0	5.0	4.7

注: サンプル数は図表2-40で「雇われていた」と回答した者である。

(2) 55歳当時抱いていた定年・退職後の就業希望

55歳当時「雇われていた」人に対して、当時抱いていた定年・退職後の就業希望について尋ねたところ、「定年・退職後も仕事をしたいと思っていた」が72.0%を占めている。男女別にみると、男性は77.1%、女性は66.0%であり、男性の方が就業希望者の割合が高い。(図表2-44)

図表 2-44 55 歳当時の就業希望有無(単位:%)

		総数(人)	計	定年・退職後も仕事をしたいと思っていた	定年・退職後には仕事から引退したいと思っていた	無回答
全体		12,654,396	100.0	72.0	26.0	2.0
年齢階層	60～64歳	5,664,935	100.0	75.4	23.1	1.5
	65～69歳	6,989,461	100.0	69.3	28.4	2.3
男性計		6,855,842	100.0	77.1	21.5	1.4
	60～64歳	3,080,042	100.0	80.8	18.3	0.9
	65～69歳	3,775,800	100.0	74.0	24.1	1.9
女性計		5,798,555	100.0	66.0	31.4	2.6
	60～64歳	2,584,893	100.0	68.9	28.9	2.3
	65～69歳	3,213,661	100.0	63.8	33.4	2.8

注: サンプル数は図表2-40で「雇われていた」と回答した者である。

就業希望者に対して、どのような仕事内容を希望していたか尋ねたところ、「定年・退職時と同じ仕事」が74.8%を占める。なお、この傾向に性別による差はほとんどみられない。(図表2-45)

図表 2-45 55 歳当時に希望していた仕事内容(単位:%)

		総数(人)	計	定年・退職時と同じ仕事	定年・退職時とは異なる仕事	無回答
全体		9,111,509	100.0	74.8	23.3	1.9
年齢階層	60～64歳	4,269,178	100.0	77.5	20.7	1.9
	65～69歳	4,842,331	100.0	72.5	25.6	1.9
男性計		5,282,749	100.0	74.0	25.4	0.6
	60～64歳	2,489,127	100.0	75.3	23.4	1.3
	65～69歳	2,793,622	100.0	72.8	27.2	-
女性計		3,828,761	100.0	76.0	20.4	3.6
	60～64歳	1,780,052	100.0	80.5	16.8	2.6
	65～69歳	2,048,709	100.0	72.1	23.5	4.4

注: サンプル数は図表2-44で「定年・退職後も仕事をしたいと思っていた」と回答した者である。

さらに希望していた収入についてみると、「定年・退職時と同程度の収入」(33.9%)、「定年・退職時の6～7割程度」(24.7%)、「定年・退職時の4～5割程度」(16.6%)の順に多い。男女別にみると、男性は「定年・退職時の6～7割程度」(28.9%)、女性は「定年・退職時と同程度の収入」(45.1%)が最も多い。(図表2-46)

図表 2-46 55 歳当時に希望していた収入(単位:%)

		総数(人)	計	定年・退職時より も多い収入	定年・退職時と同 程度の収入	定年・退職時の 8～9割程度	定年・退職時の 6～7割程度	定年・退職時の 4～5割程度	定年・退職時の 3割以下	無回答
全体		9,111,509	100.0	3.9	33.9	11.5	24.7	16.6	6.8	2.6
年齢階層	60～64歳	4,269,178	100.0	4.8	39.0	12.3	22.4	13.8	4.5	3.2
	65～69歳	4,842,331	100.0	3.2	29.4	10.8	26.8	19.0	8.8	2.1
男性計		5,282,749	100.0	3.4	25.7	13.0	28.9	19.8	8.1	1.1
	60～64歳	2,489,127	100.0	3.9	32.2	13.3	27.3	15.9	5.4	2.0
	65～69歳	2,793,622	100.0	2.9	20.0	12.6	30.3	23.2	10.5	0.4
女性計		3,828,761	100.0	4.6	45.1	9.5	19.0	12.1	4.9	4.7
	60～64歳	1,780,052	100.0	5.9	48.5	10.9	15.5	10.9	3.3	5.0
	65～69歳	2,048,709	100.0	3.4	42.2	8.3	22.1	13.2	6.4	4.4

注: サンプル数は図表2-44で「定年・退職後も仕事をしたいと思っていた」と回答した者である。

希望する勤務先をみると、「定年・退職時と同じ企業等で雇われて働く」が64.2%であり、これに「定年・退職時とは異なる企業等で雇われて働く」(25.1%)がつづく。なお、この傾向に性別による差はほとんどみられない。(図表2-47)

図表 2-47 55 歳当時に希望していた勤務先(単位:%)

		総数(人)	計	定年・退職時と同じ企 業等で雇われて働く	定年・退職時とは異なる 企業等で雇われて働く	自営業者として 働く	家族従業者と して働く	その他	無回答
全体		9,111,509	100.0	64.2	25.1	5.1	1.4	1.7	2.4
年齢階層	60～64歳	4,269,178	100.0	67.7	21.3	5.5	1.5	1.5	2.5
	65～69歳	4,842,331	100.0	61.1	28.5	4.8	1.4	1.9	2.4
男性計		5,282,749	100.0	65.7	25.6	5.1	0.2	1.2	2.2
	60～64歳	2,489,127	100.0	67.8	22.1	6.8	0.2	1.5	1.6
	65～69歳	2,793,622	100.0	63.8	28.6	3.6	0.2	1.1	2.7
女性計		3,828,761	100.0	62.1	24.6	5.1	3.1	2.3	2.7
	60～64歳	1,780,052	100.0	67.7	20.1	3.6	3.3	1.7	3.6
	65～69歳	2,048,709	100.0	57.4	28.4	6.4	2.9	2.9	2.0

注: サンプル数は図表2-44で「定年・退職後も仕事をしたいと思っていた」と回答した者である。

上記2つの選択肢を選んだ回答者に対して、希望していた雇用形態を尋ねたところ、「パート・アルバイト」(33.0%)と「正社員」(30.9%)が拮抗し、これに「嘱託」(13.5%)、「契約社員」(13.1%)がつづく。男女別にみると、男性は「正社員」(41.4%)、女性は「パート・アルバイト」(59.1%)が最も多い。(図表2-48)

図表 2-48 55 歳当時に希望していた定年・退職後の雇用形態(単位: %)

		総数(人)	計	正社員	契約社員	嘱託	パート・アルバイト	派遣労働者	その他	無回答
全体		8,140,242	100.0	30.9	13.1	13.5	33.0	1.4	1.9	6.3
年齢階層	60～64歳	3,800,876	100.0	31.2	12.9	15.1	31.1	1.4	2.3	5.9
	65～69歳	4,339,366	100.0	30.5	13.3	12.0	34.7	1.4	1.5	6.6
男性計		4,820,085	100.0	41.4	16.7	18.7	15.0	1.1	2.1	5.1
	60～64歳	2,238,191	100.0	44.7	16.5	18.8	9.9	1.1	2.4	6.7
	65～69歳	2,581,895	100.0	38.5	16.9	18.7	19.4	1.1	1.8	3.6
女性計		3,320,157	100.0	15.6	8.0	5.8	59.1	1.8	1.7	8.0
	60～64歳	1,562,686	100.0	12.0	7.9	9.8	61.3	1.9	2.3	4.9
	65～69歳	1,757,471	100.0	18.9	8.0	2.3	57.1	1.7	1.1	10.9

注: サンプル数は図表2-47で「定年・退職時と同じ企業等で雇われて働く」、「定年・退職時とは異なる企業等で雇われて働く」と回答した者である。

同様に希望していた勤務形態をみると、「フルタイム」が50.5%と半数を占め、これに「短時間・短日勤務」(32.1%)がつづく。男女別にみると、男性は「フルタイム」が64.0%、女性は「短時間・短日勤務」が48.1%と最も多い。(図表2-49)

図表 2-49 55 歳当時に希望していた定年・退職後の勤務形態(単位: %)

		総数(人)	計	フルタイム	短時間・短日勤務	勤務日と時間帯を弾力的に設定できるフレックス勤務	在宅勤務・テレワーク	その他	無回答
全体		8,140,242	100.0	50.5	32.1	9.0	0.1	0.5	7.8
年齢階層	60～64歳	3,800,876	100.0	54.2	29.6	8.1	0.2	0.9	7.1
	65～69歳	4,339,366	100.0	47.2	34.3	9.8	-	0.2	8.5
男性計		4,820,085	100.0	64.0	21.0	8.7	-	0.1	6.2
	60～64歳	2,238,191	100.0	71.1	14.3	6.3	-	0.2	8.1
	65～69歳	2,581,895	100.0	57.9	26.9	10.7	-	-	4.6
女性計		3,320,157	100.0	30.8	48.1	9.5	0.2	1.2	10.2
	60～64歳	1,562,686	100.0	30.1	51.5	10.5	0.4	1.9	5.6
	65～69歳	1,757,471	100.0	31.4	45.1	8.6	-	0.6	14.3

注: サンプル数は図表2-47で「定年・退職時と同じ企業等で雇われて働く」、「定年・退職時とは異なる企業等で雇われて働く」と回答した者である。

図表2-47で、「定年・退職時とは異なる企業等で雇われて働く」と回答した人に対して、自身の経験を踏まえて転職に適切と考える年齢を尋ねた。「60～64歳」が34.8%と最も多く、ついで「55～59歳」(25.0%)、「50～55歳」(11.5%)、「65～69歳」(11.4%)がつづく。なお、性別による差はほとんどみられない。(図表2-50)

図表 2-50 高齢期に働き続けるうえで転職に適した年齢(単位:%)

		総数(人)	計	45歳未満	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	無回答
全体		2,291,135	100.0	7.6	5.8	11.5	25.0	34.8	11.4	1.9	1.9
年齢階層	60~64歳	908,801	100.0	10.7	8.8	13.2	27.5	31.1	5.5	2.0	1.3
	65~69歳	1,382,334	100.0	5.6	3.9	10.3	23.4	37.3	15.3	1.9	2.3
男性計		1,350,299	100.0	6.8	5.0	11.5	27.6	36.2	10.7	1.3	0.9
	60~64歳	550,441	100.0	8.1	8.1	13.2	27.2	35.3	5.9	2.2	-
	65~69歳	799,858	100.0	5.9	2.9	10.3	27.9	36.8	14.0	0.7	1.5
女性計		940,836	100.0	8.8	6.9	11.4	21.3	32.8	12.5	2.8	3.4
	60~64歳	358,360	100.0	14.8	9.8	13.1	27.9	24.6	4.9	1.6	3.3
	65~69歳	582,476	100.0	5.2	5.2	10.3	17.2	37.9	17.2	3.4	3.4

注: サンプル数は図表2-47で、「定年・退職時とは異なる企業等で雇われて働く」と回答した者である。

(3) 55歳当時から就業状況の変化

55歳当時「雇われていた」人に対して、現在も当時と同じ会社に勤めているかを尋ねたところ、「55歳当時と同じ会社などに勤めている」が35.6%、ついで「現在は仕事をしていない」(32.8%)、「55歳当時と別の会社に勤めている」(21.9%)の順が多かった。年齢階層別にみると、60代前半層では「同じ会社に勤めている」が51.3%、60代後半層では「現在は仕事をしていない」が43.4%と最も多い。(図表2-51)

図表 2-51 現在も55歳当時の会社などに勤めているか(単位:%)

		総数(人)	計	55歳当時と同じ会社などに勤めている	55歳当時と別の会社に勤めている	自営(自分で事業を営んでいる)	その他	現在は仕事をしていない	無回答
全体		12,654,396	100.0	35.6	21.9	4.1	2.2	32.8	3.5
年齢階層	60~64歳	5,664,935	100.0	51.3	21.7	3.8	0.9	19.6	2.6
	65~69歳	6,989,461	100.0	22.8	22.2	4.3	3.2	43.4	4.2
男性計		6,855,842	100.0	36.0	24.7	4.2	1.8	30.2	3.1
	60~64歳	3,080,042	100.0	53.2	23.3	4.2	0.8	16.2	2.4
	65~69歳	3,775,800	100.0	22.0	25.9	4.2	2.6	41.6	3.7
女性計		5,798,555	100.0	35.0	18.7	3.9	2.6	35.8	3.9
	60~64歳	2,584,893	100.0	49.1	19.8	3.4	1.1	23.6	3.0
	65~69歳	3,213,661	100.0	23.8	17.8	4.4	3.8	45.6	4.7

注: サンプル数は図表2-40で「雇われていた」と回答した者である。

ここで、「別の会社に勤めている」人にその経緯を尋ねたところ、「自力で再就職」が67.7%を占め、「会社の紹介・あっせん」(12.1%)と「友人、知人の紹介」(8.0%)を大きく引き離している。この傾向に、年齢階層や性別による差はほとんどみられない。(図表2-52)

図表 2-52 55 歳当時と異なる会社で勤務するようになった経緯(単位:%)

		総数(人)	計	在籍出向	転籍	会社の紹介・あつせん	自力で再就職	その他	友人・知人の紹介	無回答
全体		2,776,217	100.0	2.0	3.7	12.1	67.7	5.4	8.0	1.2
年齢階層	60～64歳	1,227,487	100.0	2.3	4.1	11.9	69.4	5.0	6.3	1.0
	65～69歳	1,548,731	100.0	1.8	3.4	12.2	66.3	5.6	9.3	1.3
男性計		1,692,680	100.0	2.7	5.8	13.9	65.3	4.7	7.0	0.7
	60～64歳	716,383	100.0	4.0	6.2	14.7	65.5	4.5	3.4	1.7
	65～69歳	976,297	100.0	1.8	5.4	13.3	65.1	4.8	9.6	-
女性計		1,083,537	100.0	0.9	0.5	9.4	71.4	6.4	9.5	1.9
	60～64歳	511,104	100.0	-	1.1	8.0	74.7	5.7	10.3	-
	65～69歳	572,433	100.0	1.8	-	10.5	68.4	7.0	8.8	3.5

注: サンプル数は図表2-51で「55歳当時と別の会社に勤めている」と回答した者である。

注: 選択肢は調査票配布時には5つだったが、調査票回収後、「その他」の回答として「友人・知人の紹介」が多く挙げられていたため、この選択肢を追加集計した。

(定年経験の有無)

55歳当時雇用者であった人に、その後、現在までに定年を経験したことがあるか尋ねたところ、「ある」は45.7%、「ない」は52.3%である。年齢階層別にみると、60代前半層では37.7%に対し、後半層では52.1%と後半層の方が定年経験者の割合が高い。男女別にみると、定年を経験した人の割合は男性で58.1%、女性で31.0%と男性の方が高い。(図表2-53)

定年経験者に、定年時の年齢を尋ねたところ、「60歳」が73.0%を占める。平均60.4歳、標準偏差は2.0である。(図表2-54)

図表 2-53 現在までに定年を経験したか(単位:%)

		総数(人)	計	ある	ない	無回答
全体		12,654,396	100.0	45.7	52.3	2.0
年齢階層	60～64歳	5,664,935	100.0	37.7	60.9	1.4
	65～69歳	6,989,461	100.0	52.1	45.3	2.6
男性計		6,855,842	100.0	58.1	40.5	1.4
	60～64歳	3,080,042	100.0	49.5	49.3	1.2
	65～69歳	3,775,800	100.0	65.1	33.3	1.6
女性計		5,798,555	100.0	31.0	66.2	2.8
	60～64歳	2,584,893	100.0	23.6	74.8	1.6
	65～69歳	3,213,661	100.0	36.9	59.4	3.8

注: サンプル数は図表2-40で「雇われていた」と回答した者である。

図表 2-54 最初に定年を経験した年齢(単位:%)

		総数(人)	計	60歳未満	60歳	61~64歳	65歳	66歳以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		5,780,254	100.0	9.0	73.2	5.5	8.2	1.9	2.3	60.4	2.0
年齢階層	60~64歳	2,136,830	100.0	9.3	85.0	3.7	-	-	2.1	59.8	1.1
	65~69歳	3,643,425	100.0	8.9	66.2	6.6	13.0	3.0	2.4	60.7	2.4
男性計		3,984,242	100.0	7.2	77.0	4.8	6.1	2.2	2.7	60.3	1.9
	60~64歳	1,525,855	100.0	8.8	85.1	4.0	-	-	2.1	59.8	1.1
	65~69歳	2,458,387	100.0	6.2	72.0	5.3	9.8	3.6	3.1	60.7	2.2
女性計		1,796,012	100.0	13.1	64.6	7.1	12.9	1.1	1.2	60.5	2.3
	60~64歳	610,975	100.0	10.6	84.6	2.9	-	-	1.9	59.8	1.0
	65~69歳	1,185,038	100.0	14.4	54.2	9.3	19.5	1.7	0.8	60.9	2.6

注: サンプル数は図表2-53で定年の経験が「ある」と回答した者である。

(早期退職の有無)

定年を経験したことがない人(図表2-53で「ない」と回答した者)に、55歳当時雇われていた会社等を定年前に早期退職したか尋ねたところ、定年前に「(早期)退職した」人は50.3%、「現在も勤務している」人は48.5%であった。年齢階層別にみると、60代前半層では「退職した」人が39.6%に対し、後半層では62.0%と後半層の方がその割合が高い。(図表2-55)

図表 2-55 55歳当時に雇われていた会社の早期退職有無(単位:%)

		総数(人)	計	退職した	現在も勤務している	無回答
全体		6,617,267	100.0	50.3	48.5	1.2
年齢階層	60~64歳	3,450,556	100.0	39.6	59.4	1.0
	65~69歳	3,166,711	100.0	62.0	36.6	1.4
男性計		2,776,360	100.0	46.3	52.5	1.3
	60~64歳	1,517,760	100.0	37.3	61.9	0.8
	65~69歳	1,258,600	100.0	57.0	41.1	1.9
女性計		3,840,907	100.0	53.2	45.6	1.1
	60~64歳	1,932,795	100.0	41.3	57.4	1.2
	65~69歳	1,908,111	100.0	65.3	33.7	1.1

注: サンプル数は図表2-53で定年の経験が「ない」と回答した者である。

早期退職した年齢については、「61~64歳」(15.9%)、「58歳」(11.8%)、「56歳」(10.5%)、「60歳」(10.3%)の順に多い。(図表2-56)

早期退職の理由をみると、「事業主都合(解雇、人員整理など)」による退職の割合は21.8%であった。(図表2-57)

会社の早期退職優遇制度については、「活用した」が9.1%、「制度はあったが活用しなかった」が8.6%、「制度がなかった」が75.9%であった。男女別にみると、「活用した」人の割

合は男性で14.7%、女性で5.5%であり、男性の方が制度利用率が高い。(図表2-58)

図表2-56 早期退職の年齢(単位:%)

		総数(人)	計	54歳以下	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61~64歳	65歳以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		3,328,411	100.0	-	10.0	10.5	9.7	11.8	8.7	10.3	15.9	7.3	15.7	59.2	3.3
年齢階層	60~64歳	1,365,598	100.0	-	11.7	14.8	13.6	10.7	10.1	10.0	11.1	-	18.0	58.0	2.3
	65~69歳	1,962,813	100.0	-	8.8	7.5	7.0	12.6	7.8	10.5	19.2	12.4	14.1	60.0	3.7
男性計		1,284,150	100.0	-	7.0	11.6	9.0	15.5	9.9	10.7	11.3	6.4	18.6	58.9	2.9
	60~64歳	566,631	100.0	-	6.4	12.9	12.1	14.3	7.9	10.7	12.1	-	23.6	58.2	2.1
	65~69歳	717,520	100.0	-	7.4	10.7	6.6	16.4	11.5	10.7	10.7	11.5	14.8	59.4	3.3
女性計		2,044,261	100.0	-	11.9	9.8	10.2	9.5	8.0	10.1	18.8	7.9	13.8	59.4	3.6
	60~64歳	798,967	100.0	-	15.4	16.2	14.7	8.1	11.8	9.6	10.3	-	14.0	57.8	2.3
	65~69歳	1,245,294	100.0	-	9.7	5.6	7.3	10.5	5.6	10.5	24.2	12.9	13.7	60.4	3.8

注: サンプル数は図表2-55で、55歳当時に雇われていた会社を定年前に「(早期)退職した」と回答した者である。

図表2-57 事業主都合による退職であったか(単位:%)

		総数(人)	計	はい	いいえ	無回答
全体		3,328,411	100.0	21.8	74.6	3.6
年齢階層	60~64歳	1,365,598	100.0	19.4	76.2	4.4
	65~69歳	1,962,813	100.0	23.5	73.4	3.0
男性計		1,284,150	100.0	29.8	65.1	5.1
	60~64歳	566,631	100.0	25.0	68.6	6.4
	65~69歳	717,520	100.0	33.6	62.3	4.1
女性計		2,044,261	100.0	16.8	80.5	2.6
	60~64歳	798,967	100.0	15.4	81.6	2.9
	65~69歳	1,245,294	100.0	17.7	79.8	2.4

注: サンプル数は図表2-55で、55歳当時に雇われていた会社を定年前に「(早期)退職した」と回答した者である。

図表2-58 会社の早期退職優遇制度を活用したか(単位:%)

		総数(人)	計	活用した	制度はあったが活用しなかった	制度がなかった	無回答
全体		3,328,411	100.0	9.1	8.6	75.9	6.4
年齢階層	60~64歳	1,365,598	100.0	10.4	7.6	74.9	7.1
	65~69歳	1,962,813	100.0	8.2	9.3	76.6	5.9
男性計		1,284,150	100.0	14.7	11.8	65.0	8.5
	60~64歳	566,631	100.0	15.7	12.1	66.4	5.7
	65~69歳	717,520	100.0	13.9	11.5	63.9	10.7
女性計		2,044,261	100.0	5.5	6.6	82.7	5.1
	60~64歳	798,967	100.0	6.6	4.4	80.9	8.1
	65~69歳	1,245,294	100.0	4.8	8.1	83.9	3.2

注: サンプル数は図表2-55で、55歳当時に雇われていた会社を定年前に「(早期)退職した」と回答した者である。

また、早期退職後に再就職したかをみると、「した」が40.6%、「しなかった」が58.6%となっている。年齢階層別にみると、60代前半層では再就職した人が49.1%と半数を占めるのに対し、60代後半層では34.7%にとどまる。男女別に見ると、男性は50.9%、女性は34.1%が再就職している。(図表2-59)

図表2-59 定年前の早期退職後、再就職したか(単位:%)

		総数(人)	計	した	しなかった	無回答
全体		3,328,411	100.0	40.6	58.6	0.8
年齢階層	60～64歳	1,365,598	100.0	49.1	50.3	0.6
	65～69歳	1,962,813	100.0	34.7	64.4	0.9
男性計		1,284,150	100.0	50.9	47.1	2.0
	60～64歳	566,631	100.0	57.1	41.4	1.4
	65～69歳	717,520	100.0	45.9	51.6	2.5
女性計		2,044,261	100.0	34.1	65.9	-
	60～64歳	798,967	100.0	43.4	56.6	-
	65～69歳	1,245,294	100.0	28.2	71.8	-

注: サンプル数は図表2-55で、55歳当時に雇われていた会社を定年前に「(早期)退職した」と回答した者である。

(4) 55歳当時雇用者の定年到達直後・早期退職直後の就業状況

(定年到達直後等の就業状況)

55歳当時雇用者で、定年到達直後または早期退職した直後(以下「定年到達直後等」という。)に仕事をしてきたかを尋ねたところ、「仕事をしてきた」人が65.4%、「仕事をしていなかった」人が28.2%であった。年齢階層別にみると、60代前半層では「仕事をしてきた」人が72.5%、60代後半層では60.8%である。男女別にみると、「仕事をしてきた」人の割合は、男性が70.6%、女性が55.7%で、男性の方が15ポイント程高い。(図表2-60)

図表2-60 定年・早期退職直後に仕事をしてきたか(単位:%)

		総数(人)	計	仕事をしてきた	仕事をしていなかった	無回答
全体		7,131,501	100.0	65.4	28.8	5.8
年齢階層	60～64歳	2,807,229	100.0	72.5	22.0	5.5
	65～69歳	4,324,272	100.0	60.8	33.2	6.0
男性計		4,637,384	100.0	70.6	24.6	4.7
	60～64歳	1,849,644	100.0	75.1	19.5	5.5
	65～69歳	2,787,740	100.0	67.7	28.1	4.2
女性計		2,494,117	100.0	55.7	36.5	7.8
	60～64歳	957,585	100.0	67.5	27.0	5.5
	65～69歳	1,536,532	100.0	48.4	42.5	9.2

注: サンプル数は、図表2-53で定年経験が「ある」と回答した者と、図表2-59で早期退職後に再就職「した」と回答した者である。

ア 定年到達直後等に仕事をしていた人の状況

(定年到達直後等の仕事内容)

定年到達直後等に仕事をしていた人について、その雇用形態をみると、「正社員」が29.6%と最も多く、ついで「嘱託」(22.6%)、「パート・アルバイト」(21.1%)、「契約社員」(16.4%)の順である。男女別にみると、男性では「正社員」(37.0%)、女性では「パート・アルバイト」(48.9%)が最も多い。(図表2-61)

図表2-61 定年到達直後等の雇用形態(単位:%)

		総数(人)	計	正社員	パート・アルバイト	嘱託	契約社員	派遣労働者	その他	無回答
全体		4,665,527	100.0	29.6	21.1	22.6	16.4	2.7	6.2	1.5
年齢階層	60～64歳	2,034,468	100.0	33.0	20.2	22.1	15.2	3.0	5.6	0.9
	65～69歳	2,631,059	100.0	27.0	21.8	22.9	17.2	2.4	6.6	2.0
男性計		3,276,145	100.0	37.0	9.3	26.1	18.4	1.7	5.5	2.0
	60～64歳	1,388,245	100.0	42.0	6.7	23.9	18.1	2.3	6.1	0.9
	65～69歳	1,887,900	100.0	33.3	11.2	27.7	18.7	1.2	5.0	2.8
女性計		1,389,383	100.0	12.1	48.9	14.2	11.5	5.0	7.9	0.4
	60～64歳	646,223	100.0	13.6	49.1	18.2	9.1	4.5	4.5	0.9
	65～69歳	743,159	100.0	10.8	48.6	10.8	13.5	5.4	10.8	-

注: サンプル数は図表2-60で、定年直後あるいは早期退職直後に「仕事をしていた」と回答した者である。

勤務形態をみると、「フルタイム」が66.9%で最も多く、ついで「短時間・短日勤務」(23.3%)である。男女別にみると、男性は「フルタイム」が75.2%を占めるのに対し、女性は「フルタイム」(47.5%)と「短時間・短日勤務」(39.4%)の割合が高い。(図表2-62)

図表2-62 定年退職直後等の勤務形態(単位:%)

		総数(人)	計	フルタイム	短時間・短日勤務	勤務日と時間帯を弾力的に設定できるフレックス勤務	在宅勤務・テレワーク	その他	無回答
全体		4,665,527	100.0	66.9	23.3	4.5	0.5	2.7	2.2
年齢階層	60～64歳	2,034,468	100.0	70.4	21.5	4.0	0.6	1.7	1.8
	65～69歳	2,631,059	100.0	64.2	24.6	4.8	0.4	3.5	2.5
男性計		3,276,145	100.0	75.2	16.4	3.6	-	2.1	2.7
	60～64歳	1,388,245	100.0	82.5	11.7	2.9	-	1.2	1.7
	65～69歳	1,887,900	100.0	69.8	19.9	4.0	-	2.8	3.4
女性計		1,389,383	100.0	47.5	39.4	6.6	1.6	4.2	0.8
	60～64歳	646,223	100.0	44.5	42.7	6.4	1.8	2.7	1.8
	65～69歳	743,159	100.0	50.0	36.5	6.8	1.4	5.4	-

注: サンプル数は図表2-60で、定年直後あるいは早期退職直後に「仕事をしていた」と回答した者である。

職種は、「専門的・技術的な仕事」(31.3%)、「事務的な仕事」(14.2%)、「サービスの仕事」(12.4%)、「管理的な仕事」(11.9%)の順に多い。男女別にみると、男性は「専門的・技術的な仕事」が34.1%と最も多く、「管理的な仕事」(16.2%)、「事務的な仕事」(12.9%)がつづく。女性は「専門的・技術的な仕事」(24.8%)と「サービスの仕事」(21.2%)、「事務的

な仕事」(17.3%)の順に多い。(図表2-63)

図表 2-63 定年到達直後等の仕事内容(単位:%)

		総数(人)	計	管理的な仕事	専門的・技術的な仕事	事務的な仕事	販売の仕事	サービスの仕事	保安の仕事	農林漁業の仕事	生産工程の仕事	輸送・機械運転の仕事	建設・採掘の仕事	運搬・清掃・包装等の仕事	無回答
全体		4,665,527	100.0	11.9	31.3	14.2	8.2	12.4	1.5	0.9	7.9	3.3	2.0	3.9	2.5
年齢階層	60～64歳	2,034,468	100.0	10.4	34.6	16.7	6.8	10.4	1.2	1.3	8.8	2.7	1.4	3.7	2.0
	65～69歳	2,631,059	100.0	13.1	28.7	12.2	9.3	13.9	1.8	0.7	7.1	3.8	2.5	4.0	2.8
男性計		3,276,145	100.0	16.2	34.1	12.9	6.7	8.6	2.2	0.8	6.9	4.5	2.8	2.3	2.0
	60～64歳	1,388,245	100.0	14.0	36.7	15.2	6.1	8.5	1.7	0.6	7.9	3.5	2.0	2.9	0.9
	65～69歳	1,887,900	100.0	17.8	32.1	11.2	7.2	8.7	2.5	0.9	6.2	5.3	3.4	1.9	2.8
女性計		1,389,383	100.0	2.0	24.8	17.3	11.8	21.2	-	1.3	10.1	0.4	-	7.6	3.6
	60～64歳	646,223	100.0	2.7	30.0	20.0	8.2	14.5	-	2.7	10.9	0.9	-	5.5	4.5
	65～69歳	743,159	100.0	1.4	20.3	14.9	14.9	27.0	-	-	9.5	-	-	9.5	2.7

注: サンプル数は図表2-60で、定年直後あるいは早期退職直後に「仕事をしていた」と回答した者である。

さらに、上記の職種について、定年・早期退職前と同じ職種かを尋ねたところ、「同じ」が72.0%、「違う」が24.8%であった。男女別にみると「同じ」と回答したものは、男性で74.6%、女性で65.9%であり、男性の方が同じ職種の割合がやや高い。(図表2-64)

なお、定年・早期退職前と後で職種が異なる人に対して、定年・早期退職前の職種を尋ねたところ、「管理的な仕事」(18.9%)、「専門的・技術的な仕事」(17.0%)、「販売の仕事」(14.1%)の順で多い。(図表2-65)

図表 2-64 定年到達直後等の仕事は定年・早期退職前の職種と同じか(単位:%)

		総数(人)	計	同じ	違う	無回答
全体		4,665,527	100.0	72.0	24.8	3.2
年齢階層	60～64歳	2,034,468	100.0	72.7	23.7	3.5
	65～69歳	2,631,059	100.0	71.5	25.6	2.9
男性計		3,276,145	100.0	74.6	22.4	2.9
	60～64歳	1,388,245	100.0	73.2	23.3	3.5
	65～69歳	1,887,900	100.0	75.7	21.8	2.5
女性計		1,389,383	100.0	65.9	30.2	3.9
	60～64歳	646,223	100.0	71.8	24.5	3.6
	65～69歳	743,159	100.0	60.8	35.1	4.1

注: サンプル数は図表2-60で、定年直後あるいは早期退職直後に「仕事をしていた」と回答した者である。

図表 2-65 定年・早期退職前の職種(単位:%)

		総数(人)	計	管理的な仕事	専門的・技術的な仕事	事務的な仕事	販売の仕事	サービスの仕事	保安の仕事	農林漁業の仕事	生産工程の仕事	輸送・機械運転の仕事	建設・探掘の仕事	運搬・清掃・包装等の仕事	無回答
全体		1,155,209	100.0	18.9	17.0	12.2	14.1	13.5	0.7	-	9.3	2.5	1.6	4.1	6.0
年齢階層	60～64歳	482,407	100.0	21.0	19.9	12.8	9.1	11.1	1.7	-	12.4	-	2.5	4.5	5.0
	65～69歳	672,802	100.0	17.5	15.0	11.8	17.6	15.2	-	-	7.1	4.4	0.9	3.9	6.7
男性計		735,480	100.0	29.8	17.9	8.4	16.4	4.9	1.1	-	7.4	4.0	2.5	1.3	6.4
	60～64歳	323,789	100.0	31.3	18.8	10.0	10.0	7.5	2.5	-	11.3	-	3.8	1.3	3.8
	65～69歳	411,692	100.0	28.6	17.1	7.1	21.4	2.9	-	-	4.3	7.1	1.4	1.4	8.6
女性計		419,728	100.0	-	15.6	19.0	10.0	28.5	-	-	12.8	-	-	9.0	5.2
	60～64歳	158,618	100.0	-	22.2	18.5	7.4	18.5	-	-	14.8	-	-	11.1	7.4
	65～69歳	261,110	100.0	-	11.5	19.2	11.5	34.6	-	-	11.5	-	-	7.7	3.8

注：サンプル数は、図表2-64で定年・早期退職前と直後で職種が「違う」と回答した者である。

(定年到達直後等の仕事の見つけ方)

定年到達直後等に、どのように仕事を見つけたかをみると、「勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた」が61.2%を占め、これに「勤務先からのあっせんによらず別の会社などに再就職した」(19.1%)、「勤務先の会社から別の会社などをあっせんされて再就職した」(7.1%)がつづく。

男女別にみると、男性では「勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた」が65.1%を占めるのに対し、女性ではこの方法は52.0%にとどまり、「勤務先からのあっせんによらず別の会社などに再就職した」(25.1%)割合が高くなっている。(図表2-66)

図表 2-66 定年到達直後等に、どのようにして仕事を見つけたか(単位:%)

		総数(人)	計	勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた	勤務先からのあっせんによらず別の会社などに再就職した	勤務先の会社から別の会社などをあっせんされて再就職した	自ら事業を起こした	内職・家業の手伝い、任意に行う仕事などをしてきた	友人・知人から就職先を紹介された	その他	無回答
全体		4,665,527	100.0	61.2	19.1	7.1	1.7	0.9	2.9	2.3	4.8
年齢階層	60～64歳	2,034,468	100.1	60.3	20.0	7.2	1.4	0.9	2.7	1.2	6.4
	65～69歳	2,631,059	99.9	61.9	18.4	7.0	1.9	1.0	3.0	3.1	3.6
男性計		3,276,145	99.9	65.1	16.5	8.2	2.1	0.2	1.5	2.0	4.3
	60～64歳	1,388,245	99.9	65.9	15.7	7.6	2.0	-	1.5	1.7	5.5
	65～69歳	1,887,900	100.0	64.5	17.1	8.7	2.2	0.3	1.6	2.2	3.4
女性計		1,389,383	100.0	52.0	25.1	4.4	0.7	2.7	6.2	2.9	6.0
	60～64歳	646,223	100.1	48.2	29.1	6.4	-	2.7	5.5	-	8.2
	65～69歳	743,159	100.1	55.4	21.6	2.7	1.4	2.7	6.8	5.4	4.1

注：サンプル数は図表2-60で、定年後あるいは早期退職直後に「仕事をしてきた」と回答した者である。

注：選択肢は調査票配布時には6つだったが、調査票回収後、「その他」の回答として「友人・知人から就職先を紹介された」が多く挙げられていたため、この選択肢を追加集計した。

「勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた」と回答した人に、現在も同じ勤務先で勤務しているかを尋ねたところ、「はい」(50.2%)と「いいえ」(49.3%)が拮抗している。ただし年齢階層別にみると、60代前半層では「はい」が74.9%、60代後半層では31.6%であり、年齢階層による差が大きい。(図表2-67)

図表 2-67 現在も同じ勤務に勤めているか(単位:%)

		総数(人)	計	はい	いいえ	無回答
全体		2,855,247	100.0	50.2	49.3	0.6
年齢階層	60～64歳	1,226,066	100.0	74.9	24.6	0.5
	65～69歳	1,629,181	100.0	31.6	67.8	0.6
男性計		2,132,134	100.0	49.2	50.8	-
	60～64歳	914,704	100.0	79.2	20.8	-
	65～69歳	1,217,431	100.0	26.6	73.4	-
女性計		723,113	100.0	53.2	44.6	2.2
	60～64歳	311,362	100.0	62.3	35.8	1.9
	65～69歳	411,750	100.0	46.3	51.2	2.4

注: サンプル数は、図表2-66で「勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた」と回答した者である。

上記の問いで「いいえ」と回答した者に対して、同じ勤務先に勤めていない理由を尋ねたところ、「再雇用・勤務延長の上限年齢に到達する前に自己都合で退職した」(46.7%)と「再雇用・勤務延長の上限年齢に到達して退職した」(42.9%)が拮抗している。(図表2-68)

図表 2-68 同じ勤務先に勤めていない理由(単位:%)

		総数(人)	計	再雇用・勤務延長の上限年齢に到達して退職した	再雇用・勤務延長の上限年齢に到達する前に自己都合で退職した	再雇用・勤務延長の上限年齢に到達する前に事業主都合で退職した	無回答
全体		1,406,702	100.0	42.9	46.7	8.0	2.4
年齢階層	60～64歳	301,846	100.0	14.0	70.8	13.3	1.9
	65～69歳	1,104,855	100.0	50.8	40.1	6.6	2.5
男性計		1,084,185	100.0	46.8	44.1	7.5	1.6
	60～64歳	190,226	100.0	19.1	66.0	14.9	-
	65～69歳	893,959	100.0	52.6	39.5	5.9	2.0
女性計		322,517	100.0	29.8	55.3	9.9	4.9
	60～64歳	111,620	100.0	5.3	78.9	10.5	5.3
	65～69歳	210,897	100.0	42.9	42.9	9.5	4.8

注: サンプル数は、図表2-67で定年・早期退職直後に働いていた会社には現在勤めていない(「いいえ」と回答した者)である。

イ 定年到達直後等に仕事をしていなかった人の状況

(再雇用・勤務延長制度の活用有無)

図表2-60で定年到達直後等に「仕事をしていなかった」と回答した人について、55歳当時に雇われていた会社などに再雇用・勤務延長の制度があったかを尋ねたところ、「あった」が64.1%、「なかった」が35.3%であった。制度があった割合は、60代前半層で74.9%、60

代後半層で 59.5%、男性で 69.9%、女性で 56.8%である。(図表 2-69)

図表 2-69 55 歳当時に雇われていた会社などに再雇用・勤務延長の制度はあったか(単位:%)

		総数(人)	計	あった	なかった	無回答
全体		2,053,693	100.0	64.1	35.3	0.6
年齢階層	60~64歳	618,704	100.0	74.9	24.1	0.9
	65~69歳	1,434,989	100.0	59.5	40.1	0.4
男性計		1,142,429	100.0	69.9	29.5	0.5
	60~64歳	360,215	100.0	79.8	20.2	-
	65~69歳	782,214	100.0	65.4	33.8	0.8
女性計		911,264	100.0	56.8	42.5	0.6
	60~64歳	258,489	100.0	68.2	29.5	2.3
	65~69歳	652,775	100.0	52.3	47.7	-

注: サンプル数は図表2-60で、定年直後あるいは早期退職直後に「仕事をしていなかった」と回答した者である。

制度が「あった」人に対して、定年到達直後に、継続雇用されなかった理由を尋ねたところ、「再雇用・勤務延長を希望しなかったから」が 75.6%と最も多く、これに「定年前に早期退職した」(16.0%)、「再雇用・勤務延長を希望したのに雇用されなかった」(7.6%)がたつづく。この傾向に、年齢階層や性別による差はほとんどみられない。(図表 2-70)

図表 2-70 継続雇用されなかった理由(単位:%)

		総数(人)	計	再雇用・勤務延長を希望しなかったから	再雇用・勤務延長を希望したが雇用されなかったから	定年前に早期退職した	無回答
全体		1,316,731	100.0	75.6	7.6	16.0	0.8
年齢階層	60~64歳	463,605	100.0	77.6	4.3	18.1	-
	65~69歳	853,125	100.0	74.5	9.4	14.8	1.2
男性計		799,036	100.0	74.5	9.8	15.6	-
	60~64歳	287,363	100.0	80.3	2.8	16.9	-
	65~69歳	511,674	100.0	71.3	13.8	14.9	-
女性計		517,694	100.0	77.3	4.2	16.5	1.9
	60~64歳	176,243	100.0	73.3	6.7	20.0	-
	65~69歳	341,452	100.0	79.4	2.9	14.7	2.9

注: サンプル数は、図表2-69で55歳当時に雇われていた会社などに再雇用・勤務延長制度が「あった」と回答した者である。

図表 2-70 で「再雇用・勤務延長を希望したのに雇用されなかった」と回答した人に対して、その理由について会社から説明があったかを尋ねたところ、会社から「説明を受けた」人は 68.5%と約 7 割を占めるが、「説明を受けなかった」人も 31.5%いる。(図表 2-71)

図表 2-71 再雇用・勤務延長されなかった理由についての会社からの説明有無(単位:%)

		総数(人)	計	説明を受けた	説明を受けなかった	無回答
全体		100,463	100.0	68.5	31.5	-
年齢階層	60~64歳	19,844	100.0	59.2	40.8	-
	65~69歳	80,618	100.0	70.8	29.2	-
男性計		78,670	100.0	59.8	40.2	-
	60~64歳	8,095	100.0	-	100.0	-
	65~69歳	70,576	100.0	66.7	33.3	-
女性計		21,792	100.0	100.0	-	-
	60~64歳	11,750	100.0	100.0	-	-
	65~69歳	10,043	100.0	100.0	-	-

注: サンプル数は、図表2-70で「再雇用・勤務延長を希望したが雇用されなかったから」と回答した者である。

図表 2-70 で「再雇用・勤務延長を希望しなかった」と回答した人に対して、その理由を複数回答で尋ねたところ、「趣味やボランティア活動に打ち込みたかったから」(29.4%)、「健康上の理由から」(24.8%)、「家族などの介護のため」(24.3%)、「再雇用・勤務延長後の賃金が安すぎるから」(19.3%)の順に多い。男性では、「趣味やボランティア活動に打ち込みたかったから」(27.4%)、「再雇用・勤務延長後の賃金が安すぎるから」(22.6%)、「健康上の理由から」(20.7%)の順に多い。この一方、女性では、「家族などの介護のため」が41.4%と最も多く、これに「趣味やボランティア活動に打ち込みたかったから」(32.4%)、「健康上の理由から」(31.0%)がつづく。(図表 2-72)

図表 2-72 再雇用・勤務延長を希望しなかった理由(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	再雇用・勤務延長後に自分のやりたい仕事できなかったから	余剰扱いされたから	職場の雰囲気や人間関係がよくなかったから	再雇用・勤務延長後の賃金が安すぎるから	再雇用・勤務延長後の身分・役職に納得できなかったから	再雇用・勤務延長後の就業時間に納得できなかったから	後進のポストや仕事奪うことになるから	会社の業績が悪く、会社に迷惑をかけたか、またかと思ったから	健康上の理由から	家族などの介護のため	家業を継ぐ予定だったから	他の会社に転職したかったから	独立開業したかったから	趣味やボランティア活動に打ち込みたかったから	年金など仕事以外の収入で十分に生活できなかったから	継続雇用制度の基準に合致しないと思ひ、希望(申し出)をしなかったから	その他	無回答
全体		995,738	11.2	5.2	13.2	19.3	6.6	5.5	11.4	1.6	24.8	24.3	0.4	5.2	1.4	29.4	12.7	5.8	9.1	-
年齢階層	60~64歳	359,944	15.0	7.8	19.4	16.1	5.6	2.8	11.1	1.1	21.1	21.0	1.1	9.5	2.2	27.3	10.5	5.0	12.2	-
	65~69歳	635,794	9.0	3.7	9.6	21.1	7.1	7.1	11.5	1.9	26.9	26.1	-	2.8	0.9	30.6	14.0	6.2	7.4	-
男性計		595,341	14.0	6.7	13.7	22.6	9.3	6.6	13.6	2.7	20.7	12.7	0.7	7.7	2.3	27.4	13.3	7.0	11.3	-
	60~64歳	230,700	15.8	7.0	17.5	17.5	8.8	1.8	12.3	1.8	22.8	17.5	1.8	12.3	3.5	29.8	8.8	5.3	8.8	-
	65~69歳	364,641	12.9	6.5	11.3	25.8	9.7	9.7	14.5	3.2	19.4	9.7	-	4.8	1.6	25.8	16.1	8.1	12.9	-
女性計		400,397	6.9	2.9	12.4	14.4	2.5	4.0	8.0	-	31.0	41.4	-	1.5	-	32.4	11.9	4.0	5.9	-
	60~64歳	129,245	13.6	9.1	22.7	13.6	-	4.5	9.1	-	18.2	27.3	-	4.5	-	22.7	13.6	4.5	18.2	-
	65~69歳	271,153	3.7	-	7.4	14.8	3.7	3.7	7.4	-	37.0	48.1	-	-	-	37.0	11.1	3.7	-	-

注: サンプル数は、図表2-70で「再雇用・勤務延長を希望しなかったから」と回答した者である。

(求職活動の有無)

図表 2-60 で定年到達直後等に「仕事をしていなかった」と回答した人について定年到達直後等に仕事を探していたかどうかを尋ねたところ、「仕事を探していた」人が 38.2%、「仕事を探していなかった」人が 60.2%であった。「仕事を探していた」人は、60 代前半層では 44.4%、60 代後半層では 35.5%、男性では 42.6%、女性では 32.6%であり、年齢階層では 60 代前半層、性別では男性の方が、その割合は 10 ポイント程高い。(図表 2-73)

図表 2-73 定年到達直後等に仕事を探していたか(単位:%)

		総数(人)	計	仕事を探していた	仕事を探していなかった	無回答
全体		2,053,693	100.0	38.2	60.2	1.6
年齢階層	60～64歳	618,704	100.0	44.4	53.7	1.9
	65～69歳	1,434,989	100.0	35.5	63.0	1.5
男性計		1,142,429	100.0	42.6	56.4	1.0
	60～64歳	360,215	100.0	55.1	44.9	-
	65～69歳	782,214	100.0	36.8	61.7	1.5
女性計		911,264	100.0	32.6	65.0	2.4
	60～64歳	258,489	100.0	29.5	65.9	4.5
	65～69歳	652,775	100.0	33.8	64.6	1.5

注: サンプル数は、図表2-60で定年直後あるいは早期退職直後に「仕事をしていなかった」と回答した者である。

図表 2-73 で「仕事を探していた」と回答した人に対して、その期間を尋ねたところ、「6ヶ月～1年未満」(31.7%)、「1年～1年6ヶ月未満」(21.9%)、「3ヶ月～6ヶ月未満」(21.1%)、「3ヶ月未満」(16.7%)であり、半年未満が 37.8%を占める。男女別にみると、男性は半年未満の割合が 42.9%、女性は 29.6%であり、男性の方が求職期間の短い人の割合が高い。(図表 2-74)

図表 2-74 求職活動期間(単位:%)

		総数(人)	計	3ヶ月未満	3ヶ月～6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～1年6ヶ月未満	1年6ヶ月～2年未満	2年～3年未満	3年以上	無回答
全体		783,816	100.0	16.7	21.1	31.7	21.9	2.0	3.3	2.8	0.5
年齢階層	60～64歳	274,693	100.0	15.3	22.1	29.2	23.3	1.5	3.6	3.6	1.5
	65～69歳	509,123	100.0	17.5	20.6	33.1	21.1	2.3	3.1	2.3	-
男性計		486,505	100.0	17.1	25.8	29.8	18.0	3.2	2.0	3.2	0.8
	60～64歳	198,321	100.0	12.2	30.6	28.6	20.4	2.0	2.0	2.0	2.0
	65～69歳	288,184	100.0	20.4	22.4	30.6	16.3	4.1	2.0	4.1	-
女性計		297,311	100.0	16.1	13.5	34.9	28.2	-	5.4	2.0	-
	60～64歳	76,372	100.0	23.1	-	30.8	30.8	-	7.7	7.7	-
	65～69歳	220,939	100.0	13.6	18.2	36.4	27.3	-	4.5	-	-

注: サンプル数は図表2-73で「仕事を探していた」と回答した者である。

求職期間中に雇用保険を受給していたか尋ねたところ、「受給していた」人が 80.2%を占める。受給者は男性で 84.1%、女性で 73.8%であり、男性の方が受給者の割合が高い。(図表 2-75)

図表 2-75 求職期間中に雇用保険を受給していたか(単位:%)

		総数(人)	計	受給していた	受給していなかった	無回答
全体		783,816	100.0	80.2	19.8	-
年齢階層	60～64歳	274,693	100.0	84.7	15.3	-
	65～69歳	509,123	100.0	77.8	22.2	-
男性計		486,505	100.0	84.1	15.9	-
	60～64歳	198,321	100.0	87.8	12.2	-
	65～69歳	288,184	100.0	81.6	18.4	-
女性計		297,311	100.0	73.8	26.2	-
	60～64歳	76,372	100.0	76.9	23.1	-
	65～69歳	220,939	100.0	72.7	27.3	-

注: サンプル数は図表2-73で「仕事を探していた」と回答した者である。

その後の再就職状況を見ると、「再び働くようになった」(48.0%)と「そのまま引退した」(45.7%)が拮抗している。年齢階層別にみると、60代前半層では 55.8%が再び働くようになっている一方、60代後半層では 44.6%にとどまる。なお、性別による差はほとんどみられない。(図表 2-76)

図表 2-76 定年到達直後等に、現在までに一度でも再び働くようになったか(単位:%)

		総数(人)	計	再び働くようになった	現在まで求職中	そのまま引退した	無回答
全体		2,053,693	100.0	48.0	5.2	45.7	1.1
年齢階層	60～64歳	618,704	100.0	55.8	8.7	32.9	2.6
	65～69歳	1,434,989	100.0	44.6	3.7	51.3	0.4
男性計		1,142,429	100.0	48.8	5.2	45.1	0.9
	60～64歳	360,215	100.0	55.1	10.1	33.7	1.1
	65～69歳	782,214	100.0	45.9	3.0	50.4	0.8
女性計		911,264	100.0	47.0	5.2	46.5	1.3
	60～64歳	258,489	100.0	56.8	6.8	31.8	4.5
	65～69歳	652,775	100.0	43.1	4.6	52.3	-

注: サンプル数は、図表2-60で定年直後あるいは早期退職直後に「仕事をしていなかった」と回答した者である。

(5) 55歳当時雇用者の再就職状況

図表2-66で定年・早期退職直後に「勤務先からのあっせんによらず別の会社などに再就職した」と回答した者と、図表2-76で定年・早期退職後に「再び働くようになった」と回答した者に対して、再就職の状況を尋ねた。

申込書・履歴書を送付した会社数をみると、「1社」が35.4%と最も多く、これに「2社」(14.3%)、「3社」(14.3%)がつづく。平均は3.2社、標準偏差は10.9である。なお、年齢階層や性別による差はほとんどみられない。(図表2-77)

また、面接できた会社数は、「1社」が40.3%と最も多く、ついで「2社」(18.9%)、「3社」(11.9%)がつづく。平均は1.9社、標準偏差は2.2である。なお、年齢階層や性別による差はほとんどみられない。(図表2-78)

図表2-77 申込書・履歴書を送付した会社の数(単位:%)

		総数(人)	計	0社	1社	2社	3社	4~5社	6社以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		1,875,850	100.0	4.8	35.4	14.3	14.3	7.4	7.0	16.8	3.2	10.9
年齢階層	60~64歳	751,739	100.0	2.6	38.4	11.7	14.3	11.2	5.1	16.7	4.1	16.6
	65~69歳	1,124,110	100.0	6.2	33.4	16.0	14.3	4.9	8.2	16.9	2.7	3.3
男性計		1,099,110	100.0	3.4	35.4	13.9	13.5	8.7	10.4	14.6	4.0	13.8
	60~64歳	416,878	100.0	1.9	36.9	12.6	11.7	14.6	7.8	14.6	5.6	21.9
	65~69歳	682,232	100.0	4.3	34.5	14.7	14.7	5.2	12.1	14.7	3.0	3.3
女性計		776,740	100.0	6.7	35.5	14.9	15.3	5.6	2.0	20.0	2.1	2.7
	60~64歳	334,861	100.0	3.5	40.4	10.5	17.5	7.0	1.8	19.3	2.0	1.7
	65~69歳	441,878	100.0	9.1	31.8	18.2	13.6	4.5	2.3	20.5	2.2	3.3

注: サンプル数は、図表2-66で定年・早期退職直後に「勤務先からのあっせんによらず別の会社などに再就職した」と回答した者と、図表2-76で定年・早期退職後に「再び働くようになった」と回答した者である。

図表2-78 面接できた会社の数(単位:%)

		総数(人)	計	0社	1社	2社	3社	4~5社	6社以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		1,875,850	100.0	4.8	40.3	18.9	11.9	4.8	2.0	17.4	1.9	2.2
年齢階層	60~64歳	751,739	100.0	2.6	39.8	19.4	13.0	7.4	0.5	17.2	2.0	2.2
	65~69歳	1,124,110	100.0	6.2	40.7	18.5	11.2	3.0	3.0	17.5	1.9	2.2
男性計		1,099,110	100.0	3.4	39.5	19.2	14.8	5.1	2.5	15.5	2.0	2.1
	60~64歳	416,878	100.0	1.9	37.9	22.3	13.6	7.8	1.0	15.5	2.1	2.7
	65~69歳	682,232	100.0	4.3	40.5	17.2	15.5	3.4	3.4	15.5	2.0	1.7
女性計		776,740	100.0	6.7	41.4	18.4	7.9	4.3	1.3	20.0	1.8	2.2
	60~64歳	334,861	100.0	3.5	42.1	15.8	12.3	7.0	-	19.3	1.8	1.2
	65~69歳	441,878	100.0	9.1	40.9	20.5	4.5	2.3	2.3	20.5	1.8	2.8

注: サンプル数は、図表2-66で定年・早期退職直後に「勤務先からのあっせんによらず別の会社などに再就職した」と回答した者と、図表2-76で定年・早期退職後に「再び働くようになった」と回答した者である。

再就職先が決まるまでの状況を複数回答で尋ねたところ、「すぐに就職が決まった」が46.9%、ついで「すぐに職探しを開始せず、何となくゆっくりしていた期間があった」(29.7%)であった。(図表2-79)

図表 2-79 再就職先が決まるまでの状況(複数回答)(単位: %)

		総数(人)	すぐに就職が決まった	すぐに職探しを開始せず、何となくゆっくりしていた期間があった	競争が厳しく、なかなか面接まで行き着かなかった	面接は受けられたが、競争が厳しく不採用が続いた	えり好みはしていないが、とにかく求人がなかった(量的に少なかった)	自分から辞退した(または求人を見て止めた)会社が多かった	無回答
全体		1,875,850	46.9	29.7	2.8	3.6	7.5	3.2	13.4
年齢階層	60～64歳	751,739	50.2	25.3	2.7	3.7	7.4	1.1	13.8
	65～69歳	1,124,110	44.7	32.6	2.8	3.5	7.5	4.6	13.2
男性計		1,099,110	49.3	25.4	2.9	4.1	8.8	4.5	13.2
	60～64歳	416,878	55.3	17.5	4.9	3.9	7.8	1.9	13.6
	65～69歳	682,232	45.7	30.2	1.7	4.3	9.5	6.0	12.9
女性計		776,740	43.5	35.8	2.6	2.8	5.6	1.3	13.8
	60～64歳	334,861	43.9	35.1	-	3.5	7.0	-	14.0
	65～69歳	441,878	43.2	36.4	4.5	2.3	4.5	2.3	13.6

注: サンプル数は、図表2-66で定年・早期退職直後に「勤務先からのあっせんによらず別の会社などに再就職した」と回答した者と、図表2-76で定年・早期退職後に「再び働くようになった」と回答した者である。

図表2-79で「自分から辞退した(または求人を見て止めた)会社が多かった」人に対して、その理由を複数回答で尋ねたところ、「要求される知識・技能が高すぎて、仕事の内容が合わなかった」(50.4%)、「賃金が折り合わなかった」(36.6%)、「通勤が遠かった」(36.6%)の順に多い。(図表2-80)

図表 2-80 自分から辞退した理由(複数回答)(単位: %)

		総数(人)	賃金が折り合わなかった	要求される知識・技能が高すぎたり責任が重すぎたりして、仕事の内容が合わなかった	肉体的にきつい仕事だった	仕事の内容に興味を持てなかったり、単純な仕事だったりした	パート勤務の会社を探したが、いくら探してもなかった	とても忙しそうなお仕事だった	通勤が遠かった(勤務場所が合わなかった)	勤務開始の時期が折り合わなかった	その他	無回答
全体		59,307	36.6	50.4	19.8	29.8	6.8	-	36.6	16.7	9.9	-
年齢階層	60～64歳	8,095	50.0	100.0	-	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-
	65～69歳	51,212	34.5	42.6	23.0	34.5	-	-	34.5	11.5	11.5	-
男性計		49,264	44.0	40.3	23.9	35.8	8.2	-	44.0	20.2	11.9	-
	60～64歳	8,095	50.0	100.0	-	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-
	65～69歳	41,169	42.9	28.6	28.6	42.9	-	-	42.9	14.3	14.3	-
女性計		10,043	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	60～64歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65～69歳	10,043	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

注: サンプル数は図表2-79で「自分から辞退した会社が多かった」と回答した者である。

(再就職先の満足度)

55歳以降又は定年前後に再就職した人に満足度を尋ねたところ、「前の職場よりは満足している」(30.2%)、「余り満足していない」(28.1%)、「非常に満足している」(23.7%)の順に多く、満足している人が53.8%と半数以上を占める。この傾向は、年齢階層・性別によらず同様の傾向を示している。(図表2-81)

図表 2-81 再就職の満足度(単位:%)

		総数(人)	計	非常に満足している	前の職場よりは満足している	余り満足していない	不満である	無回答
全体		1,875,850	100.0	23.7	30.2	28.1	3.7	14.3
年齢階層	60～64歳	751,739	100.0	27.5	31.5	22.6	3.2	15.1
	65～69歳	1,124,110	100.0	21.1	29.3	31.8	4.0	13.7
男性計		1,099,110	100.0	22.6	25.9	32.0	5.4	14.1
	60～64歳	416,878	100.0	24.3	30.1	25.2	5.8	14.6
	65～69歳	682,232	100.0	21.6	23.3	36.2	5.2	13.8
女性計		776,740	100.0	25.3	36.4	22.5	1.3	14.6
	60～64歳	334,861	100.0	31.6	33.3	19.3	-	15.8
	65～69歳	441,878	100.0	20.5	38.6	25.0	2.3	13.6

注: サンプル数は、図表2-66で定年・早期退職直後に「勤務先からのあっせんによらず別の会社などに再就職した」と回答した者と、図表2-76で定年・早期退職後に「再び働くようになった」と回答した者である。

上記のうち、「不満である」と「余り満足していない」と回答した人に対し、その理由を複数回答で尋ねたところ、「労働条件がかえって悪くなった」が47.2%と最も多く、これに「後になって実はきつい仕事(とても忙しい仕事)ということが分かった」(29.2%)、「人間関係が悪そうだ」(28.5%)がつづく。(図表2-82)

図表 2-82 再就職先に不満等を感じている理由(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	労働条件が前とほとんど変わっていない	労働条件がかえって悪くなった	仕事の内容を変えたかったのに、また似たような仕事になってしまった	後になって、実はきつい仕事(とても忙しい仕事)ということがわかった	後になって、今度の職場はリストが多くて不安定そうなことがわかった	人間関係が悪そうだ	その他	無回答
全体		596,953	3.6	47.2	3.3	29.2	2.3	28.5	12.1	2.0
年齢階層	60～64歳	194,138	8.1	49.6	4.2	34.8	7.2	26.7	14.6	-
	65～69歳	402,815	1.5	46.0	2.9	26.5	-	29.4	10.8	2.9
男性計		411,818	2.4	50.5	4.8	26.4	2.0	28.3	12.6	2.9
	60～64歳	129,516	3.1	56.3	6.3	25.0	6.3	21.9	21.9	-
	65～69歳	282,303	2.1	47.9	4.2	27.1	-	31.3	8.3	4.2
女性計		185,135	6.3	39.8	-	35.3	3.2	29.0	10.8	-
	60～64歳	64,622	18.2	36.4	-	54.5	9.1	36.4	-	-
	65～69歳	120,512	-	41.7	-	25.0	-	25.0	16.7	-

注: サンプル数は、図表2-81で再就職先に「余り満足していない」と「不満である」と回答した者である。

5 高齢期における会社の対応

(1) 定年年齢到達後の仕事内容の変化

55歳当時雇用者で、定年後又は60歳以降も仕事をした人に、定年年齢又は60歳に到達した際に仕事内容が変化したかを尋ねたところ、「変わっていない」が57.2%を占め、これに「同じ分野の業務ではあるが、責任の重さが変わった」(20.7%)、「全く別の業務分野の仕事に変わった」(13.4%)がつづく。「仕事の内容が変わっていない」と回答した人について年齢階層別にみると、60代前半層では60.5%、60代後半層では53.8%であり前半層の方がその割合は高い。男女別にみると、男性50.4%、女性67.1%と女性の方が割合が高い。この一方、「同じ分野の業務ではあるが、責任の重さが変わった」人の割合は男性25.9%、女性12.9%で男性の方が割合が高い。(図表2-83)

図表 2-83 定年年齢又は60歳に到達した際に仕事内容が変化したか(単位:%)

		総数(人)	計	全く別の業務分野の仕事に変わった	同じ分野の業務ではあるが、責任の重さが変わった	業務内容の一部が変わった	変わっていない	その他	無回答
全体		8,860,276	100.0	13.4	20.7	4.1	57.2	0.6	4.0
年齢階層	60～64歳	4,428,975	100.0	11.2	20.1	4.2	60.5	0.3	3.7
	65～69歳	4,431,302	100.0	15.6	21.3	4.1	53.8	0.8	4.4
男性計		5,289,768	100.0	14.0	25.9	4.7	50.4	0.8	4.1
	60～64歳	2,525,553	100.0	13.0	26.1	4.3	52.6	0.3	3.7
	65～69歳	2,764,215	100.0	14.9	25.7	5.1	48.5	1.3	4.5
女性計		3,570,508	100.0	12.6	12.9	3.3	67.1	0.2	3.9
	60～64歳	1,903,421	100.0	9.0	12.0	4.0	71.0	0.3	3.7
	65～69歳	1,667,087	100.0	16.9	13.9	2.4	62.7	-	4.2

注: サンプル数は、図表2-55で55歳当時雇用されていた会社に「現在も勤務している」と回答した者、図表2-60で定年・早期退職直後に「仕事していた」と回答した者、図表2-76で定年・早期退職後「再び働くようになった」と回答した者である。

上記質問項目のうち、「全く別の業務分野の仕事に変わった」と回答した人に対してその理由を尋ねたところ、「前の会社を辞めて転職したから」が71.6%を占め、ついで「その他」(8.7%)、「会社内で別の部署に異動になったから」(8.3%)であった。男女別にみると、男性は「前の会社を辞めて転職したから」が67.2%、「会社内で別の部署に異動になったから」11.8%に対し、女性は「前の会社を辞めて転職したから」が78.9%と約8割を占める。(図表2-84)

図表 2-84 全く別の業務分野に仕事が変わった理由(単位: %)

		総数 (人)	計	会社内で別の部署に異動になったから	部署は同じだが、会社の都合で仕事が変わったから	定年前に関連会社に出向になった(または、他社に職場をあっせんしてもらった)から	前の会社を辞めて転職したから	その他	無回答
全体		1,191,091	100.0	8.3	2.0	6.5	71.6	8.7	2.8
年齢階層	60～64歳	498,204	100.0	10.5	3.6	6.5	70.2	5.6	3.6
	65～69歳	692,887	100.0	6.8	0.8	6.5	72.6	10.9	2.3
男性計		739,528	100.0	11.8	2.4	9.1	67.2	7.0	2.4
	60～64歳	327,836	100.0	12.3	3.7	9.9	65.4	4.9	3.7
	65～69歳	411,692	100.0	11.4	1.4	8.6	68.6	8.6	1.4
女性計		451,563	100.0	2.6	1.3	2.2	78.9	11.5	3.5
	60～64歳	170,368	100.0	6.9	3.4	-	79.3	6.9	3.4
	65～69歳	281,195	100.0	-	-	3.6	78.6	14.3	3.6

注: サンプル数は図表2-83で「全く別の業務分野の仕事に変わった」と回答した者である。

(2) 定年到達直後等の賃金変化

55歳当時雇用者で定年年齢または60歳以降も仕事をした人(勤務形態の限定はない(フルタイム勤務の人とは限らない))に、定年あるいは早期退職直後(60歳時点とは限らない)の賃金について尋ねたところ、「賃金額は減少した」が71.5%と7割を占め、これに「賃金額は余り変化していない」21.0%がつづく。男女別にみると、男性は「賃金額が減少した」が78.1%と8割を占めるのに対し、女性では57.8%で、余り変化していない人も32.5%いる。(図表2-85)

図表 2-85 定年あるいは早期退職直後の賃金額の変化(単位: %)

		総数 (人)	計	賃金額は減少した	賃金額は余り変化していない	賃金額は増加した	無回答
全体		5,650,672	100.0	71.5	21.0	2.6	4.9
年齢階層	60～64歳	2,379,658	100.0	68.9	22.9	3.4	4.8
	65～69歳	3,271,014	100.0	73.5	19.7	1.9	4.9
男性計		3,833,225	100.0	78.1	15.6	1.4	4.9
	60～64歳	1,586,565	100.0	77.0	18.1	1.8	3.1
	65～69歳	2,246,660	100.0	78.8	13.9	1.0	6.3
女性計		1,817,447	100.0	57.8	32.5	5.1	4.7
	60～64歳	793,092	100.0	52.6	32.6	6.7	8.1
	65～69歳	1,024,355	100.0	61.8	32.4	3.9	2.0

注: サンプル数は、図表2-60で定年・早期退職直後に「仕事をしていた」と回答した者と、図表2-76で定年・早期退職後「再び働くようになった」と回答した者である。

賃金がかかることに関する会社からの説明について複数回答で尋ねたところ、「特に説明はなかった」が42.5%と最も多く、「会社は雇用確保のために再雇用するのだから賃金低下

は理解してほしい」が25.7%と続いている。(図表2-86)

図表 2-86 賃金が下がることについての会社からの説明(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	在職老齢年金 や高齢雇用 継続給付が出 るので、実質的 な収入は変わ らない	仕事の責任 の重さがかな り変わるので、 前と同じ賃金 は支払えない	役職からは ずれたのだから、 前と同じ賃金 は支払えない	会社は雇用 確保のために 再雇用するの だから、賃金 低下は理解し てほしい	雇用形態や 就業時間・日 数が変化した ため	特に説明はな かった	その他	無回答
全体		4,042,374	9.1	9.7	6.6	25.7	4.0	42.5	7.5	4.7
年齢階層	60～64歳	1,639,411	7.2	9.7	7.5	26.6	4.8	41.4	7.8	5.0
	65～69歳	2,402,963	10.3	9.7	6.0	25.1	3.5	43.3	7.2	4.6
男性計		2,992,577	9.3	10.8	8.4	29.1	2.9	41.5	6.8	2.7
	60～64歳	1,222,303	7.3	10.6	9.6	29.5	2.6	42.1	6.6	4.3
	65～69歳	1,770,274	10.6	11.0	7.6	28.9	3.0	41.2	7.0	1.7
女性計		1,049,797	8.5	6.6	1.5	15.9	7.3	45.3	9.3	10.5
	60～64歳	417,108	7.0	7.0	1.4	18.3	11.3	39.4	11.3	7.0
	65～69歳	632,690	9.5	6.3	1.6	14.3	4.8	49.2	7.9	12.7

注: サンプル数は図表2-85で「賃金額は減少した」と回答した者である。

注: 選択肢は調査票配布時には6つだったが、調査票回収後、「その他」の回答として「雇用形態や就業時間・日数が変化したため」が多く挙げられていたため、この選択肢を追加集計した。

さらに、賃金が下がったことについて、回答者本人はどう感じたかを複数回答で尋ねたところ、「雇用が確保されるのだから、賃金の低下はやむを得ない」(31.9%)、「仕事がほとんど変わっていないのに、賃金が下がるのはおかしい」(27.2%)、「会社への貢献度が下がったわけではないのに賃金が下がるのはおかしい」(18.6%)、「仕事によって会社への貢献度は異なるので賃金が変わるのは仕方がない」(17.6%)など、賃金低下を容認する声と容認しない声が混在している。(図表2-87)

図表 2-87 賃金が下がったことについて、どう感じたか(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	仕事がほとんど 変わっていない のに、賃金が 下がるのは おかしい	会社への貢 献度が下が たわけでは ないのに、賃 金が下がる のはおかしい	仕事の責任 の重さがわ ずかに変わ った程度な のに、下が りすぎだ	在職老齢年 金や高齢雇 用継続給付 が出るから といって、賃 金を下げる のはおかしい	仕事によっ て会社への 貢献度は異 なるので、賃 金額が変わ るのは仕方 がない	仕事は全く 別の内容に変 わったのた め、賃金の 低下は仕方 がない	雇用が確保 されるのた め、賃金の 低下はやむ を得ない	現在の就業 形態に照ら して考えら ば、賃金の 低下は仕方 がない	その他	無回答
全体		4,042,374	27.2	18.6	16.3	11.0	17.6	16.6	31.9	2.6	6.7	2.2
年齢階層	60～64歳	1,639,411	27.3	18.7	20.1	8.6	18.1	17.3	28.9	3.5	5.8	1.6
	65～69歳	2,402,963	27.1	18.5	13.6	12.7	17.2	16.1	33.9	2.0	7.4	2.5
男性計		2,992,577	28.3	19.9	18.7	13.2	18.0	14.6	33.1	1.1	6.5	2.1
	60～64歳	1,222,303	30.8	22.2	23.2	10.6	17.5	15.6	30.1	1.3	6.3	1.7
	65～69歳	1,770,274	26.6	18.3	15.6	15.0	18.3	14.0	35.2	1.0	6.6	2.3
女性計		1,049,797	23.9	14.8	9.3	4.9	16.4	22.3	28.2	6.8	7.4	2.5
	60～64歳	417,108	16.9	8.5	11.3	2.8	19.7	22.5	25.4	9.9	4.2	1.4
	65～69歳	632,690	28.6	19.0	7.9	6.3	14.3	22.2	30.2	4.8	9.5	3.2

注: サンプル数は図表2-85で「賃金額は減少した」と回答した者である。

注: 選択肢は調査票配布時には8つだったが、調査票回収後、「その他」の回答として「現在の就業形態に照らして考えれば、賃金の低下も仕方がない」が多く挙げられていたため、この選択肢を追加集計した。

(3) 高齢期の就業に向けた会社との相談機会

(相談の機会の有無)

55歳当時雇用者で定年年齢又は60歳以降も仕事をした人に、定年前に働いていた会社で社員の高齢期のキャリアに関する相談機会があったかを尋ねたところ、「あった」が42.5%、「なかった」が51.6%、「なかったので、自分から相談に行った」が1.3%であった。相談機会が「あった」人は、年齢階層別にみると60代前半層で47.5%、60代後半層で39.0%、60代前半層の方が相談機会があった人の割合が高い。男女別では男性46.8%、女性33.5%であり、男性の方が相談機会があった人の割合が高い。(図表2-88)

図表2-88 定年前に働いていた会社に、社員の高齢期のキャリアに関する相談機会があったか(単位:%)

		総数(人)	計	あった	なかった	なかったので、 自分から相談に行った	無回答
全体		5,650,672	100.0	42.5	51.6	1.3	4.5
年齢階層	60～64歳	2,379,658	100.0	47.5	46.6	1.8	4.1
	65～69歳	3,271,014	100.0	39.0	55.2	1.0	4.8
男性計		3,833,225	100.0	46.8	48.4	0.5	4.2
	60～64歳	1,586,565	100.0	53.1	43.6	0.5	2.8
	65～69歳	2,246,660	100.0	42.4	51.8	0.5	5.2
女性計		1,817,447	100.0	33.5	58.3	3.0	5.1
	60～64歳	793,092	100.0	36.3	52.6	4.4	6.7
	65～69歳	1,024,355	100.0	31.4	62.7	2.0	3.9

注: サンプル数は、図表2-60で定年・早期退職直後に「仕事をしていた」と回答した者と、図表2-76で定年・早期退職後「再び働くようになった」と回答した者である。

相談機会が「あった」人と、「なかったので、自分から相談に行った」人に対して、その相談時期をみると、「退職前の一定時期」が89.5%と約9割を占める。(図表2-89)

図表2-89 会社に相談した時期(単位:%)

		総数(人)	計	退職前の 一定時期	毎年	無回答
全体		2,479,044	100.0	89.5	9.9	0.6
年齢階層	60～64歳	1,173,057	100.0	89.1	10.4	0.5
	65～69歳	1,305,986	100.0	89.9	9.4	0.8
男性計		1,814,480	100.0	91.0	9.0	-
	60～64歳	849,946	100.0	90.5	9.5	-
	65～69歳	964,535	100.0	91.5	8.5	-
女性計		664,563	100.0	85.4	12.2	2.4
	60～64歳	323,112	100.0	85.5	12.7	1.8
	65～69歳	341,452	100.0	85.3	11.8	2.9

注: サンプル数は図表2-88で、相談機会が「あった」、「なかったので自分から相談に行った」と回答した者である。

相談した具体的な時期について複数回答で尋ねたところ、退職の「1年前」(34.2%)、「1～3ヶ月前」(30.3%)、「半年前」(29.9%)の順に多い。(図表2-90)

図表 2-90 相談した具体的な時期(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	定年到達の 5年以上前	2～4年前	1年前	半年前	1～3ヶ月 くらい前	定年退職日の 直前	無回答
全体		2,218,547	4.9	12.3	34.2	29.9	30.3	5.7	0.5
年齢階層	60～64歳	1,045,112	4.3	12.7	29.6	30.3	32.8	5.3	0.6
	65～69歳	1,173,434	5.5	11.9	38.3	29.6	28.2	5.9	0.5
男性計		1,651,195	6.6	15.2	36.9	27.7	30.4	3.7	0.4
	60～64歳	768,999	5.8	15.8	32.6	27.4	30.0	4.2	-
	65～69歳	882,196	7.3	14.7	40.7	28.0	30.7	3.3	0.7
女性計		567,352	-	3.8	26.3	36.3	30.3	11.2	1.0
	60～64歳	276,114	-	4.3	21.3	38.3	40.4	8.5	2.1
	65～69歳	291,238	-	3.4	31.0	34.5	20.7	13.8	-

注: サンプル数は、図表2-89で「退職前の一定時期」と回答した者である。

(相談への満足度)

高齢期、定年に向けての会社との相談の機会が「あった」「なかったので自分から相談に行った」と回答した人に、その相談結果の満足度について尋ねたところ、「一定程度、満足している」(70.7%)、「非常に満足している」(14.0%)、「不満である」(14.0%)となっており、84.7%が満足しているといえる。(図表2-91)

「非常に満足している」「一定程度、満足している」と回答した人に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「定年後の仕事内容や条件について、一定程度、希望が受け入れられたから」が69.0%と最も多く、これに「希望は受け入れられなかったが、自分の話を聞いてもらったのはよかったから」(11.6%)、「希望は受け入れられなかったが、相談することで会社側がどのように考えているのかがわかり、働きやすくなったから」(10.9%)がつづく。(図表2-92)

図表 2-91 会社との相談に満足しているか(単位:%)

		総数(人)	計	非常に満足 している	一定程度、 満足している	不満である	無回答
全体		2,479,044	100.0	14.0	70.7	14.0	1.3
年齢階層	60～64歳	1,173,057	100.0	13.0	73.0	13.2	0.8
	65～69歳	1,305,986	100.0	14.8	68.7	14.8	1.7
男性計		1,814,480	100.0	12.6	71.8	14.7	0.9
	60～64歳	849,946	100.0	12.4	73.8	13.3	0.5
	65～69歳	964,535	100.0	12.8	70.1	15.9	1.2
女性計		664,563	100.0	17.7	67.7	12.2	2.4
	60～64歳	323,112	100.0	14.5	70.9	12.7	1.8
	65～69歳	341,452	100.0	20.6	64.7	11.8	2.9

注: サンプル数は図表2-88で、相談機会が「あった」「なかったので自分から相談に行った」と回答した者である。

図表 2-92 会社との相談に満足している理由(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	定年後の仕事内容や労働条件について、一定程度、希望が受け入れられたから	希望は受け入れられなかったが、相談することで会社側がどのように考えているのかわかり、働きやすくなったから	希望は受け入れられなかったが、自分の話を聞いてもらえたのはよかったから	希望は受け入れられなかったが、今後、相談しやすくなったから	その他	無回答
全体		2,099,782	69.0	10.9	11.6	2.3	7.5	3.1
年齢階層	60～64歳	1,008,686	63.0	12.7	14.7	3.0	8.5	3.0
	65～69歳	1,091,096	74.6	9.2	8.7	1.6	6.5	3.2
男性計		1,532,430	66.4	11.8	11.6	1.9	8.3	3.9
	60～64歳	732,572	63.5	11.0	15.5	1.7	7.7	3.3
	65～69歳	799,858	69.1	12.5	8.1	2.2	8.8	4.4
女性計		567,352	76.1	8.3	11.5	3.1	5.2	1.0
	60～64歳	276,114	61.7	17.0	12.8	6.4	10.6	2.1
	65～69歳	291,238	89.7	-	10.3	-	-	-

注: サンプル数は、図表2-91で相談結果に「非常に満足している」、「一定程度満足している」と回答した者である。

(相談結果に不満の理由)

相談結果に「不満である」と回答した人にも、その理由を複数回答で尋ねたところ、「相談といっても形式的で、内容がおざなりだから」(41.2%)、「会社が私の貢献をほとんど認めていないことがわかったから」(31.5%)、「希望がほとんど受け入れられなかったから」(26.8%)となっている。(図表2-93)

図表 2-93 会社との相談に不満である理由(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	希望がほとんど受け入れられなかったから	定年後のように職場に貢献していればいいのか、会社の考えがほとんどわからなかったから	会社が私の貢献をほとんど認めていない(理解していない)ことがわかったから	相談がきっかけとなって、会社にいつづらくなったから	相談と言っても形式的で、内容がおざなりだったから	相談時期が遅すぎたから	その他	無回答
全体		347,534	26.8	13.8	31.5	1.7	41.2	18.2	8.1	1.7
年齢階層	60～64歳	154,449	30.9	16.9	41.4	3.8	40.5	11.7	7.9	-
	65～69歳	193,085	23.5	11.3	23.5	-	41.8	23.5	8.2	3.0
男性計		266,240	22.4	12.0	28.5	-	47.8	17.8	6.8	2.2
	60～64歳	113,326	21.4	17.9	35.7	-	50.0	10.7	10.7	-
	65～69歳	152,914	23.1	7.7	23.1	-	46.2	23.1	3.8	3.8
女性計		81,294	41.3	19.6	41.3	7.2	19.6	19.6	12.4	-
	60～64歳	41,123	57.1	14.3	57.1	14.3	14.3	14.3	-	-
	65～69歳	40,171	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	25.0	-

注: サンプル数は、図表2-91で相談結果に「不満である」と回答したものである。

上記質問項目のうち、「相談といっても形式的で、内容がおざなりだから」と回答した人に、相談で期待していたことを複数回答で尋ねたところ、「定年後、どう貢献して欲しいのか、会社の意見を聞かせて欲しかった」(48.6%)、「家庭の事情等、もっと個別事情を考慮してくれるものと期待していた」(31.8%)、「まだ会社の役に立てると思うので、信頼して重要な仕事を任せて欲しかった」(22.4%)の順に多い。(図表2-94)

図表 2-94 本当はどのような相談を期待していたか(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	まだ会社の役に立てると 思うので、信頼して重要 な仕事を任せて欲しかった	定年後、どう貢献して欲 しいのか、会社の意見を 聞かせて欲しかった	仕事をする上で足りない 点や身につけるべき専門 知識について、アドバイ スをして欲しかった	家庭の事情等、もっと個 別事情を考慮してくれる ものと期待していた	その他	無回答
全体		143,156	22.4	48.6	7.0	31.8	26.5	-
年齢階層	60～64歳	62,538	32.4	38.8	-	35.3	32.4	-
	65～69歳	80,618	14.6	56.2	12.5	29.2	21.9	-
男性計		127,239	25.1	46.8	-	31.2	29.8	-
	60～64歳	56,663	35.7	42.9	-	28.6	35.7	-
	65～69歳	70,576	16.7	50.0	-	33.3	25.0	-
女性計		15,917	-	63.1	63.1	36.9	-	-
	60～64歳	5,875	-	-	-	100.0	-	-
	65～69歳	10,043	-	100.0	100.0	-	-	-

注: サンプル数は図表2-93で「相談といっても形式的で、内容がおざなりだったから」と回答した者である。

(現行制度に対する考え)

現在わが国では定年を定める場合は60歳以上にするとともに、希望者全員を65歳まで継続雇用する仕組みとなっているが、この仕組みが今後どのようなようになるのが望ましいかを複数回答で尋ねた。「希望すれば何歳まででも働ける仕組みが望ましい」が41.7%と最も多く、ついで「60歳より上の定年年齢が望ましい」(33.4%)、「定年後の継続雇用の上限年齢の引き上げが望ましい」(16.9%)であり、現行制度より長期に働けるような仕組みづくりが求められているといえる。(図表2-95)

「60歳より上の定年年齢が望ましい」と回答した人に対して、具体的な年齢を尋ねたところ、「65歳」が68.1%で最も多く、これに「70歳」(23.2%)がつづく。平均は66.3歳、標準偏差は2.4である。(図表2-96)

「定年後の継続雇用の上限年齢の引き上げが望ましい」と回答した人に対しても、具体的な年齢を尋ねたところ、「70歳」が69.3%と最も多く、これに「75歳」(14.7%)がつづく。平均は70.8歳、標準偏差は2.1である。(図表2-97)

図表 2-95 将来的に望ましい定年年齢の制度(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	今のままでよい	60歳より上の定年年齢 が望ましい	定年が廃止 されるのが望 ましい	定年後の継続 雇用の上限年 齢の引き上げが 望ましい	希望すれば何 歳まででも働 ける仕組みが望 ましい	その他	特に要望は ない	無回答
全体		8,860,276	14.5	33.4	10.9	16.9	41.7	3.1	5.3	4.4
年齢階層	60～64歳	4,428,975	17.0	32.3	10.0	15.1	40.7	3.4	5.0	4.5
	65～69歳	4,431,302	12.0	34.4	11.8	18.8	42.8	2.7	5.6	4.2
男性計		5,289,768	16.9	35.6	9.9	17.5	36.4	3.4	5.4	4.2
	60～64歳	2,525,553	20.7	34.1	9.1	14.1	33.5	4.3	5.4	4.2
	65～69歳	2,764,215	13.4	37.0	10.6	20.6	39.1	2.6	5.3	4.3
女性計		3,570,508	10.9	30.0	12.4	16.0	49.6	2.6	5.1	4.6
	60～64歳	1,903,421	12.0	29.9	11.1	16.4	50.3	2.2	4.3	4.9
	65～69歳	1,667,087	9.6	30.1	13.9	15.7	48.8	3.0	6.0	4.2

注: サンプル数は、図表2-55で55歳当時雇用されていた会社に「現在も勤務している」と回答した者、図表2-60で定年・早期退職直後に「仕事をしていた」と回答した者、図表2-76で定年・早期退職後「再び働くようになった」と回答した者である。

図表 2-96 具体的に望ましい定年年齢(単位:%)

		総数(人)	計	61~64歳	65歳	66~69歳	70歳	71歳以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		2,957,422	100.0	2.7	68.1	1.6	23.2	1.1	3.4	66.3	2.4
年齢階層	60~64歳	1,431,939	100.0	4.3	73.6	0.8	17.9	1.0	2.3	66.0	2.3
	65~69歳	1,525,482	100.0	1.2	62.9	2.4	28.1	1.2	4.3	66.6	2.5
男性計		1,885,436	100.0	3.3	71.5	1.0	22.4	1.4	0.5	66.2	2.4
	60~64歳	862,088	100.0	5.2	76.5	1.4	15.5	0.9	0.5	65.8	2.2
	65~69歳	1,023,348	100.0	1.7	67.2	0.6	28.2	1.7	0.6	66.5	2.5
女性計		1,071,986	100.0	1.6	62.0	2.8	24.6	0.5	8.4	66.4	2.4
	60~64歳	569,851	100.0	3.1	69.1	-	21.6	1.0	5.2	66.2	2.4
	65~69歳	502,135	100.0	-	54.0	6.0	28.0	-	12.0	66.8	2.3

注: サンプル数は図表2-95で「60歳より上の定年年齢が望ましい」と回答した者である。

図表 2-97 継続雇用制度の望ましい年齢(単位:%)

		総数(人)	計	66~69歳	70歳	71~74歳	75歳	76歳以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		1,499,127	100.0	4.4	69.3	2.0	14.7	0.7	9.0	70.8	2.1
年齢階層	60~64歳	667,530	100.0	6.6	69.6	0.6	9.9	0.6	12.8	70.5	1.9
	65~69歳	831,597	100.0	2.6	69.0	3.1	18.6	0.7	6.0	71.1	2.2
男性計		926,655	100.0	3.5	73.7	1.1	14.1	1.1	6.7	70.8	2.1
	60~64歳	356,168	100.0	5.7	72.7	1.1	10.2	1.1	9.1	70.6	2.0
	65~69歳	570,487	100.0	2.1	74.2	1.0	16.5	1.0	5.2	70.9	2.2
女性計		572,472	100.0	5.9	62.2	3.5	15.7	-	12.7	70.9	2.1
	60~64歳	311,362	100.0	7.5	66.0	-	9.4	-	17.0	70.4	1.8
	65~69歳	261,110	100.0	3.8	57.7	7.7	23.1	-	7.7	71.4	2.3

注: サンプル数は図表2-95で「定年後の継続雇用の上限年齢の引き上げが望ましい」と回答した者である。

6 高齢期に向けて行った諸準備

全ての調査対象者に、高齢期のキャリアを意識して行った職業能力開発や転職準備等について複数回答で尋ねたところ、「特に取り組んだことはない」が 65.4%と最も多く、これに「資格を取得するために自分で勉強したことがある」(12.8%)、「資格取得について調べたことがある」(7.6%)、「資格取得を目的とはしないが、自分で勉強したことがある」(7.6%)が つづく。(図表 2-98)

図表 2-98 50 歳前後になってから、転職や職業能力向上のために取り組んだこと(複数回答)(単位: %)

	総数 (人)	自営業を始めるための準備をした	資格取得について調べたことがある	資格を取得するために自分で勉強したことがある(自学自習、講座の受講など)	資格取得を目的とはしないが、自分で勉強したことがある(自学自習、講座の受講など)	職業能力の向上に取り組んだことはないが、転職の準備はしたことがある	過去の職務経歴を振り返って、自分の職務能力分析を行ったことがある	社内外の専門家に今後のキャリアについて相談した	高齢期の働き方に関する研修・セミナーに参加した	その他	特に取り組んだことはない	無回答	
全体	17,302,654	3.0	7.6	12.8	7.6	5.6	6.0	0.8	2.6	0.8	65.4	2.6	
年齢階層	60~64歳	7,634,076	2.5	9.1	13.7	7.6	5.5	6.7	1.1	2.6	0.8	64.4	2.1
	65~69歳	9,668,578	3.4	6.4	12.0	7.6	5.8	5.4	0.7	2.5	0.7	66.1	3.0
男性計	8,467,638	4.6	8.7	13.0	8.1	6.4	8.3	1.4	3.8	1.1	62.6	2.1	
	60~64歳	3,780,235	4.1	8.9	13.0	8.0	5.6	8.5	1.7	4.4	1.3	62.4	1.8
	65~69歳	4,687,403	5.0	8.5	13.0	8.2	7.2	8.2	1.1	3.3	0.9	62.7	2.3
女性計	8,835,016	1.4	6.6	12.6	7.1	4.8	3.8	0.3	1.4	0.5	68.0	3.1	
	60~64歳	3,853,841	0.9	9.3	14.5	7.2	5.3	5.0	0.5	0.9	0.3	66.3	2.4
	65~69歳	4,981,175	1.8	4.4	11.1	7.1	4.4	2.8	0.2	1.8	0.6	69.4	3.6

上記質問項目で「職業能力の向上に取り組んだことはないが転職の準備をしたことがある」と回答した人に、どのような準備をしたかを複数回答で尋ねたところ、「ハローワークや専門の転職あっせん機関に相談したことがある」が 52.3%と最も多く、これに「仕事があったら教えてくれるよう、知り合いに頼んだ」(37.9%)、「実際に求人に応募し、または企業で面接を受けたことがある」(36.5%)、「履歴書や自己 PR 文書を作成したことがある」(26.5%)が つづく。(図表 2-99)

図表 2-99 転職や職業能力向上のために行ったこと(複数回答)(単位: %)

	総数 (人)	仕事があったら教えてくれるよう、知り合いに頼んだ	ハローワークや専門の転職あっせん機関に相談したことがある	履歴書や自己PR文書を作成したことがある	実際に求人に応募し、または企業で面接を受けたことがある	その他	無回答	
全体	972,253	37.9	52.3	26.5	36.5	6.3	2.1	
年齢階層	60~64歳	416,079	47.8	51.2	31.1	32.1	4.2	1.0
	65~69歳	556,174	30.5	53.1	23.1	39.8	7.8	2.9
男性計	545,697	40.8	50.9	28.0	38.5	4.3	1.8	
	60~64歳	210,463	44.2	53.8	30.8	32.7	-	1.9
	65~69歳	335,235	38.6	49.1	26.3	42.1	7.0	1.8
女性計	426,556	34.2	54.0	24.6	34.0	8.8	2.4	
	60~64歳	205,617	51.4	48.6	31.4	31.4	8.6	-
	65~69歳	220,939	18.2	59.1	18.2	36.4	9.1	4.5

注: サンプル数は、図表2-98で「職業能力の向上に取り組んだことはないが、転職の準備はしたことがある」と回答した者である。

上記質問項目で「特に取り組んだことがない」と回答した人に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「そもそも職業に就くつもりがなかったため」が34.7%と最も多く、これに「定年制がない。もしくは、定年後は今の会社に継続雇用か他社へ就職斡旋してもらうつりのため」(22.8%)がつづく。男女別にみると、男性は「定年制がない。」(32.0%)、女性は「そもそも職業に就くつもりがなかったため」(47.7%)が最も多い。(図表2-100)

図表2-100 職業能力向上のため特に取り組んだことがない理由(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	定年制がない。 もしくは、定年後 は今の会社に継 続雇用か他社 へ就職斡旋して もらうつりのため	定年後の働 き先は知り合 いに頼んであ るため	高齢期の就職 (転職)に特 別な準備はいら ないと思うから	特別な準備は 必要だと思っ ていた、日々の 業務が忙しくて できなかった	特別な準備 は必要だと思 っていたが、 何をどうやれ ばよいか、わ からなかった	そもそも職業 に就くつもりが なかったため	自身や家族 の健康上の 理由で、取組 むことが出来 なかった	自営業のため定 年がなく、自分 の働きたい年齢 まで働き続ける ことが出来るから	その他	無回答
全体		11,310,471	22.8	1.8	10.9	10.6	12.3	34.7	4.0	4.0	5.5	3.0
年齢階層	60～64歳	4,915,131	27.2	1.8	10.8	11.9	14.1	27.6	3.5	3.5	6.1	3.4
	65～69歳	6,395,340	19.5	1.7	11.0	9.6	10.9	40.2	4.3	4.5	5.0	2.6
男性計		5,300,266	32.0	2.6	14.3	13.6	14.4	20.0	2.3	5.0	4.2	3.2
	60～64歳	2,359,611	34.6	2.1	14.1	13.6	15.6	16.8	1.9	4.3	5.1	3.9
	65～69歳	2,940,654	29.8	3.0	14.4	13.6	13.4	22.6	2.6	5.6	3.4	2.6
女性計		6,010,205	14.8	1.0	8.0	7.9	10.4	47.7	5.5	3.2	6.6	2.8
	60～64歳	2,555,520	20.2	1.6	7.8	10.3	12.6	37.5	5.1	2.8	6.9	3.0
	65～69歳	3,454,686	10.8	0.6	8.1	6.1	8.7	55.2	5.8	3.5	6.4	2.6

注: サンプル数は、図表2-98で「特に取り組んだことはない」と回答した者である。

注: 選択肢は調査票配布時には7つだったが、調査票回収後、「その他」の回答として「自身や家族の健康上の理由で、取組むことが出来なかった」、「自営業のため定年がなく、自分の働きたい年齢まで働き続けることが出来るから」が多く挙げられていたため、これらの選択肢を追加集計した。さらに、「定年制がない」という回答も多かったため、選択肢1に結合し、集計した。

7 自営業の経験

全ての調査対象者に自営業の経験について尋ねたところ、「自営業をしたことはない」が76.0%と最も多く、「現在、自営業をしている」は13.4%、「自営業をしたことはあるが、現在は廃業している」は7.7%、「自営業をしたことはあるが、現在は後継者に継承している」は0.6%となっている。(図表2-101)

図表 2-101 自営業の経験(単位:%)

		総数(人)	計	現在、自営業をしている	自営業をしたことはあるが、現在は廃業している	自営業をしたことはあるが、現在は後継者に継承している	自営業をしたことはない	無回答
全体		17,302,654	100.0	13.4	7.7	0.6	76.0	2.2
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	13.4	7.2	0.5	77.2	1.7
	65～69歳	9,668,578	100.0	13.4	8.1	0.7	75.1	2.6
男性計		8,467,638	100.0	17.9	9.3	0.5	70.8	1.5
	60～64歳	3,780,235	100.0	18.5	8.1	0.3	71.8	1.2
	65～69歳	4,687,403	100.0	17.4	10.2	0.6	70.0	1.8
女性計		8,835,016	100.0	9.1	6.3	0.7	81.0	2.9
	60～64歳	3,853,841	100.0	8.4	6.3	0.6	82.5	2.3
	65～69歳	4,981,175	100.0	9.7	6.3	0.8	79.8	3.4

「現在、自営業をしている」人に、自営業者として働き始めた時期について尋ねたところ、「55歳以前から」が85.3%、「55歳以降に始めた」が13.5%であった。(図表2-102)

図表 2-102 自営業者として働き始めた時期(単位:%)

		総数(人)	計	55歳以前から	55歳以降に始めた	無回答
全体		2,322,856	100.0	85.3	13.5	1.2
年齢階層	60～64歳	1,023,305	100.0	84.9	14.1	1.0
	65～69歳	1,299,551	100.0	85.6	13.0	1.4
男性計		1,517,695	100.0	82.8	15.7	1.4
	60～64歳	700,193	100.0	83.8	15.6	0.6
	65～69歳	817,502	100.0	82.0	15.8	2.2
女性計		805,161	100.0	89.9	9.4	0.7
	60～64歳	323,112	100.0	87.3	10.9	1.8
	65～69歳	482,049	100.0	91.7	8.3	-

注: サンプル数は図表2-101で「現在、自営業をしている」と回答した者である。

「55歳以前から」自営業者であった人に、自営業者として働き始めた年齢を尋ねたところ、「21～30歳以下」が36.0%、「31～40歳以下」が28.2%、「41～50歳以下」が19.1%であり、平均33.4歳、標準偏差10.2である。(図表2-103)

図表 2-103 55歳以前から自営業者として働いていた人の、自営業を始めた年齢(単位:%)

		総数(人)	計	20歳以下	21歳以上 30歳以下	31歳以上 40歳以下	41歳以上 50歳以下	51歳以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		1,981,203	100.0	11.3	36.0	28.2	19.1	4.5	0.8	33.4	10.2
年齢階層	60~64歳	868,856	100.0	9.5	37.4	28.3	20.4	4.4	-	33.9	9.9
	65~69歳	1,112,348	100.0	12.8	34.9	28.2	18.1	4.6	1.4	32.9	10.5
男性計		1,257,337	100.0	14.0	32.4	24.7	22.5	5.8	0.5	33.9	10.9
	60~64歳	586,867	100.0	11.0	32.4	26.9	24.1	5.5	-	34.9	10.5
	65~69歳	670,469	100.0	16.7	32.5	22.8	21.1	6.1	0.9	33.1	11.1
女性計		723,867	100.0	6.6	42.3	34.4	13.2	2.2	1.4	32.3	8.9
	60~64歳	281,988	100.0	6.3	47.9	31.3	12.5	2.1	-	31.8	8.2
	65~69歳	441,878	100.0	6.8	38.6	36.4	13.6	2.3	2.3	32.7	9.3

注:図表2-102で「55歳以前から」自営業者として働いていたと回答した者である。

「55歳以降に始めた」人に対しても、自営業者として働き始めた年齢を尋ねたところ、「60歳」が27.4%、「55歳」が9.5%、「61歳」が8.9%であり、平均は59.9歳、標準偏差3.0である。(図表2-104)

さらにその理由を見ると、「以前から、定年前後になったら自営業をする計画だった」が25.4%であり、これに「その他」(22.2%)、「家業を継いだ」(19.0%)がつづく。(図表2-105)

図表 2-104 55歳以降に自営業者として働き始めた人の年齢(単位:%)

		総数(人)	計	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	無回答	平均値	標準偏差
全体		314,087	100.0	9.5	7.6	7.0	5.7	3.7	27.4	8.9	5.0	6.4	1.9	9.4	1.9	5.6	59.9	3.0
年齢階層	60~64歳	144,527	100.0	12.5	16.5	11.2	12.5	4.1	25.2	8.4	2.8	2.8	-	-	-	4.1	58.2	2.2
	65~69歳	169,560	100.0	6.9	-	3.5	-	3.5	29.2	9.4	6.9	9.4	3.5	17.3	3.5	6.9	61.3	2.9
男性計		238,668	100.0	10.0	5.1	9.2	5.1	2.5	27.6	7.6	6.6	4.2	2.5	12.3	2.5	4.9	60.1	3.2
	60~64歳	109,279	100.0	11.1	11.1	14.8	11.1	-	33.3	11.1	3.7	3.7	-	-	-	-	58.6	2.2
	65~69歳	129,389	100.0	9.1	-	4.5	-	4.5	22.7	4.5	9.1	4.5	4.5	22.7	4.5	9.1	61.5	3.3
女性計		75,419	100.0	7.8	15.6	-	7.8	7.8	26.6	13.3	-	13.3	-	-	-	7.8	59.2	2.5
	60~64歳	35,249	100.0	16.7	33.3	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-	16.7	56.8	1.5
	65~69歳	40,171	100.0	-	-	-	-	-	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	61.0	1.2

注:図表2-102で「55歳以降に始めた」と回答した者である。

図表 2-105 55歳以降に自営業を始めた理由(単位:%)

		総数(人)	計	以前から、定年前後になったら自営業をする計画だった	定年前に再就職先を探したが、見つからなかったため	以前から進めてきた趣味の活動が事業化につながったため	自治体や商工会議所(商工会)などが行う自営業・帰農などのキャンペーンで情報を得たことがきっかけ	知り合いに勧められた(相談を受けた)ことがきっかけ	家業を継いだ	その他	無回答
全体		314,087	100.0	25.4	5.6	3.7	-	9.5	19.0	22.2	14.6
年齢階層	60~64歳	144,527	100.0	32.1	-	-	-	9.7	29.0	20.9	8.4
	65~69歳	169,560	100.0	19.8	10.4	6.9	-	9.4	10.4	23.3	19.8
男性計		238,668	100.0	26.8	7.4	4.9	-	5.9	17.6	22.5	14.9
	60~64歳	109,279	100.0	37.0	-	-	-	7.4	22.2	22.2	11.1
	65~69歳	129,389	100.0	18.2	13.6	9.1	-	4.5	13.6	22.7	18.2
女性計		75,419	100.0	21.1	-	-	-	21.1	23.4	21.1	13.3
	60~64歳	35,249	100.0	16.7	-	-	-	16.7	50.0	16.7	-
	65~69歳	40,171	100.0	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	25.0

注:図表2-102で「55歳以降に始めた」と回答した者である。

図表2-101で「自営業をしたことはあるが、現在は廃業している」と回答した人に対して、廃業した時の年齢を尋ねたところ、「50～59歳」（29.5%）、「40～49歳」（23.7%）、「60歳以上」（22.4%）、「39歳以下」（19.8%）であった。平均48.8歳、標準偏差11.6である。（図表2-106）

廃業時の状況は、「不景気の影響で廃業した」（27.2%）、「自身や家族の健康上の理由で、事業を続けることができなくなったため」（17.1%）、「創業当初からうまく収入が入らなかった。事業が成り立たなかった」（15.6%）、「その他」（15.5%）の順に多い。（図表2-107）

図表 2-106 自営業を廃業した年齢(単位:%)

		総数(人)	計	39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		1,336,174	100.0	19.8	23.7	29.5	22.4	4.6	48.8	11.6
年齢階層	60～64歳	548,464	100.0	18.5	27.5	32.9	17.5	3.6	48.2	10.4
	65～69歳	787,709	100.0	20.7	21.1	27.2	25.8	5.3	49.2	12.4
男性計		783,985	100.0	16.7	20.7	32.8	27.2	2.5	50.2	11.4
	60～64歳	307,599	100.0	15.8	18.4	43.4	19.7	2.6	49.4	10.2
	65～69歳	476,386	100.0	17.3	22.2	25.9	32.1	2.5	50.7	12.0
女性計		552,188	100.0	24.1	27.9	24.9	15.5	7.6	46.7	11.7
	60～64歳	240,865	100.0	22.0	39.0	19.5	14.6	4.9	46.6	10.4
	65～69歳	311,323	100.0	25.8	19.4	29.0	16.1	9.7	46.8	12.7

注：サンプル数は、図表2-101で「自営業をしたことはあるが、現在は廃業している」と回答した者である。

図表 2-107 廃業した時の状況(単位:%)

		総数(人)	計	創業当初からうまく収入が入らなかった。事業が成り立たなかった	自己資金を使い切ってしまったので、廃業を決定した	金融機関からの融資が受けられなくなり、廃業を決定した	不景気の影響で廃業した	自分が高齢となり、後継者がいなかったため廃業を決定した	自身や家族の健康上の理由で、事業を続けることができなくなったため	その他	無回答
全体		1,336,174	100.0	15.6	7.0	5.5	27.2	7.2	17.1	15.5	4.9
年齢階層	60～64歳	548,464	100.0	18.9	7.6	5.8	25.2	4.8	20.6	14.1	2.9
	65～69歳	787,709	100.0	13.3	6.5	5.2	28.6	9.0	14.6	16.4	6.4
男性計		783,985	100.0	15.5	8.3	7.8	29.6	11.6	14.4	12.1	0.5
	60～64歳	307,599	100.0	18.4	7.9	6.6	31.6	6.6	15.8	11.8	1.3
	65～69歳	476,386	100.0	13.6	8.6	8.6	28.4	14.8	13.6	12.3	-
女性計		552,188	100.0	15.8	5.0	2.1	23.8	1.1	20.8	20.2	11.2
	60～64歳	240,865	100.0	19.5	7.3	4.9	17.1	2.4	26.8	17.1	4.9
	65～69歳	311,323	100.0	12.9	3.2	-	29.0	-	16.1	22.6	16.1

注：サンプル数は、図表2-101で「自営業をしたことはあるが、現在は廃業している」と回答した者である。

注：選択肢は調査票配布時には6つだったが、調査票回収後、「その他」の回答として「自身や家族の健康上の理由で、事業を続けることができなくなったため」が多く挙げられていたため、この選択肢を追加集計した。

8 現在の生活と将来について

(1) 普段の活動

調査対象者全員に普段の活動について複数回答で尋ねたところ、「趣味の活動を楽しんでいる」(45.9%)、「買い物に出かけたり、近所の人たちとお茶を飲んだり、親戚訪問などをしたりして、身近な外出を楽しんでいる」(36.8%)、「主に家でのんびりしている」(34.7%)の順で多かった。(図表2-108)

図表2-108 普段の活動(単位:%)

	総数(人)	趣味の活動を楽しんでいる	買い物に出かけたり、近所の人たちとお茶を飲んだり、親戚訪問などをしたりして、身近な外出を楽しんでいる	社会貢献活動(ボランティアや自治会活動、市民活動など)に携わっている	主に家でのんびりしている(外出することは少ない)	病院通いをしている	家族の看護・介護をしている	家事をしている	仕事をしている(自営・農作業含む)	孫の世話をしている	その他	無回答	
全体	17,302,654	45.9	36.8	12.9	34.7	19.8	12.9	1.5	2.0	2.0	3.6	2.1	
年齢階層	60～64歳	7,634,076	44.3	37.3	10.6	36.7	16.0	14.6	1.6	2.2	2.3	4.0	1.9
	65～69歳	9,668,578	47.1	36.5	14.8	33.2	22.9	11.6	1.4	1.8	1.7	3.3	2.2
男性計	8,467,638	52.8	25.8	13.7	39.5	15.6	8.2	0.8	2.7	0.7	3.7	2.4	
	60～64歳	3,780,235	53.3	26.7	10.9	40.3	13.0	10.1	0.6	2.9	0.5	4.0	1.7
	65～69歳	4,687,403	52.3	25.1	15.9	38.9	17.8	6.8	1.0	2.5	0.8	3.5	3.0
女性計	8,835,016	39.2	47.4	12.2	30.2	23.8	17.4	2.2	1.3	3.2	3.5	1.7	
	60～64歳	3,853,841	35.5	47.7	10.2	33.2	18.9	19.1	2.6	1.5	4.0	4.1	2.1
	65～69歳	4,981,175	42.1	47.2	13.7	27.8	27.6	16.1	1.8	1.2	2.6	3.0	1.4

注:選択肢は調査票配布時には5つだったが、調査票回収後、「その他」の回答として「家事をしている」、「仕事をしている(自営・農作業含む)」、「孫の世話をしている」が多く挙げられていたため、これらの選択肢を追加し集計した。

(2) 健康状態、家族の状況

(自身や配偶者の健康状態)

調査対象者全員について、回答者自身の健康状態をみると、「大変良い」が4.1%、「良い」が65.3%、「あまり良くない」が25.7%、「良くない」が3.8%となっており、健康状態が良好な人が69.4%と7割を占める。なお、年齢階層や性別でも同様の傾向を示している。

(図表2-109)

婚姻状況については、「既婚(配偶者あり)」80.4%、「離婚・死別」12.5%、「未婚」5.8%となっている。なお、年齢階層や性別による差はほとんどみられない。(図表2-110)

上記の「既婚(配偶者あり)」と回答した人に、配偶者の健康状態を尋ねたところ、「大変良い」が5.6%、「良い」が67.3%、「あまり良くない」が23.5%、「良くない」が3.3%となっており、配偶者の健康状態が良好な人が72.9%と7割を占める。(図表2-111)

図表 2-109 自身の健康状態(単位:%)

		総数(人)	計	大変良い	良い	あまり良くない	良くない	無回答
全体		17,302,654	100.0	4.1	65.3	25.7	3.8	1.1
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	4.4	67.3	23.6	3.6	1.2
	65～69歳	9,668,578	100.0	3.9	63.7	27.4	4.0	1.0
男性計		8,467,638	100.0	4.5	65.0	25.0	4.3	1.1
	60～64歳	3,780,235	100.0	4.8	65.4	24.4	4.1	1.3
	65～69歳	4,687,403	100.0	4.3	64.7	25.5	4.5	1.0
女性計		8,835,016	100.0	3.8	65.5	26.4	3.3	1.0
	60～64歳	3,853,841	100.0	4.0	69.2	22.7	3.0	1.1
	65～69歳	4,981,175	100.0	3.6	62.7	29.2	3.4	1.0

図表 2-110 婚姻状況(単位:%)

		総数(人)	計	既婚 (配偶者あり)	未婚	離婚・死別	無回答
全体		17,302,654	100.0	80.4	5.8	12.5	1.3
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	79.3	6.8	12.8	1.0
	65～69歳	9,668,578	100.0	81.2	5.1	12.3	1.4
男性計		8,467,638	100.0	82.7	7.8	8.5	1.1
	60～64歳	3,780,235	100.0	80.8	9.0	9.0	1.2
	65～69歳	4,687,403	100.0	84.2	6.8	8.0	1.0
女性計		8,835,016	100.0	78.1	4.0	16.5	1.4
	60～64歳	3,853,841	100.0	77.7	4.7	16.6	0.9
	65～69歳	4,981,175	100.0	78.4	3.4	16.3	1.8

図表 2-111 配偶者の健康状態(単位:%)

		総数(人)	計	大変良い	良い	あまり良くない	良くない	無回答
全体		13,904,849	100.0	5.6	67.3	23.5	3.3	0.3
年齢階層	60～64歳	6,051,884	100.0	5.2	70.6	21.4	2.5	0.3
	65～69歳	7,852,965	100.0	5.9	64.7	25.2	3.9	0.4
男性計		7,002,116	100.0	6.7	69.2	21.6	2.3	0.2
	60～64歳	3,055,757	100.0	7.0	71.3	19.6	1.7	0.4
	65～69歳	3,946,358	100.0	6.4	67.7	23.1	2.8	-
女性計		6,902,733	100.0	4.5	65.3	25.5	4.2	0.5
	60～64歳	2,996,126	100.0	3.3	70.0	23.1	3.3	0.2
	65～69歳	3,906,607	100.0	5.4	61.7	27.2	4.9	0.8

注: サンプル数は図表2-110で「既婚(配偶者あり)」と回答した者である。

(同居家族の状況)

調査対象者全員について、生計を共にする同居家族の有無をみると、「いる」が 88.1%、「いない」が 10.2%である。この傾向に、年齢階層や性別による差はほとんどみられない。

(図表 2-112)

同居の家族が「いる」人に、自身を含めないでその人数を尋ねたところ、「1人」が50.5%と最も多く、これに「2人」(27.7%)、「3人」11.5%がつづく。平均は1.9人、標準偏差は1.2である。なお、この傾向に、年齢階層や性別による差はほとんどみられない。(図表2-113)

同居している家族について複数回答で尋ねたところ、「配偶者」(88.0%)、「子供(未婚)」(35.3%)、「親(一方、または双方)」(16.3%)の順に多い。(図表2-114)

図表 2-112 生計を共にしている同居家族の有無(単位:%)

		総数(人)	計	いる	いない	無回答
全体		17,302,654	100.0	88.1	10.2	1.7
年齢階層	60~64歳	7,634,076	100.0	88.7	9.7	1.6
	65~69歳	9,668,578	100.0	87.6	10.6	1.8
男性計		8,467,638	100.0	87.7	10.5	1.9
	60~64歳	3,780,235	100.0	86.8	11.3	1.8
	65~69歳	4,687,403	100.0	88.3	9.8	1.9
女性計		8,835,016	100.0	88.5	9.9	1.6
	60~64歳	3,853,841	100.0	90.5	8.1	1.4
	65~69歳	4,981,175	100.0	86.9	11.3	1.8

図表 2-113 自分以外の同居家族の人数(単位:%)

		総数(人)	計	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		15,240,857	100.0	50.5	27.7	11.5	5.1	2.6	1.9	0.6	1.9	1.2
年齢階層	60~64歳	6,772,016	100.0	47.1	28.6	14.3	5.6	2.6	1.3	0.5	1.9	1.2
	65~69歳	8,468,841	100.0	53.3	27.1	9.3	4.8	2.5	2.4	0.6	1.8	1.2
男性計		7,422,851	100.0	48.9	29.6	12.0	4.6	2.2	2.2	0.5	1.9	1.2
	60~64歳	3,282,410	100.0	43.4	31.2	14.3	5.7	3.1	1.8	0.5	2.0	1.2
	65~69歳	4,140,441	100.0	53.3	28.4	10.1	3.7	1.6	2.4	0.6	1.8	1.2
女性計		7,818,006	100.0	52.1	25.9	11.1	5.7	2.9	1.7	0.6	1.9	1.2
	60~64歳	3,489,606	100.0	50.5	26.1	14.3	5.6	2.2	0.8	0.5	1.8	1.1
	65~69歳	4,328,400	100.0	53.4	25.8	8.6	5.8	3.5	2.3	0.7	1.9	1.3

注: サンプル数は図表2-112で、生計を共にする家族が「いる」と回答した者である。

図表 2-114 同居する家族(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	配偶者	子供(既婚)	子供(未婚)	子供の配偶者	孫	親(一方、または双方)	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体		15,240,857	88.0	7.4	35.3	4.4	7.0	16.3	2.1	0.7	0.2
年齢階層	60~64歳	6,772,016	86.0	6.7	37.9	4.1	5.5	20.4	2.7	0.6	0.4
	65~69歳	8,468,841	89.7	8.0	33.2	4.6	8.1	12.9	1.6	0.8	-
男性計		7,422,851	91.1	5.6	35.5	4.0	5.3	17.2	2.3	0.5	0.1
	60~64歳	3,282,410	89.3	5.5	39.1	3.8	4.4	22.3	2.3	0.5	0.1
	65~69歳	4,140,441	92.5	5.7	32.7	4.1	6.0	13.1	2.3	0.6	-
女性計		7,818,006	85.1	9.1	35.0	4.8	8.6	15.4	1.9	0.8	0.3
	60~64歳	3,489,606	82.8	7.7	36.7	4.4	6.6	18.7	3.0	0.7	0.7
	65~69歳	4,328,400	87.0	10.2	33.6	5.1	10.2	12.8	0.9	0.9	-

注: サンプル数は図表2-112で、生計を共にする家族が「いる」と回答した者である。

注: 選択肢は調査票配布時には7つだったが、調査票回収後、「その他」の回答として「兄弟・姉妹」が多く挙げられていたため、この選択肢を追加集計した。

(介護の必要な家族の有無)

調査対象者全員について介護が必要な家族の有無をみると、「いる」が 17.8%、「いない」が 79.9%であり 8 割が介護を必要とする家族がいない。(図表 2-115)

介護の必要な家族が「いる」と回答した人に、その主な介護者を尋ねたところ、「あなた自身」が 41.5%、「その他」が 37.5%、「あなたの配偶者」が 19.9%となっている。男女別に見ると、男性では「その他」(40.2%)、「あなたの配偶者」(31.5%)、「あなた自身」(27.7%)の順に多いのに対し、女性では「あなた自身」(53.3%)、「その他」(35.2%)、「あなたの配偶者」(10.0%)の順に多く、女性の方が自身で介護を行う人の割合が 25 ポイント高い。(図表 2-116)

図表 2-115 介護が必要な家族の有無(単位:%)

		総数(人)	計	いる	いない	無回答
全体		17,302,654	100.0	17.8	79.9	2.3
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	19.4	78.7	1.9
	65～69歳	9,668,578	100.0	16.5	80.9	2.6
男性計		8,467,638	100.0	16.7	80.6	2.7
	60～64歳	3,780,235	100.0	17.0	80.7	2.2
	65～69歳	4,687,403	100.0	16.4	80.6	3.0
女性計		8,835,016	100.0	18.8	79.3	1.9
	60～64歳	3,853,841	100.0	21.8	76.7	1.5
	65～69歳	4,981,175	100.0	16.5	81.2	2.2

図表 2-116 主に介護をしている人(単位:%)

		総数(人)	計	あなた自身	あなたの配偶者	その他	無回答
全体		3,077,573	100.0	41.5	19.9	37.5	1.1
年齢階層	60～64歳	1,483,621	100.0	43.0	15.7	40.3	0.9
	65～69歳	1,593,952	100.0	40.1	23.7	34.9	1.3
男性計		1,413,982	100.0	27.7	31.5	40.2	0.6
	60～64歳	643,530	100.0	27.0	30.8	40.9	1.3
	65～69歳	770,451	100.0	28.2	32.1	39.7	-
女性計		1,663,591	100.0	53.3	10.0	35.2	1.6
	60～64歳	840,090	100.0	55.2	4.2	39.9	0.7
	65～69歳	823,501	100.0	51.2	15.9	30.5	2.4

注: サンプル数は図表2-115で介護が必要な家族が「いる」と回答した者である。

(3) 生計状態、将来への不安

調査対象者全員に対し、生計状態について尋ねたところ、「余裕はないが、普通に生活している限り特に問題はない」が 67.3%と約 7 割を占め、これに「収入が少なく生活は楽ではな

い」(18.2%)、「余裕がある」(6.9%)、「借金の返済や、親・配偶者等の介護の経費など固定的な支出があるため、生活は楽ではない」(4.5%)、「生活保護を受けている」(0.8%)がづく。比較的余裕があるとする回答が74.2%を占める一方、生活が苦しいとする回答も23.5%ある。なお、この傾向に年齢階層や性別による差はほとんどみられない。(図表2-117)

図表 2-117 生計状態(単位:%)

		総数(人)	計	余裕がある	余裕はないが、普通に生活している限り特に問題はない	収入が少なく、生活は楽ではない	借金の返済や、親・配偶者等の介護の経費など固定的な支出があるため、生活は楽ではない	生活保護を受けている	その他	無回答
全体		17,302,654	100.0	6.9	67.3	18.2	4.5	0.8	0.5	1.9
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	7.8	65.8	18.4	4.6	1.0	0.6	1.8
	65～69歳	9,668,578	100.0	6.1	68.5	18.0	4.4	0.6	0.5	1.9
男性計		8,467,638	100.0	6.9	65.5	20.8	3.8	1.1	0.6	1.5
	60～64歳	3,780,235	100.0	8.2	62.0	22.4	4.0	1.4	0.6	1.4
	65～69歳	4,687,403	100.0	5.8	68.3	19.4	3.6	0.9	0.5	1.5
女性計		8,835,016	100.0	6.8	69.1	15.8	5.1	0.5	0.5	2.2
	60～64歳	3,853,841	100.0	7.3	69.5	14.5	5.2	0.6	0.6	2.3
	65～69歳	4,981,175	100.0	6.5	68.8	16.7	5.0	0.4	0.4	2.2

何歳ごろまで収入を伴う仕事をしたいか尋ねたところ、「()歳くらいまで働きたい」(35.5%)、「年齢に関係なく、働けるうちはいつまでも働きたい」(32.1%)、「すでに仕事を辞めている」(26.8%)であった。(図表2-118)

「()歳くらいまで働きたい」と回答した人に対して、具体的な年齢を尋ねたところ、「70歳」が45.0%で最も多く、ついで「65歳」(19.7%)、「75歳」(13.9%)がづく。平均69.8歳、標準偏差は3.9である。(図表2-119)

また、図表2-118で「すでに仕事を辞めている」と回答した人に対しても、仕事を辞めた年齢を尋ねたところ、「55～59歳」(17.9%)、「61～64歳」(17.2%)、「60歳」(14.8%)、「39歳以下」(14.3%)の順に多い。平均54.1歳、標準偏差は12.6である。(図表2-120)

図表 2-118 何歳ごろまで収入を伴う仕事をしたいか(単位:%)

		総数(人)	計	()歳くらいまで働きたい	年齢に関係なく、働けるうちはいつまでも働きたい	すでに仕事を辞めている	仕事についたことがない	無回答
全体		17,302,654	100.0	35.5	32.1	26.8	2.5	3.2
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	42.7	33.3	20.2	1.3	2.6
	65～69歳	9,668,578	100.0	29.8	31.1	32.0	3.5	3.6
男性計		8,467,638	100.0	44.1	32.8	20.4	0.5	2.2
	60～64歳	3,780,235	100.0	53.2	32.7	12.1	0.1	1.9
	65～69歳	4,687,403	100.0	36.8	33.0	27.1	0.8	2.4
女性計		8,835,016	100.0	27.2	31.3	32.9	4.5	4.1
	60～64歳	3,853,841	100.0	32.3	34.0	28.0	2.4	3.2
	65～69歳	4,981,175	100.0	23.2	29.2	36.7	6.0	4.8

図表 2-119 収入を伴う仕事をしたい具体的な年齢(単位:%)

		総数(人)	計	64歳以下	65歳	66~69歳	70歳	71~74歳	75歳	76歳以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		6,135,120	100.0	2.7	19.7	7.4	45.0	4.6	13.9	3.1	3.6	69.8	3.9
年齢階層	60~64歳	3,256,987	100.0	5.1	36.3	8.1	41.6	1.0	4.7	2.0	1.2	68.1	3.5
	65~69歳	2,878,133	100.0	-	0.9	6.6	48.8	8.6	24.5	4.3	6.3	71.8	3.3
男性計		3,734,762	100.0	2.7	18.8	8.0	44.9	3.7	14.6	3.8	3.4	69.9	4.0
	60~64歳	2,011,538	100.0	5.0	34.6	8.5	42.5	1.0	4.6	3.0	0.8	68.3	3.7
	65~69歳	1,723,223	100.0	-	0.3	7.5	47.8	6.8	26.3	4.8	6.5	71.9	3.3
女性計		2,400,358	100.0	2.7	21.2	6.4	45.1	5.9	12.9	1.9	3.9	69.6	3.8
	60~64歳	1,245,449	100.0	5.2	39.2	7.5	40.1	0.9	4.7	0.5	1.9	67.8	3.3
	65~69歳	1,154,910	100.0	-	1.7	5.2	50.4	11.3	21.7	3.5	6.1	71.7	3.3

注: サンプル数は図表2-118で「()歳くらいまで働きたい」と回答した者である。

図表 2-120 仕事を辞めた年齢(単位:%)

		総数(人)	計	39歳以下	40~49歳	50~54歳	55~59歳	60歳	61~64歳	65歳	66歳以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		4,636,440	100.0	14.3	5.4	12.0	17.9	14.8	17.2	9.7	6.0	2.7	54.1	12.6
年齢階層	60~64歳	1,538,307	100.0	16.6	9.1	17.5	21.5	14.5	16.6	-	-	4.3	51.1	12.0
	65~69歳	3,098,133	100.0	13.2	3.6	9.4	16.1	14.9	17.5	14.5	8.9	1.9	55.6	12.6
男性計		1,727,714	100.0	0.8	1.6	7.4	14.4	20.8	23.6	17.4	10.2	3.8	60.6	5.9
	60~64歳	457,352	100.0	1.8	3.5	15.0	15.9	25.7	30.1	-	-	8.0	57.5	6.7
	65~69歳	1,270,363	100.0	0.5	0.9	4.6	13.9	19.0	21.3	23.6	13.9	2.3	61.6	5.2
女性計		2,908,725	100.0	22.3	7.7	14.8	19.9	11.2	13.4	5.2	3.5	2.0	50.3	13.9
	60~64歳	1,080,955	100.0	22.8	11.4	18.5	23.9	9.8	10.9	-	-	2.7	48.6	12.7
	65~69歳	1,827,770	100.0	22.0	5.5	12.6	17.6	12.1	14.8	8.2	5.5	1.6	51.3	14.4

注: サンプル数は図表2-118で「すでに仕事を辞めている」と回答した者である。

調査対象者全員に、将来の不安について複数回答で尋ねたところ、「生活費の不安がある」(44.4%)、「特にない」(30.9%)、「自分または家族が病気がちなので不安だ」(27.1%)の順に多い。(図表2-121)

図表 2-121 将来の不安(複数回答)(単位:%)

		総数(人)	特にない	自分または家族の健康が不安だ	できるだけ長く働きたいが、いつまで雇ってもらえるか不安だ	生活費の不安がある	多額の借金を抱えており、この先、どう返済していくか悩んでいる	その他	無回答
全体		17,302,654	30.9	27.1	14.4	44.4	2.6	2.8	2.0
年齢階層	60~64歳	7,634,076	28.2	25.8	16.6	49.5	3.3	2.4	2.1
	65~69歳	9,668,578	33.1	28.1	12.7	40.3	2.0	3.0	2.0
男性計		8,467,638	32.2	22.9	15.8	45.0	2.8	3.0	1.6
	60~64歳	3,780,235	29.9	21.5	19.3	49.1	3.2	2.1	1.4
	65~69歳	4,687,403	34.1	24.0	13.0	41.7	2.5	3.6	1.8
女性計		8,835,016	29.6	31.2	13.1	43.8	2.4	2.6	2.4
	60~64歳	3,853,841	26.5	30.0	14.0	49.8	3.4	2.7	2.7
	65~69歳	4,981,175	32.1	32.1	12.3	39.1	1.6	2.4	2.2

注: 調査票配布時、選択肢2は「自分または家族が病気がちなので不安だ」と記していたが、調査票回収後、「その他」の回答として「自分または家族の健康が不安だ」が多く挙げられていたため、選択肢2の表現を修正し、「その他」のうち該当する回答を、選択肢2に加え、再集計した。

(4) 世帯の収入、支出の状況

全ての調査対象者に世帯の生計をまかなう収入源を複数回答で尋ねたところ、「あなたの

「公的年金収入」(63.5%)、「あなたの賃金等収入」(47.9%)、「配偶者の年金収入」(42.4%)、「配偶者の賃金等収入」(33.4%)、「貯蓄の取り崩し」(18.5%)が多く挙げられた。(図表2-122)

このうち、主たる収入源を一つ挙げてもらったところ、「あなたの賃金等収入」(26.8%)、「あなたの公的年金収入」(21.3%)、「配偶者の年金収入」(17.0%)、「配偶者の賃金等収入」(14.1%)の順に多い。年齢階層別にみると、60代前半層では「あなたの賃金等収入」(38.2%)が、60代後半層では「あなたの公的年金収入」(32.4%)が最も多い。男女別にみると、男性では「あなたの賃金等収入」(41.7%)、女性では「配偶者の年金収入」(32.9%)が最も多い。(図表2-123)

図表 2-122 世帯の生計をまかなう収入源(複数回答)(単位:%)

	総数(人)	あなたの賃金等収入	あなたの公的年金収入	あなたのその他の年金収入(企業年金を含む)	あなたの高年齢者雇用継続給付金	配偶者の賃金等収入	配偶者の年金収入(公的年金、企業年金を含む)	子供の賃金等収入	親族の年金収入	自営業などの事業収入	財産収入(家賃・利子・配当金など)	退職金の取り崩し	貯蓄の取り崩し	雇用保険(失業給付)	仕送り	生活保護	その他	無回答	
全体	17,302,654	47.9	63.5	18.3	2.2	33.4	42.4	11.6	6.4	9.9	6.8	8.4	18.5	0.6	0.2	1.0	0.6	2.7	
年齢階層	60~64歳	7,634,076	59.4	37.3	14.6	4.5	41.5	30.4	12.4	8.5	9.8	6.1	9.8	19.1	1.0	0.3	1.3	1.0	2.6
	65~69歳	9,668,578	38.7	84.1	21.3	0.3	27.0	51.9	11.0	4.7	9.9	7.4	7.3	18.0	0.4	0.1	0.8	0.3	2.9
男性計	8,467,638	56.6	62.7	20.6	3.3	28.5	26.2	9.5	7.6	11.1	6.6	10.6	17.4	0.6	0.2	1.3	0.5	3.2	
60~64歳	3,780,235	70.4	34.0	14.8	6.9	37.5	10.8	10.4	9.6	11.2	7.0	12.6	17.2	0.9	0.1	1.6	0.9	3.2	
	65~69歳	4,687,403	45.4	85.8	25.3	0.5	21.3	38.6	8.8	5.9	11.0	6.4	9.0	17.6	0.4	0.3	1.1	0.3	3.1
女性計	8,835,016	39.5	64.2	16.1	1.0	38.0	57.9	13.6	5.3	8.7	7.0	6.2	19.5	0.7	0.2	0.7	0.7	2.3	
60~64歳	3,853,841	48.6	40.5	14.3	2.1	45.4	49.7	14.3	7.5	8.4	5.3	7.0	20.9	1.1	0.5	1.1	1.1	2.0	
	65~69歳	4,981,175	32.5	82.5	17.5	0.2	32.3	64.3	13.1	3.6	8.9	8.3	5.6	18.3	0.4	-	0.4	0.4	2.6

図表 2-123 世帯の生計をまかなう主たる収入源(単位:%)

	総数(人)	計	あなたの賃金等収入	あなたの公的年金収入	あなたのその他の年金収入(企業年金を含む)	あなたの高年齢者雇用継続給付金	配偶者の賃金等収入	配偶者の年金収入(公的年金、企業年金を含む)	子供の賃金等収入	親族の年金収入	自営業などの事業収入	財産収入(家賃・利子・配当金など)	退職金の取り崩し	貯蓄の取り崩し	雇用保険(失業給付)	仕送り	生活保護	その他	無回答	
全体	17,302,654	100.0	26.8	21.3	2.0	-	14.1	17.0	1.8	1.3	6.3	1.6	0.6	1.8	0.1	0.0	0.8	0.3	4.2	
年齢階層	60~64歳	7,634,076	100.0	38.2	7.2	1.5	-	18.9	13.3	1.2	1.8	7.0	1.3	1.1	2.8	0.3	0.1	1.1	0.6	3.6
	65~69歳	9,668,578	100.0	17.8	32.4	2.4	-	10.3	19.9	2.2	0.9	5.8	1.9	0.2	0.9	-	-	0.5	0.1	4.7
男性計	8,467,638	100.0	41.7	32.6	2.9	-	3.0	0.5	0.8	1.0	7.2	1.5	1.0	2.1	0.1	-	1.1	0.2	4.4	
60~64歳	3,780,235	100.0	61.0	10.1	1.6	-	4.4	0.3	0.3	1.4	8.1	1.4	1.8	3.1	0.2	-	1.4	0.5	4.3	
	65~69歳	4,687,403	100.0	26.1	50.7	4.0	-	1.9	0.6	1.1	0.6	6.4	1.5	0.4	1.3	-	-	0.9	-	4.5
女性計	8,835,016	100.0	12.6	10.5	1.1	-	24.7	32.9	2.7	1.6	5.5	1.8	0.1	1.5	0.1	0.1	0.4	0.4	4.0	
60~64歳	3,853,841	100.0	15.9	4.4	1.4	-	33.2	26.1	2.1	2.1	5.8	1.2	0.3	2.6	0.3	0.2	0.8	0.8	2.9	
	65~69歳	4,981,175	100.0	10.1	15.1	0.8	-	18.1	38.1	3.2	1.2	5.2	2.2	-	0.6	-	-	0.2	0.2	4.8

2019年6月の世帯の収入(税込)については、「30万円以上50万円未満」(25.7%)、「20万円以上30万円未満」(22.3%)、「50万円以上」(13.7%)の順に多い。平均35.5万円、標準偏差は38.5である。(図表2-124)

一方、2019年6月の世帯の生計費については、「20万円以上30万円未満」(29.1%)、「30万円以上50万円未満」(21.4%)の順に多く、平均25.6万円、標準偏差15.3である。(図表2-125)

図表 2-124 2019年6月の世帯収入(単位:%)

		総数(人)	計	0円	5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上30万円未満	30万円以上50万円未満	50万円以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		17,302,654	100.0	1.0	0.4	2.5	5.5	7.1	22.3	25.7	13.7	21.8	35.5	38.5
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	1.7	0.6	3.2	4.5	7.5	20.8	27.3	14.8	19.6	36.3	41.2
	65～69歳	9,668,578	100.0	0.5	0.3	2.0	6.3	6.7	23.5	24.5	12.9	23.4	34.9	36.0
男性計		8,467,638	100.0	1.4	0.3	2.4	5.0	7.7	22.0	27.5	15.4	18.3	37.5	42.1
	60～64歳	3,780,235	100.0	2.2	0.4	3.4	4.3	8.4	19.5	27.3	18.7	15.7	38.7	38.3
	65～69歳	4,687,403	100.0	0.6	0.1	1.6	5.6	7.2	24.0	27.6	12.8	20.5	36.4	45.0
女性計		8,835,016	100.0	0.7	0.6	2.6	5.9	6.4	22.6	24.1	12.1	25.0	33.5	34.2
	60～64歳	3,853,841	100.0	1.1	0.8	2.9	4.7	6.7	22.1	27.3	11.0	23.5	33.6	44.0
	65～69歳	4,981,175	100.0	0.4	0.4	2.4	6.9	6.3	23.0	21.6	12.9	26.2	33.4	23.5

図表 2-125 2019年6月の世帯の生計費(単位:%)

		総数(人)	計	5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上30万円未満	30万円以上50万円未満	50万円以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		17,302,654	100.0	0.5	2.9	5.9	9.8	29.1	21.4	3.0	27.4	25.6	15.3
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	0.4	2.5	5.1	9.1	28.3	22.3	3.6	28.7	26.5	18.2
	65～69歳	9,668,578	100.0	0.6	3.2	6.4	10.3	29.8	20.8	2.6	26.4	25.0	12.6
男性計		8,467,638	100.0	0.4	2.7	5.6	9.4	29.5	22.8	4.2	25.4	26.6	17.3
	60～64歳	3,780,235	100.0	0.4	2.9	5.4	8.2	25.4	25.2	5.5	27.1	27.8	20.9
	65～69歳	4,687,403	100.0	0.4	2.5	5.8	10.3	32.9	21.0	3.1	24.1	25.7	13.9
女性計		8,835,016	100.0	0.7	3.1	6.1	10.1	28.7	20.1	1.9	29.3	24.6	12.8
	60～64歳	3,853,841	100.0	0.5	2.1	4.9	9.9	31.1	19.5	1.8	30.2	25.2	14.7
	65～69歳	4,981,175	100.0	0.8	3.8	7.1	10.3	26.8	20.6	2.0	28.6	24.2	11.2

(5) 公的年金の受給状況

全ての調査対象者に、年金の裁定請求をし、「年金証書・裁定通知書」を受け取ったことがあるか尋ねたところ、「ある」が61.9%、「ない」が32.7%であった。年齢階層別にみると、60代前半層では「ある」が51.7%と半数にとどまるのに対し、60代後半層では70.1%と20ポイント程上昇する。(図表2-126)

図表 2-126 年金証書・裁定通知書を受け取ったことがあるか(単位:%)

		総数(人)	計	ある	ない	無回答
全体		17,302,654	100.0	61.9	32.7	5.4
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	51.7	43.7	4.6
	65～69歳	9,668,578	100.0	70.1	23.9	6.0
男性計		8,467,638	100.0	58.1	37.3	4.6
	60～64歳	3,780,235	100.0	44.6	52.7	2.7
	65～69歳	4,687,403	100.0	68.9	25.0	6.1
女性計		8,835,016	100.0	65.7	28.2	6.2
	60～64歳	3,853,841	100.0	58.5	34.9	6.6
	65～69歳	4,981,175	100.0	71.2	23.0	5.8

公的年金(国民年金、厚生年金、共済年金)の受給状況をみると、「受給している」が74.7%、「受給していない」が22.8%となっている。受給者について年齢階層別にみると、60代前半層では51.3%と半数にとどまるのに対し、60代後半層では93.1%と9割以上にのぼる。男

女別には、男性 69.6%、女性 79.5%であり、女性の方が 10 ポイント程受給者の割合が高い。
(図表 2-127)

上記の受給者について受給開始年齢をみると、公的年金の支給開始年齢を 65 歳へ引上げ中であることもあり、「60 歳」(49.3%)、「65 歳」(24.0%)、「62 歳」(9.2%) の順に多い。平均は 61.5 歳、標準偏差は 3.1 である。(図表 2-128)

図表 2-127 公的年金の受給有無(単位:%)

		総数(人)	計	受給している	受給していない	無回答
全体		17,302,654	100.0	74.7	22.8	2.5
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	51.3	45.7	3.0
	65～69歳	9,668,578	100.0	93.1	4.7	2.2
男性計		8,467,638	100.0	69.6	28.1	2.3
	60～64歳	3,780,235	100.0	41.0	56.9	2.1
	65～69歳	4,687,403	100.0	92.7	4.9	2.4
女性計		8,835,016	100.0	79.5	17.7	2.8
	60～64歳	3,853,841	100.0	61.4	34.8	3.8
	65～69歳	4,981,175	100.0	93.5	4.4	2.0

図表 2-128 公的年金の受給開始年齢(単位:%)

		総数(人)	計	60歳未満	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳	68歳	69歳以上	無回答	平均値	標準偏差
全体		12,923,762	100.0	2.0	49.3	7.1	9.2	4.2	1.5	24.0	0.5	0.3	0.3	0.1	1.5	61.5	3.1
年齢階層	60～64歳	3,917,667	100.0	4.3	52.8	11.4	24.0	4.4	1.0	1.0	-	-	-	-	1.0	60.3	3.2
	65～69歳	9,006,096	100.0	1.0	47.8	5.2	2.7	4.1	1.7	34.0	0.7	0.4	0.5	0.2	1.7	62.1	2.8
男性計		5,896,426	100.0	1.9	37.2	9.8	15.3	5.4	1.6	25.7	0.6	0.6	0.4	0.1	1.5	61.9	2.8
	60～64歳	1,550,139	100.0	3.4	17.5	15.9	50.9	8.4	1.0	1.8	-	-	-	-	1.0	61.2	2.8
	65～69歳	4,346,287	100.0	1.4	44.2	7.6	2.6	4.3	1.8	34.2	0.8	0.8	0.5	0.1	1.6	62.1	2.8
女性計		7,027,336	100.0	2.1	59.5	4.8	4.0	3.2	1.5	22.6	0.4	-	0.3	0.1	1.5	61.2	3.2
	60～64歳	2,367,527	100.0	5.0	75.9	8.4	6.5	1.7	1.0	0.5	-	-	-	-	1.0	59.8	3.4
	65～69歳	4,659,809	100.0	0.6	51.1	3.0	2.8	3.9	1.7	33.8	0.6	-	0.4	0.2	1.7	62.0	2.9

注: サンプル数は図表2-127で、公的年金を「受給している」と回答した者である。

全ての調査対象者に対して、公的年金の「繰り上げ」「繰り下げ」の状況を尋ねたところ、「どちらも選択していない」が 72.3%、「繰り上げを選択している」が 16.7%であった。(図表 2-129)

「繰り上げ」を選択している人に対して、繰り上げ方法を尋ねたところ、「全部繰り上げ」が 52.9%、「わからない」が 24.0%、「一部繰り上げ」が 20.4%であった。(図表 2-130)

図表 2-129 公的年金の「繰り上げ」あるいは「繰り下げ」の選択(単位:%)

		総数(人)	計	「繰り上げ」を選択している	「繰り下げ」を選択している	どちらも選択していない	無回答
全体		17,302,654	100.0	16.7	5.1	72.3	5.9
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	14.3	3.8	76.6	5.3
	65～69歳	9,668,578	100.0	18.6	6.0	68.9	6.5
男性計		8,467,638	100.0	15.2	5.5	74.1	5.2
	60～64歳	3,780,235	100.0	11.9	3.9	79.9	4.4
	65～69歳	4,687,403	100.0	17.8	6.9	69.4	5.9
女性計		8,835,016	100.0	18.2	4.6	70.5	6.6
	60～64歳	3,853,841	100.0	16.8	3.8	73.3	6.1
	65～69歳	4,981,175	100.0	19.4	5.2	68.3	7.1

注:60代前半では「繰り下げ」を選択できないことに留意が必要

図表 2-130 公的年金の繰上げ方法(単位:%)

		総数(人)	計	全部繰り上げ	一部繰り上げ	わからない	無回答
全体		2,894,725	100.0	52.9	20.4	24.0	2.7
年齢階層	60～64歳	1,095,480	100.0	49.7	20.3	26.7	3.3
	65～69歳	1,799,244	100.0	54.9	20.4	22.4	2.3
男性計		1,284,403	100.0	58.9	21.0	18.2	1.9
	60～64歳	449,257	100.0	55.9	20.7	20.7	2.7
	65～69歳	835,146	100.0	60.6	21.1	16.9	1.4
女性計		1,610,322	100.0	48.2	19.9	28.6	3.3
	60～64歳	646,223	100.0	45.5	20.0	30.9	3.6
	65～69歳	964,098	100.0	50.0	19.8	27.1	3.1

注:サンプル数は図表2-129で「繰り上げを選択している」と回答した者である。

全ての調査対象者について、老齢厚生年金の受給資格の有無をみると、「ある」は51.0%、「ない」は36.4%であった。(図表2-131)

上記で「ある」と回答した人に、在職老齢年金の減額率を尋ねたところ、「減額されていない」が66.7%と最も多く、ついで「2割未満」(6.3%)、「2割以上3割未満」(3.5%)である。(図表2-132)

図表 2-131 老齢厚生年金の受給資格(単位:%)

		総数(人)	計	ある	ない	無回答
全体		17,302,654	100.0	51.0	36.4	12.6
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	48.1	39.7	12.1
	65～69歳	9,668,578	100.0	53.2	33.8	13.0
男性計		8,467,638	100.0	55.1	34.1	10.7
	60～64歳	3,780,235	100.0	47.8	42.2	10.1
	65～69歳	4,687,403	100.0	61.1	27.6	11.3
女性計		8,835,016	100.0	46.9	38.7	14.4
	60～64歳	3,853,841	100.0	48.5	37.3	14.2
	65～69歳	4,981,175	100.0	45.8	39.7	14.5

図表 2-132 現在の在職老齢年金の減額率(単位:%)

		総数(人)	計	減額されて いない	2割未満	2割以上 3割未満	3割以上 4割未満	4割以上 5割未満	5割以上 6割未満	6割以上 7割未満	7割以上 8割未満	8割以上	無回答
全体		8,817,184	100.0	66.7	6.3	3.5	2.5	1.0	1.1	0.7	0.9	5.0	12.4
年齢階層	60～64歳	3,673,296	100.0	55.7	6.3	3.9	2.4	1.6	2.4	1.2	1.2	9.0	16.4
	65～69歳	5,143,888	100.0	74.6	6.2	3.2	2.5	0.6	0.2	0.3	0.6	2.2	9.5
男性計		4,669,320	100.0	64.4	7.0	4.2	3.0	1.5	1.6	0.8	1.0	5.8	10.7
	60～64歳	1,805,123	100.0	51.8	7.0	4.9	3.8	2.2	3.6	1.1	0.9	11.2	13.5
	65～69歳	2,864,197	100.0	72.3	7.0	3.7	2.5	1.0	0.4	0.6	1.0	2.5	9.0
女性計		4,147,864	100.0	69.4	5.5	2.7	1.9	0.4	0.6	0.6	0.7	4.1	14.2
	60～64歳	1,868,173	100.0	59.4	5.7	2.8	0.9	0.9	1.3	1.3	1.6	6.9	19.2
	65～69歳	2,279,691	100.0	77.5	5.3	2.6	2.6	-	-	-	-	1.8	10.1

注: サンプル数は図表2-131で、老齢厚生年金の受給資格が「ある」と回答した者である。

(公的年金の受給月額)

厚生年金の受給月額は平均 86.1 千円 (標準偏差 64.7) である。なお、これには特別支給の老齢厚生年金や障害厚生年金、遺族厚生年金を含む。(図表 2-133)

国民年金の受給月額は平均 60.4 千円 (標準偏差 28.4) である。なお、これには老齢基礎年金や障害基礎年金、遺族基礎年金、寡婦年金を含む。(図表 2-134)

共済年金の受給月額は平均 91.6 千円 (標準偏差 62.3) である。(図表 2-135)

企業独自の退職年金の受給月額は平均 48.1 千円 (標準偏差 60.6)、なお、これには厚生年金基金や確定給付年金、確定拠出年金などを含む。(図表 2-136)

国民年金基金の受給月額は平均 43.2 千円 (標準偏差 30.2) である。(図表 2-137)

個人年金の受給月額は平均 54.6 千円 (標準偏差 37.3) なお、これには個人型確定拠出年金を含む。(図表 2-138)

その他、労災補償年金などの受給月額は平均 81.2 千円 (標準偏差 44.9) である (図表 2-139)

図表 2-133 受給している年金の月額 ① 厚生年金(単位:%)

		総数(人)	計	0円	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	50万円以上	無回答	平均値 (千円) 無 回答・0円を 除く	標準偏差
全体		17,302,654	100.0	4.9	14.9	11.9	9.3	6.3	2.3	0.2	-	50.3	86.1	64.7
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	6.9	20.8	8.4	5.1	1.0	0.7	-	-	57.0	52.2	49.5
	65～69歳	9,668,578	100.0	3.2	10.2	14.7	12.7	10.4	3.5	0.4	-	45.0	104.7	64.5
男性計		8,467,638	100.0	5.6	8.3	10.9	11.7	10.8	4.2	0.2	-	48.3	112.7	62.0
	60～64歳	3,780,235	100.0	10.0	10.7	10.5	6.2	1.3	1.0	-	-	60.4	74.1	50.0
	65～69歳	4,687,403	100.0	2.1	6.4	11.3	16.1	18.4	6.8	0.4	-	38.5	128.2	59.5
女性計		8,835,016	100.0	4.1	21.2	12.9	7.1	1.9	0.4	0.2	-	52.2	59.2	55.6
	60～64歳	3,853,841	100.0	4.0	30.8	6.4	4.0	0.8	0.5	-	-	53.7	37.2	43.2
	65～69歳	4,981,175	100.0	4.2	13.7	17.9	9.5	2.8	0.4	0.4	-	51.0	75.3	58.1

図表 2-134 受給している年金の月額 ②国民年金(単位:%)

		総数(人)	計	0円	5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上30万円未満	無回答	平均値(千円) 無回答・0円を除く	標準偏差
全体		17,302,654	100.0	7.2	6.2	17.4	1.0	0.5	0.1	67.6	60.4	28.4
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	10.7	3.8	2.6	0.6	0.1	0.2	81.9	53.4	46.8
	65～69歳	9,668,578	100.0	4.5	8.0	29.0	1.3	0.8	0.1	56.3	61.5	24.3
男性計		8,467,638	100.0	8.8	4.1	14.3	0.8	0.7	0.2	71.0	64.1	32.7
	60～64歳	3,780,235	100.0	13.3	1.8	2.0	0.4	0.1	0.2	82.1	62.2	54.8
	65～69歳	4,687,403	100.0	5.1	6.0	24.2	1.1	1.3	0.3	62.0	64.4	29.2
女性計		8,835,016	100.0	5.8	8.1	20.3	1.1	0.3	0.1	64.4	58.0	24.8
	60～64歳	3,853,841	100.0	8.2	5.8	3.2	0.8	0.2	0.2	81.7	49.4	42.2
	65～69歳	4,981,175	100.0	3.8	9.9	33.5	1.4	0.4	-	51.0	59.5	20.0

注:調査時点での国民年金の満額は780,100円(月額約65,000円)であることに留意が必要

図表 2-135 受給している年金の月額 ③共済年金(単位:%)

		総数(人)	計	0円	5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上30万円未満	無回答	平均値(千円) 無回答・0円を除く	標準偏差
全体		17,302,654	100.0	9.0	2.6	1.0	2.5	1.2	0.3	83.3	91.6	62.3
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	10.7	2.5	1.0	1.9	0.5	0.2	83.1	78.5	59.5
	65～69歳	9,668,578	100.0	7.7	2.6	1.0	2.9	1.8	0.5	83.5	98.8	62.6
男性計		8,467,638	100.0	9.8	2.1	0.9	3.3	2.2	0.5	81.1	110.3	60.7
	60～64歳	3,780,235	100.0	12.6	1.7	1.0	2.7	0.9	0.2	80.9	99.1	57.0
	65～69歳	4,687,403	100.0	7.5	2.4	0.9	3.9	3.3	0.8	81.3	115.4	61.6
女性計		8,835,016	100.0	8.3	3.1	1.1	1.7	0.3	0.2	85.4	66.0	55.0
	60～64歳	3,853,841	100.0	8.8	3.4	1.1	1.2	0.2	0.2	85.2	56.7	54.0
	65～69歳	4,981,175	100.0	7.9	2.8	1.2	2.0	0.4	0.2	85.5	72.4	54.7

図表 2-136 受給している年金の月額 ④企業独自の退職年金(単位:%)

		総数(人)	計	0円	5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上30万円未満	30万円以上50万円未満	50万円以上	無回答	平均値(千円) 無回答・0円を除く	標準偏差
全体		17,302,654	100.0	9.0	4.6	1.7	0.4	0.2	0.3	0.0	0.0	83.7	48.1	60.6
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	10.7	4.7	1.1	0.5	0.1	0.2	-	0.1	82.8	41.0	62.7
	65～69歳	9,668,578	100.0	7.6	4.6	2.3	0.3	0.3	0.4	0.1	-	84.5	52.7	58.6
男性計		8,467,638	100.0	9.7	4.8	2.8	0.8	0.4	0.6	0.1	0.0	80.8	65.9	68.0
	60～64歳	3,780,235	100.0	12.4	3.6	2.0	1.0	0.1	0.3	-	0.1	80.4	66.6	75.4
	65～69歳	4,687,403	100.0	7.5	5.8	3.4	0.6	0.6	0.9	0.1	-	81.1	65.6	63.9
女性計		8,835,016	100.0	8.2	4.5	0.7	-	-	-	-	-	86.5	16.9	21.4
	60～64歳	3,853,841	100.0	9.0	5.8	0.2	-	-	-	-	-	85.1	10.8	13.2
	65～69歳	4,981,175	100.0	7.7	3.4	1.2	-	-	-	-	-	87.7	23.0	25.8

図表 2-137 受給している年金の月額 ⑤国民年金基金(単位:%)

		総数(人)	計	0円	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	無回答	平均値(千円) 無回答・0円を 除く	標準偏差
全体		17,302,654	100.0	9.5	1.3	0.9	0.2	-	88.3	43.2	30.2
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	11.4	1.0	0.1	0.1	-	87.5	21.3	26.5
	65～69歳	9,668,578	100.0	7.9	1.5	1.5	0.2	-	88.8	48.8	28.5
男性計		8,467,638	100.0	10.7	1.1	0.7	0.3	-	87.1	49.9	36.9
	60～64歳	3,780,235	100.0	13.6	0.5	0.1	0.1	-	85.7	37.0	38.4
	65～69歳	4,687,403	100.0	8.4	1.6	1.1	0.5	-	88.3	52.3	36.2
女性計		8,835,016	100.0	8.3	1.4	1.0	-	-	89.3	37.5	21.4
	60～64歳	3,853,841	100.0	9.3	1.4	-	-	-	89.3	12.9	9.0
	65～69歳	4,981,175	100.0	7.5	1.4	1.8	-	-	89.3	45.6	17.9

図表 2-138 受給している年金の月額 ⑥個人年金(単位:%)

		総数(人)	計	0円	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	無回答	平均値(千円) 無回答・0円を 除く	標準偏差
全体		17,302,654	100.0	8.9	3.4	2.5	0.6	0.1	0.0	0.0	84.4	54.6	37.3
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	10.7	3.2	2.8	0.5	0.1	0.1	0.1	82.6	56.1	40.7
	65～69歳	9,668,578	100.0	7.4	3.6	2.3	0.6	0.2	-	-	85.8	53.4	34.3
男性計		8,467,638	100.0	10.0	3.3	2.3	0.9	0.2	0.0	0.0	83.2	59.1	42.6
	60～64歳	3,780,235	100.0	12.5	3.2	2.5	0.9	0.1	0.1	0.1	80.6	64.7	50.2
	65～69歳	4,687,403	100.0	8.0	3.4	2.1	0.9	0.3	-	-	85.3	54.5	34.3
女性計		8,835,016	100.0	7.8	3.6	2.7	0.3	0.1	-	-	85.6	50.1	30.6
	60～64歳	3,853,841	100.0	9.0	3.2	3.0	0.2	-	-	-	84.6	47.0	24.4
	65～69歳	4,981,175	100.0	6.9	3.8	2.4	0.4	0.2	-	-	86.3	52.4	34.2

図表 2-139 受給している年金の月額 ⑦その他(単位:%)

		総数(人)	計	0円	5万円未満	5万円以上10 万円未満	10万円以上15 万円未満	15万円以上20 万円未満	20万円以上30 万円未満	無回答	平均値(千円) 無回答・0円を 除く	標準偏差
全体		17,302,654	100.0	9.6	0.1	0.1	0.1	0.0	-	90.1	81.2	44.9
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	11.5	0.1	0.2	-	-	-	88.2	53.1	19.5
	65～69歳	9,668,578	100.0	8.1	0.1	0.1	0.1	0.1	-	91.5	99.7	47.2
男性計		8,467,638	100.0	10.9	0.2	0.2	-	0.1	-	88.7	71.4	48.5
	60～64歳	3,780,235	100.0	13.6	0.2	0.2	-	-	-	86.0	43.0	11.6
	65～69歳	4,687,403	100.0	8.7	0.1	0.3	-	0.1	-	90.8	91.0	54.2
女性計		8,835,016	100.0	8.4	-	0.1	0.1	-	-	91.4	105.6	18.8
	60～64歳	3,853,841	100.0	9.5	-	0.2	-	-	-	90.4	81.0	0.0
	65～69歳	4,981,175	100.0	7.7	-	-	0.2	-	-	92.1	120.0	0.0

(6) 退職金

全ての調査対象者に、定年時に退職金が支給されたか尋ねたところ、「定年は経験していない」が37.6%、「支給された」が38.6%、「支給されなかった」が16.2%であった。(図表2-140)

その支給額をみると「1,001万円以上2,000万円以下」(26.1%)、「2,001万円以上」(17.6%)、「501万円以上1,000万円以下」(13.9%)の順に多い。(図表2-141)

図表 2-140 最初の定年経験時に、退職金は支給されたか(単位: %)

		総数(人)	計	支給された	支給されなかった	定年は 経験していない	無回答
全体		17,302,654	100.0	38.6	16.2	37.6	7.6
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	34.5	13.3	44.7	7.5
	65～69歳	9,668,578	100.0	41.8	18.6	32.0	7.6
男性計		8,467,638	100.0	53.2	11.1	27.9	7.8
	60～64歳	3,780,235	100.0	48.6	8.8	35.0	7.6
	65～69歳	4,687,403	100.0	56.8	13.0	22.1	8.0
女性計		8,835,016	100.0	24.6	21.1	47.0	7.3
	60～64歳	3,853,841	100.0	20.7	17.7	54.3	7.3
	65～69歳	4,981,175	100.0	27.6	23.8	41.3	7.3

図表 2-141 最初の定年経験時の、退職金支給金額(単位: %)

		総数(人)	計	30万円以下	31万円以上 50万円以下	51万円以上 100万円以下	101万円以上 300万円以下	301万円以上 500万円以下	501万円以上 1000万円以下	1001万円以上 2000万円以下	2001万円以上	無回答
全体		6,676,550	100.0	4.8	2.2	6.9	11.1	5.8	13.9	26.1	17.6	11.6
年齢階層	60～64歳	2,636,469	100.0	3.7	2.8	5.1	11.4	7.1	14.2	27.2	20.0	8.5
	65～69歳	4,040,082	100.0	5.5	1.9	8.0	10.9	5.0	13.8	25.3	16.0	13.6
男性計		4,501,735	100.0	1.8	1.2	4.3	8.5	6.1	16.1	29.7	21.5	10.8
	60～64歳	1,837,502	100.0	1.5	1.1	3.7	9.0	7.3	15.2	31.7	23.6	6.8
	65～69歳	2,664,233	100.0	2.0	1.3	4.6	8.2	5.3	16.8	28.3	20.1	13.5
女性計		2,174,816	100.0	11.1	4.3	12.2	16.4	5.2	9.4	18.7	9.4	13.4
	60～64歳	798,967	100.0	8.8	6.6	8.1	16.9	6.6	11.8	16.9	11.8	12.5
	65～69歳	1,375,849	100.0	12.4	2.9	14.6	16.1	4.4	8.0	19.7	8.0	13.9

注: サンプル数は図表2-140で、定年時に退職金を「支給された」と回答した者である。

(7) 貯蓄・借金等

全ての調査対象者に、世帯の貯蓄額の有無については尋ねたところ、「ある」が 60.6%、「ない」が 26.3%となっている。具体的な貯蓄額をみると、「501 万円以上 1000 万円以下」(18.1%)、「1,001 万円以上 2,000 万円以下」(17.3%)、「2,001 万円以上」(14.4%) の順に多い。(図表 2-142、2-143)

図表 2-142 現在の世帯の貯蓄有無(単位:%)

		総数(人)	計	ある	ない	無回答
全体		17,302,654	100.0	60.6	26.3	13.1
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	58.9	28.7	12.4
	65～69歳	9,668,578	100.0	61.9	24.5	13.6
男性計		8,467,638	100.0	61.0	25.9	13.0
	60～64歳	3,780,235	100.0	58.9	28.7	12.4
	65～69歳	4,687,403	100.0	62.7	23.7	13.6
女性計		8,835,016	100.0	60.2	26.7	13.1
	60～64歳	3,853,841	100.0	59.0	28.7	12.3
	65～69歳	4,981,175	100.0	61.1	25.2	13.7

図表 2-143 現在の世帯の貯蓄額(単位:%)

		総数(人)	計	30万円以下	31万円以上 50万円以下	51万円以上 100万円以下	101万円以上 300万円以下	301万円以上 500万円以下	501万円以上 1000万円以下	1001万円以上 2000万円以下	2001万円以上	無回答
全体		10,483,170	100.0	1.1	0.9	4.4	13.2	12.9	18.1	17.3	14.4	17.7
年齢階層	60～64歳	4,499,580	100.0	1.1	1.1	4.5	14.4	11.7	18.7	16.8	15.8	15.9
	65～69歳	5,983,590	100.0	1.0	0.7	4.4	12.2	13.9	17.7	17.6	13.4	19.1
男性計		5,166,703	100.0	0.9	1.2	5.2	12.0	13.5	18.9	18.3	16.4	13.7
	60～64歳	2,226,048	100.0	0.7	1.6	5.6	12.5	12.0	18.5	18.9	18.7	11.3
	65～69歳	2,940,654	100.0	1.0	0.8	4.8	11.6	14.6	19.2	17.8	14.6	15.6
女性計		5,316,467	100.0	1.2	0.6	3.7	14.3	12.4	17.3	16.3	12.5	21.6
	60～64歳	2,273,531	100.0	1.6	0.5	3.4	16.3	11.4	18.9	14.7	12.9	20.4
	65～69歳	3,042,936	100.0	1.0	0.7	4.0	12.9	13.2	16.2	17.5	12.2	22.4

注: サンプル数は図表2-142で、世帯貯蓄が「ある」と回答した者である。

全ての調査対象者について、世帯の借入金の有無をみると、「ある」が 22.5%、「ない」が 73.9%となっている。具体的な借入金額については、「101 万円以上 300 万円以下」(18.4%)、「501 万円以上 1,000 万円以下」(15.9%)、「1,001 万円以上 2000 万円以下」(11.0%)、「51 万円以上 100 万円以下」(10.1%) の順に多い。(図表 2-144、2-145)

図表 2-144 現在の世帯の借入金の有無(単位:%)

		総数(人)	計	ある	ない	無回答
全体		17,302,654	100.0	22.5	73.9	3.6
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	26.1	69.9	4.0
	65～69歳	9,668,578	100.0	19.6	77.1	3.3
男性計		8,467,638	100.0	26.2	70.2	3.5
	60～64歳	3,780,235	100.0	31.0	64.8	4.2
	65～69歳	4,687,403	100.0	22.3	74.7	3.0
女性計		8,835,016	100.0	18.9	77.4	3.7
	60～64歳	3,853,841	100.0	21.3	74.8	3.8
	65～69歳	4,981,175	100.0	16.9	79.4	3.6

図表 2-145 現在の世帯の借入金額(単位:%)

		総数(人)	計	30万円以下	31万円以上 50万円以下	51万円以上 100万円以下	101万円以上 300万円以下	301万円以上 500万円以下	501万円以上 1000万円以下	1001万円以上 2000万円以下	2001万円 以上	無回答
全体		3,886,660	100.0	2.6	4.2	10.1	18.4	9.5	15.9	11.0	6.3	22.0
年齢階層	60～64歳	1,996,201	100.0	3.9	2.4	10.3	19.3	10.1	18.4	11.5	5.9	18.2
	65～69歳	1,890,459	100.0	1.2	6.1	9.8	17.4	8.9	13.3	10.5	6.6	26.1
男性計		2,220,608	100.0	3.2	3.2	9.5	18.2	10.9	15.5	12.2	6.9	20.3
	60～64歳	1,173,735	100.0	4.1	3.1	9.0	15.9	13.1	17.2	13.1	7.6	16.9
	65～69歳	1,046,873	100.0	2.2	3.4	10.1	20.8	8.4	13.5	11.2	6.2	24.2
女性計		1,666,052	100.0	1.8	5.5	10.8	18.6	7.6	16.5	9.4	5.4	24.3
	60～64歳	822,466	100.0	3.6	1.4	12.1	24.3	5.7	20.0	9.3	3.6	20.0
	65～69歳	843,586	100.0	-	9.5	9.5	13.1	9.5	13.1	9.5	7.1	28.6

注: サンプル数は図表2-144で、世帯に借入金が「ある」と回答した者である。

さらに、借入金があると回答した人に、住宅ローン返済の有無について尋ねたところ、「ある」が52.3%、「ない」が44.6%となっている。具体的な返済金額について尋ねたところ、「501万円以上1,000万円以下」(24.5%)、「1,001万円以上2,000万円以下」(17.0%)、「101万円以上300万円以下」(14.9%)となっている。(図表2-146、2-147)

図表 2-146 借入金のうち、住宅ローンの返済の有無(単位:%)

		総数(人)	計	ある	ない	無回答
全体		3,886,660	100.0	52.3	44.6	3.0
年齢階層	60～64歳	1,996,201	100.0	56.2	41.3	2.5
	65～69歳	1,890,459	100.0	48.3	48.1	3.6
男性計		2,220,608	100.0	53.2	45.1	1.7
	60～64歳	1,173,735	100.0	54.5	43.8	1.7
	65～69歳	1,046,873	100.0	51.7	46.6	1.7
女性計		1,666,052	100.0	51.2	44.0	4.8
	60～64歳	822,466	100.0	58.6	37.9	3.6
	65～69歳	843,586	100.0	44.0	50.0	6.0

注: サンプル数は図表2-144で、世帯に借入金が「ある」と回答した者である。

図表 2-147 借入金のうち、住宅ローンの返済金額(単位:%)

		総数(人)	計	30万円以下	31万円以上50万円以下	51万円以上100万円以下	101万円以上300万円以下	301万円以上500万円以下	501万円以上1000万円以下	1001万円以上2000万円以下	2001万円以上	無回答
全体		2,033,873	100.0	7.7	0.2	4.6	14.9	11.3	24.5	17.0	7.4	12.4
年齢階層	60～64歳	1,121,213	100.0	7.1	0.4	4.8	14.7	11.4	26.1	17.4	8.0	9.9
	65～69歳	912,660	100.0	8.5	-	4.3	15.2	11.1	22.5	16.5	6.5	15.4
男性計		1,180,563	100.0	8.8	0.3	4.5	14.0	11.4	24.8	18.1	7.6	10.4
	60～64歳	639,483	100.0	8.9	0.6	3.8	12.0	14.6	24.7	17.7	9.5	8.2
	65～69歳	541,080	100.0	8.7	-	5.4	16.3	7.6	25.0	18.5	5.4	13.0
女性計		853,310	100.0	6.3	-	4.6	16.2	11.2	24.1	15.5	7.0	15.1
	60～64歳	481,730	100.0	4.9	-	6.1	18.3	7.3	28.0	17.1	6.1	12.2
	65～69歳	371,580	100.0	8.1	-	2.7	13.5	16.2	18.9	13.5	8.1	18.9

注: サンプル数は図表2-146で借入金のうち住宅ローンの返済に当たる部分が「ある」と回答した者である。

最後に全ての調査対象者に対して、現在の住まいについて尋ねたところ、「持ち家」が85.0%と最も多く、これに「借家・民間賃貸マンション」(9.5%)、「公営・公団賃貸住宅」(3.4%)がつづく。(図表2-148)

図表 2-148 現在の住まい(単位:%)

		総数(人)	計	持ち家	公営・公団賃貸住宅	借家・民間賃貸マンション	社宅・寮	その他	無回答
全体		17,302,654	100.0	85.0	3.4	9.5	0.4	0.3	1.4
年齢階層	60～64歳	7,634,076	100.0	83.6	3.1	10.7	0.7	0.4	1.5
	65～69歳	9,668,578	100.0	86.1	3.6	8.6	0.2	0.3	1.3
男性計		8,467,638	100.0	83.8	3.3	10.2	0.7	0.3	1.7
	60～64歳	3,780,235	100.0	82.3	3.3	11.0	1.2	0.4	1.7
	65～69歳	4,687,403	100.0	85.1	3.3	9.5	0.4	0.1	1.6
女性計		8,835,016	100.0	86.1	3.4	8.8	0.1	0.4	1.1
	60～64歳	3,853,841	100.0	84.9	2.9	10.4	0.3	0.3	1.2
	65～69歳	4,981,175	100.0	87.1	3.8	7.7	-	0.4	1.0

第3章 調査結果の概要（2）（2014年調査との比較）

1 現在の就業・生活状況

（1）現在の就業状況

（就業割合は総じて上昇）

回答者全員のうち、60代の人々の現在（2019年6月1日）の就業（仕事）の有無をみると、「仕事をした」が59.0%で、過半数の人が就業していた。年齢層別には60～64歳層が70.2%であるのに対して65～69歳層は50.1%と20ポイント程度低くなっている。男女別には男性が69.1%、女性が49.3%で20ポイント程度男性の方が高くなっている。

2014年調査との比較では、全体的に就業割合は上昇しており、年齢層別では60～64歳層が8ポイント程度上昇し、男女別では男女ともに4ポイント程度上昇している。（図表3-1）

図表3-1 調査時点での就業（仕事）の有無

〈2019年調査＝2019年6月について〉						〈2014年調査＝2014年6月について〉					
	総数 (千人)	計	した	しなかった	無回答		総数 (千人)	計	した	しなかった	無回答
男女計	17,303	100.0	59.0	41.0	-	男女計	18,199	100.0	55.4	44.4	0.2
60～64歳	7,634	100.0	70.2	29.8	-	60～64歳	9,650	100.0	62.6	37.3	0.1
65～69歳	9,669	100.0	50.1	49.9	-	65～69歳	8,549	100.0	47.3	52.4	0.3
男性計	8,468	100.0	69.1	30.9	-	男性計	8,861	100.0	65.8	34.0	0.2
男性・60～64歳	3,780	100.0	80.8	19.2	-	男性・60～64歳	4,761	100.0	74.7	25.1	0.1
男性・65～69歳	4,687	100.0	59.6	40.4	-	男性・65～69歳	4,100	100.0	55.4	44.3	0.4
女性計	8,835	100.0	49.3	50.7	-	女性計	9,337	100.0	45.5	54.3	0.2
女性・60～64歳	3,854	100.0	59.8	40.2	-	女性・60～64歳	4,889	100.0	50.7	49.1	0.2
女性・65～69歳	4,981	100.0	41.1	58.9	-	女性・65～69歳	4,448	100.0	39.8	60.0	0.2

（注）「仕事をした」には、仕事をもって当該月に休職・休業していた場合を含む。

（就業者中の雇用者である割合もやや上昇）

就業している人の従業上の地位・形態別の構成をみると、「会社、団体などに雇われて仕事をしてきた」（雇用者）が65.0%を占め、次いで「商店、工場、農家などの自家営業や自由業であった」（自営業主）が11.9%、「会社、団体などの役員であった」（会社経営・役員）が11.5%などとなっている。

年齢層別にみると、60～64歳層に比べ65～69歳層では雇用者の割合が低く、代わって自営業主の割合が高くなっている。また、「シルバー人材センターを通じて仕事をしてきた」や「家業の手伝いをしてきた」が、数%の水準であるが65～69歳層では高くなっている。男女別にみると、雇用者割合は同程度（男性64.7%、女性65.4%）であるが、男性はこれに会社経営・役員（14.3%）、自営業（13.3%）がつづくのに対し、女性は自営業（10.1%）、家業の手伝い（9.3%）がつづく。

2014年調査との比較では、雇用者の割合が6ポイント程度上昇し、その一方で自営業主

の割合が6ポイント程度低下するなどの変化が見られる。

2014年調査と比べた雇用者割合の上昇を男女別・年齢層別にみると、男性では60～64歳層、65～69歳層とも8ポイント程度の上昇、女性では60～64歳層は5ポイント程度の上昇、65～69歳層は7ポイントの上昇となっている。(図表3-2)

図表3-2 調査時点でしていた仕事の従業上の地位・形態

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	会社、団体 などに雇わ れて仕事を していた	会社、団体 などの役員 (会社経 営、役員 等)であった	商店、工 場、農家な どの自家営 業や自由業 であった	近所の人や 会社などに 頼まれて、 任意で行う 仕事をして いた	シルバー人 材センター を通じて仕 事をしてい た	家庭で内職 をしていた	家業(自家 営業)の手 伝いをして いた	無回答
男女計	10,201	100.0	65.0	11.5	11.9	1.8	1.9	1.3	5.5	1.1
60～64歳	5,359	100.0	71.7	10.1	9.9	1.8	1.1	0.8	3.5	1.2
65～69歳	4,842	100.0	57.6	13.0	14.2	1.9	2.9	1.8	7.7	1.0
男性計	5,849	100.0	64.7	14.3	13.3	2.0	2.2	0.4	2.6	0.6
男性・60～64歳	3,056	100.0	70.7	12.8	11.1	1.6	0.9	0.1	1.7	0.9
男性・65～69歳	2,794	100.0	58.1	15.8	15.6	2.5	3.6	0.6	3.6	0.2
女性計	4,352	100.0	65.4	7.8	10.1	1.5	1.6	2.6	9.3	1.7
女性・60～64歳	2,303	100.0	73.0	6.4	8.2	2.0	1.3	1.8	5.9	1.5
女性・65～69歳	2,049	100.0	56.9	9.3	12.3	1.0	2.0	3.4	13.2	2.0

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	会社、団体 などに雇わ れて仕事を していた	会社、団体 などの役員 (会社経 営、役員 等)であった	商店、工 場、農家な どの自家営 業や自由業 であった	近所の人や 会社などに 頼まれて、 任意で行う 仕事をして いた	シルバー人 材センター を通じて仕 事をしてい た	家庭で内職 をしていた	家業(自家 営業)の手 伝いをして いた	無回答
男女計	10,081	100.0	58.8	8.8	18.0	3.0	2.8	0.9	6.7	1.0
60～64歳	6,040	100.0	64.6	9.3	14.1	2.1	1.2	1.0	6.8	1.0
65～69歳	4,041	100.0	50.2	8.0	23.9	4.3	5.2	0.9	6.5	0.9
男性計	5,829	100.0	57.7	12.3	20.1	2.5	2.9	0.3	3.4	0.8
男性・60～64歳	3,559	100.0	62.3	13.0	17.2	1.4	1.4	0.4	3.6	0.7
男性・65～69歳	2,271	100.0	50.4	11.2	24.8	4.2	5.2	0.2	3.1	0.8
女性計	4,252	100.0	60.4	3.9	15.2	3.7	2.7	1.7	11.2	1.2
女性・60～64歳	2,481	100.0	67.8	3.9	9.7	3.2	0.8	1.7	11.4	1.4
女性・65～69歳	1,771	100.0	49.9	3.9	22.9	4.4	5.3	1.7	11.0	0.9

(2) 雇用者の就業条件・就業環境

(雇用期間の定め)

調査時点で雇用者であった人の就業条件のうち、雇用契約期間については、「特に定められていない」(無期契約)が36.4%である一方、「1年」(37.4%)をはじめとする有期契約であ

る人が6割超を占めている。年齢層別にみると、65～69歳層に比べ60～64歳層は無期契約である割合が低い（33.5%）一方で、「1年」、「1年を超え5年以内」である割合が高くなっている。また、男女別にみると、現在雇用されている人に占める割合であることに留意する必要があるが、男性の方が無期契約である割合が低くなっている。

2014年調査と比較すると、無期契約である割合が低下し（45.1%→36.4%）、1年を中心とした有期契約の割合が上昇している。この傾向は、60～64歳層、65～69歳層の両方に見られる。（図表3-3）

図表 3-3 雇用契約上の雇用期間

〈2019年調査〉 (％)

	総数 (千人)	計	1ヶ月以内 (日雇いを 含む)	1ヶ月を超 え1年未満	1年	1年を超え 5年以内	特に定めら れていない	無回答
男女計	6,630	100.0	0.7	13.1	37.4	11.4	36.4	1.0
60～64歳	3,841	100.0	0.7	12.3	38.8	13.6	33.5	1.2
65～69歳	2,788	100.0	0.7	14.1	35.6	8.4	40.4	0.6
男性計	3,785	100.0	0.4	10.9	41.2	15.5	31.0	0.9
男性・60～64歳	2,161	100.0	0.7	8.8	40.6	19.5	29.6	0.7
男性・65～69歳	1,623	100.0	-	13.8	42.0	10.1	33.0	1.1
女性計	2,845	100.0	1.1	15.9	32.4	6.0	43.5	1.0
女性・60～64歳	1,680	100.0	0.7	16.8	36.4	5.9	38.5	1.7
女性・65～69歳	1,165	100.0	1.7	14.7	26.7	6.0	50.9	-

〈2014年調査〉 (％)

	総数 (千人)	計	1ヶ月以内 (日雇いを 含む)	1ヶ月を超 え1年未満	1年	1年を超え 5年以内	特に定めら れていない	無回答
男女計	5,927	100.0	0.7	11.3	28.4	13.5	45.1	1.1
60～64歳	3,899	100.0	0.4	11.8	29.9	15.7	40.6	1.6
65～69歳	2,028	100.0	1.3	10.2	25.5	9.2	53.8	-
男性計	3,361	100.0	0.8	10.2	32.6	16.7	38.9	0.8
男性・60～64歳	2,217	100.0	0.4	8.3	35.2	20.2	34.7	1.2
男性・65～69歳	1,144	100.0	1.8	13.8	27.5	9.9	47.0	-
女性計	2,566	100.0	0.5	12.6	22.9	9.3	53.2	1.5
女性・60～64歳	1,682	100.0	0.4	16.4	22.9	9.8	48.2	2.3
女性・65～69歳	884	100.0	0.8	5.5	22.9	8.3	62.5	-

（所定勤務時間の形態）

所定勤務時間の形態についてみると、「普通勤務（フルタイム勤務）」が50.6%と過半数を

占める一方、「普通勤務より1日当たりの労働時間が短い」(16.0%)、「普通勤務より1週間当たりの勤務日数が少ない」(9.8%)、「普通勤務より1日当たりの労働時間が短く1週間当たりの勤務日数も少ない」(14.1%)などの短時間の勤務も半数近くを占めている。

フルタイム勤務の割合は、男性では60～64歳層(77.0%)に比べ65～69歳層(46.0%)は30ポイント程度低くなるが、女性では7ポイント程度の低下(36.0%→29.3%)にとどまる。

2014年調査と比較すると、特に男性の60～64歳層の「普通勤務(フルタイム勤務)」が67.5%から77.0%へと10ポイント程度増加している。(図表3-4)

図表3-4 現在の仕事の所定勤務時間の形態(雇用されて働いている人)

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	普通勤務 (フルタイム 勤務)	普通勤務より 1日当たりの 労働時間が 短い	普通勤務より 1週間当 たりの勤務 日数が少な い	普通勤務より 1日当たり の労働時間 が短く、1週 間当たりの 勤務日数も 少ない	勤務日と時 間帯を弾力 的に設定で きるフレック ス勤務	在宅勤務・ テレワーク	その他	無回答
男女計	6,630	100.0	50.6	16.0	9.8	14.1	4.7	0.5	3.3	0.9
60～64歳	3,841	100.0	59.1	14.7	9.4	9.5	3.0	0.1	3.5	0.8
65～69歳	2,788	100.0	39.0	17.8	10.4	20.4	7.1	1.1	3.1	1.0
男性計	3,785	100.0	63.7	9.5	8.8	10.4	4.0	0.4	2.4	0.8
男性・60～64歳	2,161	100.0	77.0	7.1	7.5	3.6	1.5	0.2	2.6	0.6
男性・65～69歳	1,623	100.0	46.0	12.7	10.5	19.6	7.2	0.7	2.2	1.1
女性計	2,845	100.0	33.3	24.7	11.3	18.9	5.7	0.7	4.4	1.0
女性・60～64歳	1,680	100.0	36.0	24.5	11.9	17.1	4.9	-	4.5	1.0
女性・65～69歳	1,165	100.0	29.3	25.0	10.3	21.6	6.9	1.7	4.3	0.9

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	普通勤務 (フルタイム 勤務)	普通勤務より 1日当たりの 労働時間が 短い	普通勤務より 1週間当 たりの勤務 日数が少な い	普通勤務より 1日当たり の労働時間 が短く、1週 間当たりの 勤務日数も 少ない	勤務日と時 間帯を弾力 的に設定で きるフレック ス勤務	在宅勤務・ テレワーク	その他	無回答
男女計	5,927	100.0	48.0	17.4	11.0	14.8	4.4	0.7	3.3	0.3
60～64歳	3,899	100.0	52.6	18.3	9.6	11.8	3.7	0.7	2.9	0.4
65～69歳	2,028	100.0	39.1	15.8	13.8	20.6	5.5	0.6	4.3	0.2
男性計	3,361	100.0	60.2	9.6	13.4	9.9	3.3	0.5	2.6	0.4
男性・60～64歳	2,217	100.0	67.5	10.3	11.2	6.0	2.0	0.1	2.5	0.4
男性・65～69歳	1,144	100.0	46.1	8.2	17.6	17.7	6.0	1.1	2.9	0.4
女性計	2,566	100.0	32.0	27.7	7.9	21.3	5.7	0.9	4.3	0.2
女性・60～64歳	1,682	100.0	33.0	28.8	7.4	19.6	6.1	1.4	3.4	0.3
女性・65～69歳	884	100.0	30.1	25.6	9.0	24.4	4.9	-	6.0	-

（雇用形態）

雇用形態についてみると、正社員は2割程度(21.4%)であり、パート・アルバイトが40.7%、嘱託が15.2%、契約社員14.4%などとなっている。ただし、男女別に大きな違いがみられ、男性では正社員の割合(29.3%)の方がパート・アルバイトの割合(22.4%)より高くなっている。一方、女性では正社員(11.0%)の割合が低い一方、パート・アルバイトが64.9%と3分の2近くを占めている。年齢層別にみると、60～64歳層に比べ65～69歳層では正社員の割合が12ポイント程度低くなり(26.4%→14.6%)、これに代わりパート・アルバイトの割合が14ポイント程度高くなっている(34.6%→49.0%)。

2014年調査と比べると、男性の60～64歳層の正社員(31.7%→37.1%)と65～69歳層の契約社員(12.1%→22.5%)で割合が高くなっている。(図表3-5)

図表3-5 現在の仕事の雇用形態(雇用されて働いている人)

〈2019年調査〉		(%)							
	総数 (千人)	計	正社員	パート・ アルバイト	嘱託	契約社員	派遣労働者	その他	無回答
男女計	6,630	100.0	21.4	40.7	15.2	14.4	2.7	4.7	0.9
60～64歳	3,841	100.0	26.4	34.6	18.2	13.6	2.9	3.3	0.9
65～69歳	2,788	100.0	14.6	49.0	11.1	15.6	2.3	6.6	0.8
男性計	3,785	100.0	29.3	22.4	21.3	20.0	2.2	3.8	1.0
男性・60～64歳	2,161	100.0	37.1	13.7	24.0	18.2	2.2	3.7	1.1
男性・65～69歳	1,623	100.0	18.8	34.1	17.8	22.5	2.2	4.0	0.7
女性計	2,845	100.0	11.0	64.9	7.1	7.0	3.3	5.9	0.8
女性・60～64歳	1,680	100.0	12.6	61.5	10.8	7.7	3.8	2.8	0.7
女性・65～69歳	1,165	100.0	8.6	69.8	1.7	6.0	2.6	10.3	0.9

〈2014年調査〉		(%)							
	総数 (千人)	計	正社員	パート・ アルバイト	嘱託	契約社員	派遣労働者	その他	無回答
男女計	5,927	100.0	23.3	42.8	16.4	11.4	1.6	3.4	1.0
60～64歳	3,899	100.0	25.5	39.6	17.0	10.9	2.0	3.7	1.2
65～69歳	2,028	100.0	19.1	49.0	15.2	12.3	0.9	2.8	0.7
男性計	3,361	100.0	28.9	25.4	24.1	14.5	1.7	4.4	0.9
男性・60～64歳	2,217	100.0	31.7	20.1	24.1	15.7	1.8	5.5	1.1
男性・65～69歳	1,144	100.0	23.9	35.7	24.0	12.1	1.6	2.2	0.5
女性計	2,566	100.0	15.8	65.6	6.4	7.4	1.5	2.1	1.2
女性・60～64歳	1,682	100.0	17.4	65.3	7.7	4.6	2.3	1.3	1.4
女性・65～69歳	884	100.0	12.8	66.3	3.9	12.6	-	3.6	0.9

(職業)

職業(大分類)をみると、「専門的・技術的な仕事」が24.2%、「サービスの仕事」が15.5%、「事務的な仕事」が10.6%などとなっている。年齢層別にみると、60～64歳層に比べ65～69歳層では、「サービスの仕事」の割合がやや高くなり、「専門的・技術的な仕事」や「事務的な仕事」がやや低くなっている。男女別には、「管理的な仕事」は男性の方が女性に比べて相対的に高く、また「輸送・機械運転の仕事」や「保安の仕事」は主に男性が従事している。一方、「サービスの仕事」や「販売の仕事」のほか、「生産工程の仕事」や「運搬・清掃・包装等の仕事」でも女性の方が相対的に高くなっている。(図表3-6)

2014年調査と比較すると、「管理的な仕事」や「保安の仕事」の割合の低下がみられる。ただし、2019年調査では選択肢に「その他」を追加していることに留意する必要がある。

図表3-6 現在の仕事の職種(雇用されて働いている人)

〈2019年調査〉		(%)													
	総数 (千人)	計	管理的な 仕事	専門的・ 技術的な 仕事	事務的な 仕事	販売の 仕事	サービス の仕事	保安の 仕事	農林漁業 の仕事	生産工程 の仕事	輸送・ 機械運転 の仕事	建設・ 探掘の 仕事	運搬・清掃・ 包装等の 仕事	その他	無回答
男女計	6,630	100.0	5.9	24.2	10.6	7.0	15.5	1.9	0.8	9.0	3.8	2.5	7.5	10.6	0.8
60～64歳	3,841	100.0	5.7	26.7	12.9	7.5	13.2	1.6	0.5	9.3	3.7	1.6	7.2	9.5	0.4
65～69歳	2,788	100.0	6.3	20.8	7.5	6.3	18.5	2.3	1.1	8.5	3.8	3.6	7.9	12.1	1.4
男性計	3,785	100.0	9.4	25.6	10.0	5.8	12.2	3.2	0.6	7.6	6.1	4.1	5.7	9.0	0.6
男性・60～64歳	2,161	100.0	8.8	29.6	12.0	5.8	10.5	2.6	0.6	8.4	5.8	2.6	5.4	7.7	0.2
男性・65～69歳	1,623	100.0	10.1	20.3	7.2	5.8	14.5	4.0	0.7	6.5	6.5	6.2	6.2	10.9	1.1
女性計	2,845	100.0	1.4	22.5	11.4	8.6	19.8	0.2	0.9	10.8	0.6	0.2	9.8	12.7	1.1
女性・60～64歳	1,680	100.0	1.7	23.1	14.0	9.8	16.8	0.3	0.3	10.5	1.0	0.3	9.4	11.9	0.7
女性・65～69歳	1,165	100.0	0.9	21.6	7.8	6.9	24.1	-	1.7	11.2	-	-	10.3	13.8	1.7

〈2014年調査〉		(%)													
	総数 (千人)	計	管理的な 仕事	専門的・ 技術的な 仕事	事務的な 仕事	販売の 仕事	サービス の仕事	保安の 仕事	農林漁業 の仕事	生産工程 の仕事	輸送・ 機械運転 の仕事	建設・ 探掘の 仕事	運搬・清掃・ 包装等の 仕事	無回答	
男女計	5,927	100.0	8.8	25.0	11.2	8.4	16.6	2.8	1.2	7.5	5.5	3.1	8.3	1.5	
60～64歳	3,899	100.0	9.1	25.4	12.6	8.2	15.4	2.7	0.5	8.9	5.3	3.4	7.5	1.0	
65～69歳	2,028	100.0	8.5	24.3	8.6	8.6	19.0	3.1	2.5	4.9	5.7	2.6	9.7	2.4	
男性計	3,361	100.0	12.5	28.2	8.4	5.5	12.6	5.0	1.1	5.3	9.6	5.5	5.2	1.0	
男性・60～64歳	2,217	100.0	12.9	28.7	10.0	5.0	10.8	4.7	0.6	6.4	9.4	5.9	5.1	0.5	
男性・65～69歳	1,144	100.0	11.8	27.2	5.4	6.6	16.2	5.5	2.1	3.2	10.1	4.7	5.3	2.0	
女性計	2,566	100.0	4.0	20.9	14.8	12.1	21.9	-	1.3	10.5	-	-	12.4	2.2	
女性・60～64歳	1,682	100.0	3.9	21.1	15.9	12.5	21.5	-	0.3	12.2	-	-	10.8	1.7	
女性・65～69歳	884	100.0	4.2	20.5	12.7	11.3	22.6	-	3.1	7.1	-	-	15.4	3.0	

（企業規模）

勤め先の従業員規模をみると、60～64歳層に比べ65～69歳層では、1,000人以上の規模の割合が低下し、30人未満の規模の割合が増加している。

2014年調査と比較すると、男性において1,000人以上の規模の割合が増加している。（図表3-7）

図表3-7 勤務先の従業員規模（雇用されて働いている人）

〈2019年調査〉

	総数 (千人)	計	4人以下	5～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～ 299人	300～ 499人	500～ 999人	1,000～ 4,999人	5,000人 以上	官公庁	無回答
男女計	6,630	100.0	4.1	7.6	14.7	9.9	11.5	16.1	6.7	6.6	8.9	7.0	4.7	2.3
60～64歳	3,841	100.0	3.7	4.9	13.9	9.4	11.3	16.7	7.1	6.8	9.9	9.0	5.5	1.8
65～69歳	2,788	100.0	4.7	11.4	15.7	10.4	11.8	15.3	6.2	6.4	7.3	4.2	3.5	3.1
男性計	3,785	100.0	4.2	7.8	15.5	9.1	9.9	15.8	7.0	6.3	10.9	7.2	5.0	1.4
男性・60～64歳	2,161	100.0	4.1	5.4	13.9	8.1	8.6	15.4	7.1	8.2	11.4	10.5	6.6	0.7
男性・65～69歳	1,623	100.0	4.3	10.9	17.8	10.5	11.6	16.3	6.9	3.6	10.1	2.9	2.9	2.2
女性計	2,845	100.0	4.0	7.4	13.6	10.8	13.6	16.6	6.2	7.1	6.2	6.6	4.2	3.6
女性・60～64歳	1,680	100.0	3.1	4.2	14.0	11.2	14.7	18.5	7.0	4.9	8.0	7.0	4.2	3.1
女性・65～69歳	1,165	100.0	5.2	12.1	12.9	10.3	12.1	13.8	5.2	10.3	3.4	6.0	4.3	4.3

〈2014年調査〉

	総数 (千人)	計	4人以下	5～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～ 299人	300～ 499人	500～ 999人	1,000～ 4,999人	5,000人 以上	官公庁	無回答
男女計	5,927	100.0	5.6	9.1	16.8	10.1	10.7	12.9	6.5	5.3	9.4	6.0	4.2	3.3
60～64歳	3,899	100.0	5.3	8.1	14.7	10.1	10.3	12.0	8.0	5.0	10.3	8.0	5.1	3.1
65～69歳	2,028	100.0	6.2	11.1	20.8	10.1	11.6	14.7	3.7	6.0	7.6	2.0	2.7	3.6
男性計	3,361	100.0	5.5	8.7	14.4	9.1	11.5	14.9	7.6	6.9	10.1	6.1	4.2	1.2
男性・60～64歳	2,217	100.0	4.6	8.0	14.6	9.1	11.0	12.2	8.5	6.5	11.1	8.5	4.7	1.2
男性・65～69歳	1,144	100.0	7.1	10.1	13.8	9.2	12.4	20.0	5.8	7.6	8.2	1.6	3.2	1.2
女性計	2,566	100.0	5.9	9.6	19.9	11.4	9.8	10.4	5.2	3.3	8.5	5.8	4.3	6.0
女性・60～64歳	1,682	100.0	6.3	8.2	14.8	11.5	9.4	11.7	7.4	3.0	9.3	7.5	5.6	5.6
女性・65～69歳	884	100.0	5.1	12.3	29.7	11.3	10.5	7.9	0.9	3.9	6.9	2.6	2.0	6.7

（1か月の労働日数）

2019年6月中に働いた日数の実績をみると、「20～24日」（53.2%）が過半数を占め、これに次いで「15～19日」（18.5%）が比較的多くなっている。

年齢層別には60～64歳層では「20～24日」が過半数を占めているのに対して、65～69歳層では「10～19日」（37.3%）で4割近くを占めており、年齢が高まるとともに労働日数が減少していることがうかがわれる。また、男女別には、女性の方が労働日数が少なくなっている。

2014年調査と比較すると、65～69歳層で「10～14日」の割合が増加している。ただし、2019年6月の土日祝日を除いた労働日が20日、2014年6月の労働日が21日であることに留意する必要がある。（図表3-8）

図表 3-8 1か月の労働日数(雇用されて働いている人)

〈2019年調査／2019年6月分〉

(%)

	該当者数 (千人)	計	4日以下	5～9日	10～14日	15～19日	20～24日	25日以上	無回答
男女計	6,630	100.0	2.8	3.7	12.2	18.5	53.2	9.0	0.6
60～64歳	3,841	100.0	2.0	3.0	7.7	18.2	58.3	10.3	0.6
65～69歳	2,788	100.0	3.8	4.8	18.3	19.0	46.2	7.2	0.6
男性計	3,785	100.0	1.9	3.4	9.4	16.6	58.4	9.8	0.6
男性・60～64歳	2,161	100.0	1.1	2.1	3.9	13.9	66.9	12.0	0.2
男性・65～69歳	1,623	100.0	2.9	5.1	16.7	20.3	47.1	6.9	1.1
女性計	2,845	100.0	4.0	4.2	15.9	21.1	46.2	7.9	0.6
女性・60～64歳	1,680	100.0	3.1	4.2	12.6	23.8	47.2	8.0	1.0
女性・65～69歳	1,165	100.0	5.2	4.3	20.7	17.2	44.8	7.8	0.0

〈2014年調査／2014年6月分〉

(%)

	該当者数 (千人)	計	4日以下	5～9日	10～14日	15～19日	20～24日	25日以上	無回答
男女計	5,927	100.0	3.7	4.5	10.9	15.8	53.7	9.6	1.8
60～64歳	3,899	100.0	2.5	3.5	9.9	14.5	57.5	10.5	1.7
65～69歳	2,028	100.0	6.0	6.3	12.8	18.5	46.4	7.9	2.1
男性計	3,361	100.0	3.8	3.6	11.2	14.7	55.6	9.7	1.4
男性・60～64歳	2,217	100.0	1.6	1.7	9.2	12.8	62.5	11.4	0.9
男性・65～69歳	1,144	100.0	8.1	7.3	15.2	18.3	42.1	6.6	2.4
女性計	2,566	100.0	3.5	5.6	10.4	17.4	51.4	9.4	2.3
女性・60～64歳	1,682	100.0	3.7	5.9	10.8	16.7	51.0	9.3	2.6
女性・65～69歳	884	100.0	3.2	5.0	9.7	18.7	52.0	9.7	1.8

〈月例賃金収入額〉

月例の賃金収入額を男女別にみると、男性では「20～30万円未満」の割合(26.9%)がもっとも多く、次いで「15万円以上20万円未満(18.7%)」、「10万円以上15万円未満(15.9%)」が多くなっている。男性を年齢層別にみると、60～64歳層では「20万円以上30万円未満(32.4%)」がもっとも多いのに対して、65～69歳層では「10万円以上15万円未満(22.1%)」がもっとも多く、次いで「20万円以上30万円未満(19.6%)」が多くなっている。女性では、両年齢層とも「5～10万円未満」がもっとも多くなっている。

2014年調査との比較では、60～64歳層で「15万円未満」の割合が若干減少し、「15万円以上」の割合が若干増加している。(図表3-9)

図表 3-9 賃金等収入(雇用されて働いている人)

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	50万円以上	無回答
男女計	6,630	100.0	7.9	21.0	18.8	15.7	19.3	9.4	2.6	5.4
60～64歳	3,841	100.0	4.3	17.5	17.0	17.2	23.4	11.6	3.8	5.2
65～69歳	2,788	100.0	12.9	25.8	21.2	13.5	13.6	6.4	1.0	5.7
男性計	3,785	100.0	3.9	10.2	15.9	18.7	26.9	15.3	4.3	4.8
男性・60～64歳	2,161	100.0	1.3	5.1	11.2	20.0	32.4	19.5	6.7	3.7
男性・65～69歳	1,623	100.0	7.2	17.0	22.1	17.0	19.6	9.8	1.1	6.2
女性計	2,845	100.0	13.2	35.4	22.6	11.6	9.1	1.5	0.4	6.2
女性・60～64歳	1,680	100.0	8.0	33.6	24.5	13.6	11.9	1.4	-	7.0
女性・65～69歳	1,165	100.0	20.7	37.9	19.8	8.6	5.2	1.7	0.9	5.2

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	50万円以上	無回答
男女計	5,927	100.0	10.3	20.5	18.8	14.4	19.7	7.3	2.0	7.0
60～64歳	3,899	100.0	8.2	18.5	18.7	16.0	20.9	8.7	2.3	6.7
65～69歳	2,028	100.0	14.2	24.4	19.1	11.3	17.3	4.6	1.5	7.6
男性計	3,361	100.0	5.9	9.8	18.4	18.3	27.4	10.9	3.3	6.0
男性・60～64歳	2,217	100.0	3.0	6.8	16.4	20.9	30.4	13.4	3.6	5.6
男性・65～69歳	1,144	100.0	11.5	15.6	22.4	13.3	21.4	6.2	2.6	6.9
女性計	2,566	100.0	16.0	34.6	19.3	9.3	9.6	2.4	0.4	8.4
女性・60～64歳	1,682	100.0	15.1	33.9	21.7	9.6	8.3	2.5	0.7	8.2
女性・65～69歳	884	100.0	17.7	35.8	14.8	8.8	11.9	2.4	-	8.6

(3) 就業の理由

(就業の理由)

調査時点で仕事をしている人に就業している動機を尋ねた結果(複数回答)をみると、「経済上の理由」が76.4%と群を抜いて多く、次いで「いきがい、社会参加のため」(33.4%)、「時間に余裕があるから」(22.6%)などとなっている。年齢層別にみると、60～64歳層に比べ65～69歳層では「経済上の理由」の割合が低くなり、「時間に余裕があるから」をはじめ他の理由が多くなっている。また、男女別には、「健康上の理由」は男性の方が多く、「いきがい、社会参加のため」などは女性の方が多くなっている。

2014年調査との比較では、「経済上の理由」や「いきがい、社会参加のため」の割合が増加し、「健康上の理由」や「頼まれたから」の割合が減少している。(図表3-10左側)これを雇用者として働いている人だけについても、同様の傾向が見られる。(図表3-10右側)

もっとも主な就業動機をあげてもらった結果をみると、「経済上の理由」(64.7%)がもっ

とも多いことなど総じて傾向に大きな違いはみられないが、2014年調査との比較において、男女ともに「経済上の理由」の割合が増加するとともに、女性で「いきがい、社会参加のため」の割合が減少している。(図表3-11)

図表 3-10 現在仕事をしている理由(調査時点で仕事をしている人)

＜仕事をしている人(就業者)＞ (複数回答、%)								＜うち雇われて働いている人(雇員)＞ (複数回答、%)												
調査年	性別	年齢	総数(千人)	計	経済上の理由	いきがい、社会参加のため(職歴に良いなど)	いきがい、社会参加のため	雇われたから	時間に余裕があるから	その他	無回答	総数(千人)	計	経済上の理由	いきがい、社会参加のため(職歴に良いなど)	いきがい、社会参加のため	雇われたから	時間に余裕があるから	その他	無回答
2019年調査	男女計		10,201	100.0	76.4	20.6	33.4	15.6	22.6	10.1	1.0	6,630	100.0	81.7	24.0	37.0	15.8	26.0	4.5	1.0
2019年調査	60～64歳		5,359	100.0	82.3	18.7	33.6	13.1	20.3	9.3	0.8	3,841	100.0	86.7	20.7	35.6	12.0	23.8	4.3	0.8
2019年調査	65～69歳		4,842	100.0	69.8	22.7	33.2	18.3	25.2	11.0	1.1	2,788	100.0	74.8	28.4	39.0	20.9	29.0	4.8	1.4
2019年調査	男性計		5,849	100.0	78.2	21.9	31.3	15.8	18.7	11.2	0.9	3,785	100.0	82.9	26.0	33.3	16.7	22.7	5.9	0.8
2019年調査	男性・60～64歳		3,056	100.0	84.5	18.4	29.7	12.7	14.2	10.3	0.7	2,161	100.0	87.8	21.9	30.3	12.2	17.8	6.0	0.6
2019年調査	男性・65～69歳		2,794	100.0	71.4	25.7	33.1	19.2	23.6	12.2	1.3	1,623	100.0	76.4	31.5	37.3	22.8	29.3	5.8	1.1
2019年調査	女性計		4,352	100.0	73.8	18.9	36.2	15.2	27.9	8.6	1.0	2,845	100.0	80.0	21.2	41.9	14.4	30.2	2.7	1.3
2019年調査	女性・60～64歳		2,303	100.0	79.3	19.1	38.8	13.5	28.3	7.9	1.0	1,680	100.0	85.3	19.2	42.3	11.9	31.5	2.1	1.0
2019年調査	女性・65～69歳		2,049	100.0	67.6	18.6	33.3	17.2	27.5	9.3	1.0	1,165	100.0	72.4	24.1	41.4	18.1	28.4	3.4	1.7
2014年調査	男女計		10,081	100.0	71.4	23.1	31.5	17.5	22.6	10.1	2.2	5,927	100.0	76.0	28.3	35.2	17.4	28.4	4.0	1.4
2014年調査	60～64歳		6,040	100.0	75.2	20.6	29.6	14.3	20.4	10.0	2.4	3,899	100.0	80.2	25.2	33.1	13.3	25.8	4.2	1.4
2014年調査	65～69歳		4,041	100.0	65.9	26.7	34.4	22.3	26.0	10.3	2.1	2,028	100.0	67.9	34.5	39.2	25.3	33.3	3.6	1.6
2014年調査	男性計		5,829	100.0	75.3	23.2	28.1	18.6	18.8	9.3	1.7	3,361	100.0	79.3	27.8	31.0	19.4	22.8	3.3	1.2
2014年調査	男性・60～64歳		3,559	100.0	80.0	20.5	28.2	14.1	15.4	8.8	2.0	2,217	100.0	84.4	24.5	29.0	13.4	18.6	3.8	1.0
2014年調査	男性・65～69歳		2,271	100.0	67.9	27.5	30.9	25.6	24.2	10.2	1.3	1,144	100.0	69.6	34.2	34.9	31.2	31.1	2.6	1.6
2014年調査	女性計		4,252	100.0	66.2	22.9	36.3	16.0	27.9	11.2	3.0	2,566	100.0	71.6	29.0	40.8	14.8	35.6	4.9	1.8
2014年調査	女性・60～64歳		2,481	100.0	68.2	20.9	34.5	14.7	27.5	11.7	2.9	1,682	100.0	74.7	26.0	38.6	13.3	35.3	4.9	1.9
2014年調査	女性・65～69歳		1,771	100.0	63.3	25.8	38.8	17.9	28.3	10.5	3.0	884	100.0	65.7	34.8	44.8	17.8	36.2	4.9	1.8

図表 3-11 現在仕事をしている理由のうち最も主要な理由(調査時点で仕事をしている人)

＜仕事をしている人(就業者)＞ (択一回答、%)								＜うち雇われて働いている人(雇員)＞ (択一回答、%)												
調査年	性別	年齢	総数(千人)	計	経済上の理由	いきがい、社会参加のため(職歴に良いなど)	いきがい、社会参加のため	雇われたから	時間に余裕があるから	その他	無回答	総数(千人)	計	経済上の理由	いきがい、社会参加のため(職歴に良いなど)	いきがい、社会参加のため	雇われたから	時間に余裕があるから	その他	無回答
2019年調査	男女計		10,201	100.0	64.7	3.3	11.0	5.5	5.3	7.8	2.5	6,630	100.0	70.0	3.3	11.5	4.6	6.0	2.7	1.9
2019年調査	60～64歳		5,359	100.0	70.1	2.7	9.9	4.7	3.8	6.9	2.0	3,841	100.0	75.8	2.6	9.4	3.7	4.6	2.6	1.4
2019年調査	65～69歳		4,842	100.0	58.6	4.0	12.2	6.4	7.0	8.8	3.0	2,788	100.0	62.0	4.2	14.5	5.9	7.9	3.0	2.6
2019年調査	男性計		5,849	100.0	65.9	3.6	9.5	5.3	4.2	8.8	2.7	3,785	100.0	71.1	4.1	9.2	5.0	5.1	3.5	2.1
2019年調査	男性・60～64歳		3,056	100.0	73.0	2.8	8.1	4.0	2.3	7.8	2.1	2,161	100.0	77.9	3.6	7.1	3.0	3.0	3.7	1.7
2019年調査	男性・65～69歳		2,794	100.0	58.1	4.4	11.2	6.7	6.3	9.9	3.4	1,623	100.0	62.0	4.7	12.0	7.6	8.0	3.3	2.5
2019年調査	女性計		4,352	100.0	63.0	3.0	12.9	5.7	6.8	6.4	2.1	2,845	100.0	68.6	2.2	14.6	4.1	7.1	1.7	1.7
2019年調査	女性・60～64歳		2,303	100.0	66.3	2.6	12.2	5.6	5.9	5.6	1.8	1,680	100.0	73.1	1.4	12.2	4.5	6.6	1.0	1.0
2019年調査	女性・65～69歳		2,049	100.0	59.3	3.4	13.7	5.9	7.8	7.4	2.5	1,165	100.0	62.1	3.4	18.1	3.4	7.8	2.6	2.6
2014年調査	男女計		10,081	100.0	58.8	3.9	12.2	7.6	4.7	8.0	4.8	5,927	100.0	62.8	4.7	13.4	6.5	6.0	2.9	3.7
2014年調査	60～64歳		6,040	100.0	63.4	3.4	10.4	6.0	4.4	7.5	4.9	3,899	100.0	68.1	4.3	11.0	4.4	5.6	3.0	3.6
2014年調査	65～69歳		4,041	100.0	51.9	4.5	14.9	10.1	5.2	8.7	4.6	2,028	100.0	52.5	5.6	17.8	10.5	6.9	2.6	4.1
2014年調査	男性計		5,829	100.0	63.7	4.3	8.7	7.3	3.9	7.9	4.2	3,361	100.0	68.1	5.6	8.6	6.6	5.4	2.6	3.2
2014年調査	男性・60～64歳		3,559	100.0	69.3	4.2	7.1	4.6	3.1	7.1	4.6	2,217	100.0	74.1	5.4	6.6	3.4	4.2	3.1	3.3
2014年調査	男性・65～69歳		2,271	100.0	54.8	4.6	11.1	11.7	5.2	9.2	3.5	1,144	100.0	56.4	5.8	12.4	12.7	7.6	1.8	3.2
2014年調査	女性計		4,252	100.0	52.0	3.2	17.1	8.0	5.8	8.1	5.7	2,566	100.0	55.8	3.6	19.8	6.4	6.9	3.2	4.4
2014年調査	女性・60～64歳		2,481	100.0	54.8	2.3	15.2	8.0	6.2	8.1	5.4	1,682	100.0	60.3	2.7	16.9	5.8	7.4	2.8	4.0
2014年調査	女性・65～69歳		1,771	100.0	48.2	4.5	19.7	8.1	5.2	8.1	6.1	884	100.0	47.5	5.3	24.9	7.5	5.9	3.8	5.1

(仕事の満足度)

現在の仕事に対する満足度をみると「普通」が47.2%を占めるが、それ以外の回答では、「大いに」及び「やや」を合わせて満足方向の割合が37.3%に対して、不満方向が14.6%と総じて満足とする方が多くなっている。年齢層別では大きな違いは見られないが、男女別には女性の方がやや満足方向の回答が多い傾向が見られる。

2014年調査と比較すると、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「大いに不満である」がそれぞれ少しずつ増加している。(図表3-12)

図表3-12 現在の仕事の満足度(調査時点で仕事をしている人)

〈2019年調査〉

(%)

	該当者数 (千人)	計	大いに満足 している	やや満足 している	普通	やや不満 である	大いに不満 である	無回答
男女計	10,201	100.0	14.6	22.7	47.2	11.2	3.4	1.0
60～64歳	5,359	100.0	14.7	22.2	47.6	11.0	3.9	0.6
65～69歳	4,842	100.0	14.6	23.2	46.8	11.3	2.7	1.4
男性計	5,849	100.0	14.3	20.8	48.4	11.4	3.9	1.2
男性・60～64歳	3,056	100.0	14.6	20.3	48.3	11.4	4.8	0.7
男性・65～69歳	2,794	100.0	14.1	21.5	48.4	11.4	2.9	1.7
女性計	4,352	100.0	15.0	25.1	45.7	10.8	2.6	0.7
女性・60～64歳	2,303	100.0	14.8	24.7	46.7	10.5	2.8	0.5
女性・65～69歳	2,049	100.0	15.2	25.5	44.6	11.3	2.5	1.0

〈2014年調査〉

(%)

	該当者数 (千人)	計	大いに満足 している	やや満足 している	普通	やや不満 である	大いに不満 である	無回答
男女計	10,000	100.0	15.4	20.2	44.6	9.7	3.0	7.2
60～64歳	6,005	100.0	14.6	19.7	43.9	11.1	3.2	7.4
65～69歳	3,994	100.0	16.5	20.9	45.6	7.5	2.7	7.0
男性計	5,779	100.0	15.1	20.7	44.1	9.6	4.1	6.4
男性・60～64歳	3,541	100.0	14.6	20.1	43.5	10.8	4.4	6.5
男性・65～69歳	2,238	100.0	15.9	21.6	45.1	7.6	3.6	6.2
女性計	4,220	100.0	15.7	19.4	45.2	9.8	1.5	8.4
女性・60～64歳	2,464	100.0	14.7	19.1	44.4	11.6	1.5	8.8
女性・65～69歳	1,756	100.0	17.1	19.9	46.3	7.3	1.5	7.9

(4) 現在仕事をしていない人の理由

(就業希望の有無)

調査時点で仕事をしていなかった人(図表3-1参照)に、その理由を尋ねた結果をみると、「仕事をしたいと思わなかった」(71.8%)が7割強を占め、「仕事をしたいと思いつながら仕事につけなかった」(26.4%)は3割弱となっている。「仕事をしたいと思いつながら仕事につけなかった」とする割合は、男女別には男性の方が7ポイント程度高く、また、男性の中では60～64歳層の方が14ポイント程度高くなっている。

2014年調査と比較すると、「仕事をしたいと思いながら仕事につけなかった」の割合は男性では各年齢層で2～5ポイント程度減少しているものの、女性では各年齢層で2～6ポイント程度増加している。(図表3-13)

図表 3-13 調査時点で仕事をしなかった理由（調査時点で仕事をしなかった人）

〈2019年調査〉						〈2014年調査〉					
	該当者数 (千人)	計	仕事をしたいと思いながら仕事につけなかった	仕事をしたいと思わなかった	無回答		該当者数 (千人)	計	仕事をしたいと思いながら仕事につけなかった	仕事をしたいと思わなかった	無回答
男女計	7,102	100.0	26.4	71.8	1.8	男女計	8,078	100.0	26.0	71.9	2.2
60～64歳	2,275	100.0	31.1	68.2	0.7	60～64歳	3,596	100.0	28.0	69.7	2.3
65～69歳	4,826	100.0	24.2	73.4	2.4	65～69歳	4,483	100.0	24.4	73.6	2.0
男性計	2,618	100.0	30.6	68.3	1.1	男性計	3,011	100.0	35.0	61.1	3.8
男性・60～64歳	724	100.0	40.8	58.7	0.6	男性・60～64歳	1,196	100.0	42.9	52.5	4.6
男性・65～69歳	1,894	100.0	26.7	72.0	1.2	男性・65～69歳	1,815	100.0	29.8	66.9	3.3
女性計	4,483	100.0	24.0	73.8	2.3	女性計	5,067	100.0	20.6	78.2	1.2
女性・60～64歳	1,551	100.0	26.5	72.7	0.8	女性・60～64歳	2,400	100.0	20.5	78.3	1.2
女性・65～69歳	2,932	100.0	22.6	74.3	3.1	女性・65～69歳	2,668	100.0	20.7	78.2	1.1

（仕事につけなかった理由）

就業希望のある人に仕事につけなかった主な理由を尋ねた結果をみると、本人の健康上の理由をあげたものが38.3%、家族の健康上の理由をあげたものが19.8%と両方で6割弱を占め、これと「適当な仕事が見つからなかった」（28.2%）が多くなっている。

2014年調査と比較すると、自分または家族の「健康上の理由」の割合がそれぞれ増加する一方で、「適当な仕事が見つからなかった」の割合は、男性の65～69歳層を除いて大幅に減少している。(図表3-14)

図表 3-14 仕事をしたいと思いながら仕事につけなかった主な理由
(調査時点で仕事をしたいと思いながら仕事につけなかった人)

〈2019年調査〉		〈2014年調査〉									
	総数 (千人)	計	適当な仕事が見つからなかった	起業・開業の準備中であつた	請負や内職の仕事の注文がこなかった	あなたの健康上の理由	家族の健康上の理由(介護等)	家庭の事情(左記を除く。家事など)	その他	無回答	
男女計	1,875	100.0	28.2	0.2	0.7	38.3	19.8	8.0	4.8	-	
60～64歳	707	100.0	25.9	0.6	1.1	35.0	28.7	6.7	2.0	-	
65～69歳	1,169	100.0	29.6	-	0.5	40.3	14.3	8.7	6.5	-	
男性計	801	100.0	36.8	0.5	1.7	42.6	11.4	1.5	5.4	-	
男性・60～64歳	295	100.0	30.1	1.4	2.7	47.9	15.1	0.0	2.7	-	
男性・65～69歳	506	100.0	40.7	-	1.2	39.5	9.3	2.3	7.0	-	
女性計	1,074	100.0	21.8	-	-	35.1	26.0	12.8	4.3	-	
女性・60～64歳	411	100.0	22.9	-	-	25.7	38.6	11.4	1.4	-	
女性・65～69歳	663	100.0	21.2	-	-	40.9	18.2	13.6	6.1	-	

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	適当な仕事 が見つから なかった	起業・開業 の準備中 であった	請負や内職 の仕事の 注文が こなかった	あなたの 健康上の 理由	家族の 健康上の 理由 (介護等)	家庭の事情 (左記を除 く。家事な ど)	その他	無回答
男女計	2,099	100.0	36.2	0.6	1.5	32.7	15.9	9.5	3.0	0.6
60～64歳	1,006	100.0	35.2	0.7	0.7	34.2	16.0	9.5	3.4	0.4
65～69歳	1,093	100.0	37.1	0.5	2.3	31.3	15.8	9.5	2.7	0.8
男性計	1,054	100.0	40.8	1.2	3.0	35.6	12.9	4.0	2.5	-
男性・60～64歳	513	100.0	43.0	1.4	1.3	35.7	12.2	3.5	3.0	-
男性・65～69歳	541	100.0	38.7	0.9	4.6	35.6	13.7	4.4	2.0	-
女性計	1,044	100.0	31.5	-	-	29.7	18.9	15.1	3.5	1.2
女性・60～64歳	493	100.0	27.0	-	-	32.6	20.0	15.8	3.7	0.7
女性・65～69歳	551	100.0	35.5	-	-	27.1	18.0	14.5	3.3	1.6

〈適当な仕事が見つからなかった理由〉

現在仕事をしていない理由として「適当な仕事が見つからなかった」とした人にその理由を尋ねた結果をみると、「職種が希望と合わなかった」が37.2%でもっとも多く、次いで「条件にこだわらないが、仕事がない」(26.5%)、「労働時間が希望と合わなかった」(14.6%)がつづいている。年齢層別にみると、「仕事がない」や「労働時間が合わない」は65～69歳層で、「職種が合わない」は60～64歳層で、また、男女別には、「仕事がない」は男性で、「職種が合わない」は女性でそれぞれ相対的に多くなっている。

2014年調査と比較すると、全体的に「仕事がない」がかなり低下する一方、男性の60～64歳層と女性で「職種が合わない」を挙げる割合が、男性の65～69歳層で「労働時間が合わない」をあげる割合がそれぞれ上昇している。(図表3-15)

図表 3-15 適当な仕事が見つからなかった主な理由

(調査時点で仕事をしなかった理由として適当な仕事が見つからなかったとした人)

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	職種が 希望と合 わなかった	労働時間が 希望と合 わなかった	賃金、報酬 が希望と合 わなかった	勤務場所が 希望と合 わなかった	条件に こだわら ないが、 仕事がない	その他	無回答
男女計	529	100.0	37.2	14.6	1.9	9.0	26.5	6.3	4.6
60～64歳	183	100.0	54.4	11.8	5.4	5.4	12.1	8.6	2.2
65～69歳	346	100.0	28.1	16.0	-	10.9	34.2	5.1	5.8
男性計	295	100.0	33.8	13.3	1.4	7.4	35.4	7.4	1.4
男性・60～64歳	89	100.0	59.1	4.5	4.5	4.5	18.2	4.5	4.5
男性・65～69歳	206	100.0	22.9	17.1	-	8.6	42.9	8.6	-
女性計	235	100.0	41.4	16.1	2.5	11.1	15.3	5.0	8.6
女性・60～64歳	940	100.0	50.0	18.8	6.3	6.3	6.3	12.5	-
女性・65～69歳	141	100.0	35.7	14.3	-	14.3	21.4	-	14.3

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	職種が 希望と合わ なかった	労働時間が 希望と合わ なかった	賃金、報酬 が希望と合 わなかった	通勤時間が 希望と合わ なかった	条件に こだわら ないが、 仕事がない	その他	無回答
男女計	759	100.0	30.1	16.1	4.1	1.5	37.6	4.7	5.8
60～64歳	354	100.0	36.0	19.0	8.8	-	25.7	4.4	6.1
65～69歳	405	100.0	24.9	13.5	-	2.9	48.1	5.0	5.7
男性計	430	100.0	36.1	9.1	6.0	1.2	36.2	5.1	6.4
男性・60～64歳	220	100.0	35.7	11.7	11.7	-	29.6	4.5	6.8
男性・65～69歳	210	100.0	36.4	6.4	-	2.4	43.0	5.7	6.0
女性計	329	100.0	22.2	25.2	1.6	2.0	39.6	4.3	5.1
女性・60～64歳	133	100.0	36.5	31.2	4.0	-	19.1	4.4	4.8
女性・65～69歳	196	100.0	12.5	21.1	-	3.4	53.6	4.2	5.3

〈仕事をしたいと思わない理由〉

調査時点で仕事をしておらず、仕事をしたいと思わないとする人に（図表3-13参照）、さらにその理由を尋ねた結果をみると、「自分の健康上の理由」（26.0%）と「家事などに専念したいから」（22.2%）が2割を超えており、次いで「趣味、社会活動に専念したいから」（14.8%）、「家族の健康上の理由」（11.1%）などがつづいている。これを男女別にみると、「家事などに専念したいから」は男性ではわずかで、女性で多くなっているのに対して、「趣味、社会活動に専念したいから」や「経済的に余裕があるから」は男性で相対的に割合が高くなっている。

2014年調査との比較では、自分または家族の「健康上の理由」が増加し、「経済的に余裕があるから」（注）が減少している。（図表3-16）

（注）2014年調査における「経済上の理由」は、年金等で生活できる、財産収入や蓄えがある、などを想定していたものであるが、2019年調査では、その趣旨を明確にするため、選択肢の文言を「経済的に余裕があるから」に改めた。

図表 3-16 仕事をしたいと思わない主な理由
(調査時点において無業で仕事をしたいと思わない人)

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	経済的に 余裕がある から	今までの技 能、経験が 通用しなく なったから	適当な就職 口がみつか らなくなった から	あなたの 健康上の 理由	家族の健康 上の理由 (介護など)	趣味、社会 活動に専念 したいから	家事などに 専念したい から	その他	無回答
男女計	5,097	100.0	9.7	2.8	7.1	26.0	11.1	14.8	22.2	4.1	2.2
60～64歳	1,553	100.0	8.5	2.1	6.5	23.7	13.1	9.9	29.3	4.2	2.8
65～69歳	3,544	100.0	10.2	3.1	7.3	27.0	10.2	17.0	19.1	4.0	2.0
男性計	1,789	100.0	14.3	5.1	13.9	27.2	8.1	21.1	2.4	6.0	2.1
男性・60～64歳	425	100.0	17.1	4.8	11.4	28.6	10.5	18.1	1.9	5.7	1.9
男性・65～69歳	1,364	100.0	13.4	5.2	14.7	26.7	7.3	22.0	2.6	6.0	2.2
女性計	3,307	100.0	7.2	1.6	3.4	25.4	12.7	11.4	32.9	3.1	2.3
女性・60～64歳	1,128	100.0	5.2	1.0	4.7	21.9	14.1	6.8	39.6	3.6	3.1
女性・65～69歳	2,179	100.0	8.3	1.8	2.8	27.2	12.0	13.8	29.5	2.8	1.8

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	経済上の 理由	今までの技 能、経験が 通用しなく なったから	適当な就職 口がみつか らなくなった から	あなたの 健康上の 理由	家族の健康 上の理由 (介護など)	趣味、社会 活動に専念 したいから	家事などに 専念したい から	その他	無回答
男女計	5,806	100.0	15.0	1.2	5.9	22.6	9.5	15.6	22.9	5.7	1.7
60～64歳	2,507	100.0	13.1	0.8	6.6	22.5	12.3	13.7	25.0	4.3	1.7
65～69歳	3,299	100.0	16.4	1.6	5.4	22.7	7.3	17.1	21.3	6.7	1.6
男性計	1,841	100.0	19.3	3.4	9.8	25.9	8.4	21.8	4.6	5.2	1.7
男性・60～64歳	627	100.0	15.8	1.8	11.8	27.7	7.5	21.1	7.1	4.9	2.4
男性・65～69歳	1,213	100.0	21.1	4.3	8.8	24.9	8.8	22.2	3.3	5.3	1.3
女性計	3,965	100.0	13.0	0.2	4.1	21.1	10.0	12.7	31.4	5.9	1.6
女性・60～64歳	1,879	100.0	12.1	0.5	4.9	20.8	13.9	11.2	31.0	4.2	1.4
女性・65～69歳	2,086	100.0	13.7	-	3.4	21.3	6.4	14.1	31.7	7.5	1.8

(5) 家計の状況

(生計をまかなう主たる収入源)

世帯の生計をまかなう主たる収入源をみると、男性・60～64歳層では「本人の賃金等収入」(61.0%/現在雇用者として働いている人の場合は82.8%)がもっとも多く、次いで「本人の年金収入」(11.7%/前同5.2%)などとなっている。男性・65～69歳層では「本人の年金収入」(54.7%/前同44.6%)がもっとも多く、次いで「本人の賃金等収入」(26.1%/前同47.8%)となっている。一方、女性・60～64歳層においては、総計では「配偶者の賃金等収入」(33.2%)、「配偶者の年金収入」(26.1%)の順となっているが、現在雇用者である場合は「配偶者の賃金等収入」(34.3%)がもっとも多く、次いで「本人の賃金等収入」(31.1%)などとなっている。また、女性・65～69歳層においては、総計では「配偶者の年金収入」(38.1%)、「配偶者の賃金等収入」(18.1%)の順となっているが、現在雇用者である場合は「本人の賃金等収入」(30.2%)がもっとも多く、次いで「配偶者の年金収入」(21.6%)などとなっている。

2014年調査と比較すると、男性では、60～64歳層、65～69歳層ともに「自分の賃金等収

入」の割合が上昇する一方、「自分の年金収入」の割合は低下している。女性では60～64歳層、65～69歳層ともに「配偶者の賃金等収入」の割合が上昇する一方、「配偶者の年金収入」の割合は低下している。(図表3-17、図表3-18)

図表3-17 生計をまかなう主たる収入源／当該項目を挙げた人の割合(総計)

〈2019年調査〉							〈2014年調査〉						
	該当者数 (千人)	計	自分の 賃金等収入	自分の 年金収入	配偶者の 賃金等収入	配偶者の 年金収入		該当者数 (千人)	計	自分の 賃金等収入	自分の 年金収入	配偶者の 賃金等収入	配偶者の 年金収入
男女計	17,303	100.0	26.8	23.2	14.1	17.0	男女計	18,199	100.0	22.2	26.0	10.1	18.6
60～64歳	7,634	100.0	38.2	8.7	18.9	13.3	60～64歳	9,650	100.0	30.1	14.7	14.1	16.4
65～69歳	9,669	100.0	17.8	34.7	10.3	19.9	65～69歳	8,549	100.0	13.3	38.7	5.7	21.2
男性計	8,468	100.0	41.7	35.5	3.0	0.5	男性計	8,861	100.0	34.8	37.7	3.1	0.7
男性・60～64歳	3,780	100.0	61.0	11.7	4.4	0.3	男性・60～64歳	4,761	100.0	49.0	21.3	4.3	0.8
男性・65～69歳	4,687	100.0	26.1	54.7	1.9	0.6	男性・65～69歳	4,100	100.0	18.4	56.7	1.7	0.7
女性計	8,835	100.0	12.6	11.5	24.7	32.9	女性計	9,337	100.0	10.2	14.8	16.8	35.6
女性・60～64歳	3,854	100.0	15.9	5.8	33.2	26.1	女性・60～64歳	4,889	100.0	11.8	8.2	23.6	31.6
女性・65～69歳	4,981	100.0	10.1	15.9	18.1	38.1	女性・65～69歳	4,448	100.0	8.5	22.1	9.4	40.1

図表3-18 生計をまかなう主たる収入源／当該項目を挙げた人の割合(雇用者)

〈2019年調査〉							〈2014年調査〉						
	該当者数 (千人)	計	自分の 賃金等収入	自分の 年金収入	配偶者の 賃金等収入	配偶者の 年金収入		該当者数 (千人)	計	自分の 賃金等収入	自分の 年金収入	配偶者の 賃金等収入	配偶者の 年金収入
男女計	6,630	100.0	51.9	16.2	13.1	9.1	男女計	5,927	100.0	50.8	17.1	9.7	11.4
60～64歳	3,841	100.0	60.2	4.2	17	8.8	60～64歳	3,899	100.0	57.2	7.8	12.3	11.4
65～69歳	2,788	100.0	40.5	32.8	7.6	9.4	65～69歳	2,028	100.0	38.5	35.0	4.6	11.3
男性計	3,785	100.0	67.8	22.1	2.3	0.4	男性計	3,361	100.0	66.2	23.2	1.9	0.0
男性・60～64歳	2,161	100.0	82.8	5.2	3.6	0.2	男性・60～64歳	2,217	100.0	79.0	10.2	3.0	0.0
男性・65～69歳	1,623	100.0	47.8	44.6	0.7	0.7	男性・65～69歳	1,144	100.0	41.3	48.3	0.0	0.0
女性計	2,845	100.0	30.7	8.4	27.3	20.6	女性計	2,566	100.0	30.7	9.2	19.7	26.3
女性・60～64歳	1,680	100.0	31.1	2.8	34.3	19.9	女性・60～64歳	1,682	100.0	28.5	4.7	24.5	26.4
女性・65～69歳	1,165	100.0	30.2	16.4	17.2	21.6	女性・65～69歳	884	100.0	35.0	17.7	10.6	26.0

(世帯の収入)

2019年6月における世帯の収入については、「30万円以上50万円未満」(25.7%)がもっとも多く、次いで「20万円以上30万円未満」(22.3%)となっている。

また、世帯の収入について回答のあった人の平均額をみると、男性・60～64歳層が38.7万円(雇用者は37.6万円)、男性・65～69歳層が36.4万円(前同35.7万円)、女性・60～64歳層が33.6万円(前同31.6万円)、女性・65～69歳層が33.4万円(前同33.3万円)となっている。

2014年調査からの増減をみると、それぞれ0.1万円減(雇用者は0.2万円増)、0.7万円増(前同2.6万円減)、0.3万円減(前同増減なし)、5.8万円増(前同0.7万円増)となっている。(図表3-19、図表3-20)

図表 3-19 調査時点前月の世帯収入(総計)

〈2019年調査／2019年6月分〉

(%)

	総数 (千人)	計	0円	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	50万円以上	無回答	平均値 (万円)
男女計	17,303	100.0	1.0	0.4	2.5	5.5	7.1	22.3	25.7	13.7	21.8	35.5
60～64歳	7,634	100.0	1.7	0.6	3.2	4.5	7.5	20.8	27.3	14.8	19.6	36.3
65～69歳	9,669	100.0	0.5	0.3	2.0	6.3	6.7	23.5	24.5	12.9	23.4	34.9
男性計	8,468	100.0	1.4	0.3	2.4	5.0	7.7	22.0	27.5	15.4	18.3	37.5
男性・60～64歳	3,780	100.0	2.2	0.4	3.4	4.3	8.4	19.5	27.3	18.7	15.7	38.7
男性・65～69歳	4,687	100.0	0.6	0.1	1.6	5.6	7.2	24.0	27.6	12.8	20.5	36.4
女性計	8,835	100.0	0.7	0.6	2.6	5.9	6.4	22.6	24.1	12.1	25.0	33.5
女性・60～64歳	3,854	100.0	1.1	0.8	2.9	4.7	6.7	22.1	27.3	11.0	23.5	33.6
女性・65～69歳	4,981	100.0	0.4	0.4	2.4	6.9	6.3	23.0	21.6	12.9	26.2	33.4

(注)平均値は無回答を除いて算出

〈2014年調査／2014年6月分〉

(%)

	総数 (千人)	計	0円	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	50万円以上	無回答	平均値 (万円)
男女計	18,199	100.0	0.7	0.6	3.1	6.5	8.4	21.8	22.7	13.4	22.9	34.7
60～64歳	9,650	100.0	1.0	0.3	3.3	6.6	7.3	22.2	23.0	14.4	21.8	36.4
65～69歳	8,549	100.0	0.4	0.8	2.8	6.4	9.7	21.3	22.2	12.2	24.2	32.7
男性計	8,861	100.0	0.8	0.6	2.9	5.9	7.5	20.6	24.8	17.2	19.6	38.0
男性・60～64歳	4,761	100.0	1.2	0.4	3.9	6.6	6.2	22.2	24.8	17.5	17.3	38.8
男性・65～69歳	4,100	100.0	0.4	1.0	1.8	5.1	8.9	18.7	24.8	16.9	22.3	37.0
女性計	9,337	100.0	0.6	0.5	3.2	7.1	9.3	22.9	20.6	9.7	26.0	31.4
女性・60～64歳	4,889	100.0	0.8	0.3	2.7	6.6	8.4	22.2	21.3	11.4	26.1	33.9
女性・65～69歳	4,448	100.0	0.4	0.6	3.6	7.6	10.4	23.7	19.9	7.9	25.9	28.6

(注)平均値は無回答を除いて算出

図表 3-20 調査時点前月の世帯収入(雇用されて働いている人)

〈2019年調査／2019年6月分〉

(%)

	総数 (千人)	計	0円	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	50万円以上	無回答	平均値 (万円)
男女計	6,630	100.0	0.2	0.2	1.4	4.4	6.5	22.2	34.5	13.4	17.1	34.9
60～64歳	3,841	100.0	-	0.4	2.1	3.4	7.6	22.7	34.2	13.8	15.8	35.1
65～69歳	2,788	100.0	0.6	-	0.6	5.7	5.0	21.6	34.9	12.9	18.8	34.7
男性計	3,785	100.0	0.2	0.1	0.7	2.8	5.8	22.7	37.7	14.5	15.5	36.8
男性・60～64歳	2,161	100.0	-	0.2	0.9	2.2	7.5	24.0	35.0	16.7	13.5	37.6
男性・65～69歳	1,623	100.0	0.4	-	0.4	3.6	3.6	21.0	41.3	11.6	18.1	35.7
女性計	2,845	100.0	0.4	0.4	2.4	6.4	7.4	21.6	30.2	12.0	19.3	32.3
女性・60～64歳	1,680	100.0	-	0.7	3.5	4.9	7.7	21.0	33.2	10.1	18.9	31.6
女性・65～69歳	1,165	100.0	0.9	-	0.9	8.6	6.9	22.4	25.9	14.7	19.8	33.3

(注)平均値は無回答を除いて算出

〈2014年調査／2014年6月分〉

(%)

	総数 (千人)	計	0円	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	50万円以上	無回答	平均値 (万円)
男女計	5,927	100.0	0.2	0.1	2.4	6.2	6.5	22.3	29.3	15.8	17.1	35.3
60～64歳	3,899	100.0	0.1	0.2	2.5	6.4	5.9	24.0	28.1	14.9	18.0	35.1
65～69歳	2,028	100.0	0.4	-	2.2	6.0	7.9	19.1	31.7	17.6	15.2	35.8
男性計	3,361	100.0	0.3	0.2	2.2	4.1	5.6	24.0	32.5	17.4	13.7	37.7
男性・60～64歳	2,217	100.0	0.2	0.3	1.6	5.3	5.6	26.9	29.9	17.3	12.9	37.4
男性・65～69歳	1,144	100.0	0.6	-	3.2	1.6	5.7	18.3	37.7	17.8	15.1	38.3
女性計	2,566	100.0	-	-	2.7	9.1	7.7	20.1	25.1	13.7	21.5	31.9
女性・60～64歳	1,682	100.0	-	-	3.6	7.7	6.2	20.1	25.7	11.8	24.8	31.6
女性・65～69歳	884	100.0	-	-	1.0	11.6	10.6	20.2	23.9	17.4	15.3	32.6

(注)平均値は無回答を除いて算出

(世帯生計費)

2019年6月における世帯生計費については、「20万円以上30万円未満」(29.1%)がもっとも多く、次いで「無回答」(27.4%)、「30万円以上50万円未満」(21.4%)となっている。

また、世帯生計費について回答のあった人の平均額をみると、男性・60～64歳層が27.8万円(雇用者は29.0万円)、男性・65～69歳層が25.7万円(前同26.6万円)、女性・60～64歳層が25.2万円(前同25.1万円)、女性・65～69歳層が24.2万円(前同24.1万円)となっている。

2014年調査からの増減をみると、それぞれ0.4万円増(雇用者は2.3万円増)、0.9万円減(前同1.3万円増)、0.5万円増(前同0.3万円増)、1.7万円増(前同0.7万円増)となっている。(図表3-21、図表3-22)

図表3-21 調査時点前月の世帯生計費(総計)

〈2019年調査／2019年6月分〉

(%)

	総数 (千人)	計	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	50万円以上	無回答	平均値 (万円)
男女計	17,303	100.0	0.5	2.9	5.9	9.8	29.1	21.4	3.0	27.4	25.6
60～64歳	7,634	100.0	0.4	2.5	5.1	9.1	28.3	22.3	3.6	28.7	26.5
65～69歳	9,669	100.0	0.6	3.2	6.4	10.3	29.8	20.8	2.6	26.4	25.0
男性計	8,468	100.0	0.4	2.7	5.6	9.4	29.5	22.8	4.2	25.4	26.6
男性・60～64歳	3,780	100.0	0.4	2.9	5.4	8.2	25.4	25.2	5.5	27.1	27.8
男性・65～69歳	4,687	100.0	0.4	2.5	5.8	10.3	32.9	21.0	3.1	24.1	25.7
女性計	8,835	100.0	0.7	3.1	6.1	10.1	28.7	20.1	1.9	29.3	24.6
女性・60～64歳	3,854	100.0	0.5	2.1	4.9	9.9	31.1	19.5	1.8	30.2	25.2
女性・65～69歳	4,981	100.0	0.8	3.8	7.1	10.3	26.8	20.6	2.0	28.6	24.2

(注)平均値は無回答を除いて算出

〈2014年調査／2014年6月分〉

(%)

	総数 (千人)	計	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	50万円以上	無回答	平均値 (万円)
男女計	18,199	100.0	0.4	3.4	8.6	11.2	29.1	20.5	4.0	22.8	25.3
60～64歳	9,650	100.0	0.3	2.9	8.4	9.7	29.7	21.8	4.3	22.7	26.1
65～69歳	8,549	100.0	0.5	3.8	8.8	12.9	28.4	19.1	3.6	22.9	24.4
男性計	8,861	100.0	0.4	2.9	6.7	11.0	29.0	22.4	5.3	22.3	27.0
男性・60～64歳	4,761	100.0	0.3	3.0	6.6	10.4	30.5	22.5	5.8	20.9	27.4
男性・65～69歳	4,100	100.0	0.5	2.8	6.9	11.6	27.2	22.3	4.8	24.0	26.6
女性計	9,337	100.0	0.4	3.4	8.6	11.2	29.1	20.5	4.0	22.8	23.6
女性・60～64歳	4,889	100.0	0.3	2.9	10.2	9.0	28.9	21.1	3.0	24.5	24.7
女性・65～69歳	4,448	100.0	0.6	4.8	10.6	14.1	29.4	16.1	2.5	21.9	22.5

(注)平均値は無回答を除いて算出

図表 3-22 調査時点前月の世帯生計費(雇用されて働いている人)

〈2019年調査／2019年6月分〉

(%)

	総数 (千人)	計	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	50万円以上	無回答	平均値 (万円)
男女計	6,630	100.0	0.4	1.5	5.8	8.9	29.8	23.0	3.1	27.4	26.6
60～64歳	3,841	100.0	0.5	1.0	5.0	8.5	29.3	24.0	3.2	28.4	27.3
65～69歳	2,788	100.0	0.2	2.2	6.9	9.4	30.6	21.8	2.9	26.0	25.6
男性計	3,785	100.0	0.4	0.5	4.4	8.2	30.2	25.9	3.8	26.6	27.9
男性・60～64歳	2,161	100.0	0.4	0.4	4.5	7.3	27.9	26.6	4.7	28.3	29.0
男性・65～69歳	1,623	100.0	0.4	0.7	4.3	9.4	33.3	25.0	2.5	24.3	26.6
女性計	2,845	100.0	0.4	2.8	7.5	9.9	29.3	19.2	2.2	28.6	24.7
女性・60～64歳	1,680	100.0	0.7	1.7	5.6	10.1	31.1	20.6	1.4	28.7	25.1
女性・65～69歳	1,165	100.0	-	4.3	10.3	9.5	26.7	17.2	3.4	28.4	24.1

(注)平均値は無回答を除いて算出

〈2014年調査／2014年6月分〉

(%)

	総数 (千人)	計	5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 30万円未満	30万円以上 50万円未満	50万円以上	無回答	平均値 (万円)
男女計	5,927	100.0	0.3	2.7	7.8	10.5	29.8	24.3	4.1	20.6	25.1
60～64歳	3,899	100.0	0.3	2.0	8.5	9.0	31.0	23.9	3.2	22.1	25.8
65～69歳	2,028	100.0	0.4	4.0	6.4	13.4	27.5	25.1	5.7	17.5	24.3
男性計	3,361	100.0	-	1.5	5.5	9.7	32.3	26.3	4.9	19.8	26.1
男性・60～64歳	2,217	100.0	-	1.4	6.3	9.4	33.9	25.9	4.3	18.9	26.7
男性・65～69歳	1,144	100.0	-	1.6	4.0	10.4	29.3	27.1	6.0	21.5	25.3
女性計	2,566	100.0	0.7	4.2	10.8	11.6	26.5	21.7	3.0	21.6	24.1
女性・60～64歳	1,682	100.0	0.6	2.7	11.5	8.6	27.2	21.3	1.8	26.3	24.8
女性・65～69歳	884	100.0	0.9	7.0	9.5	17.3	25.2	22.4	5.2	12.5	23.4

(注)平均値は無回答を除いて算出

2 55歳当時から就業状況の変化

(1) 定年経験の有無等

(雇用者の比率)

調査結果から、55歳当時会社などに雇用されて働いていた人（雇用者）の現在までの就業状況を概観する。

60～69歳の総数のうち、55歳当時雇用者であった人の割合をみると、今回の2019年調査では、男女計で73.1%であり、現在の年齢層別にみても大きな違いはない。男女別には、男性81.0%、女性65.6%と15ポイント程度の差がある。前回の2014年調査と比較すると、55歳当時雇用者であった人の割合は上昇しており、男性で2ポイント強の上昇、女性で6ポイントの上昇と、高齢期においても女性の雇用が拡大していることが示されている。（図表3-23）

図表 3-23 55歳当時雇用者であったかどうか

〈2019年調査〉						〈2014年調査〉					
	総数 (千人)	計	雇われて いた	雇われて いなかった	無回答		総数 (千人)	計	雇われて いた	雇われて いなかった	無回答
男女計	17,303	100.0	73.1	26.6	0.3	男女計	18,199	100.0	69.0	30.5	0.6
60～64歳	7,634	100.0	74.2	25.5	0.3	60～64歳	9,650	100.0	69.6	30.1	0.3
65～69歳	9,669	100.0	72.3	27.4	0.3	65～69歳	8,549	100.0	68.3	30.9	0.9
男性計	8,468	100.0	81.0	19.0	0.0	男性計	8,861	100.0	78.8	20.6	0.5
男性・60～64歳	3,780	100.0	81.5	18.4	0.1	男性・60～64歳	4,761	100.0	79.1	20.5	0.3
男性・65～69歳	4,687	100.0	80.6	19.4	-	男性・65～69歳	4,100	100.0	78.5	20.7	0.8
女性計	8,835	100.0	65.6	33.8	0.5	女性計	9,337	100.0	59.6	39.8	0.6
女性・60～64歳	3,854	100.0	67.1	32.5	0.5	女性・60～64歳	4,889	100.0	60.3	39.4	0.3
女性・65～69歳	4,981	100.0	64.5	34.9	0.6	女性・65～69歳	4,448	100.0	58.8	40.3	0.9

(注)人数実数は、復元後の数値である(以下同じ)。

(定年経験の有無)

55歳当時雇用者であった人について、定年を経験したかどうかをみると、男女計で45.7%、男性58.1%、女性31.0%が定年を経験したとしている。

2014年調査と比較すると、男女計で2ポイント弱の低下で、男性では変化がないのに対して、女性では3ポイントの低下となっている。年齢層別では、男女とも60～64歳層において3ポイント程度の低下が見られる。（図表3-24）

図表 3-24 定年を経験したかどうか(55歳当時雇用者)

〈2019年調査〉						〈2014年調査〉					
	該当者数 (千人)	計	定年経験 あり	定年経験 なし	無回答		該当者数 (千人)	計	定年経験 あり	定年経験 なし	無回答
男女計	12,654	100.0	45.7	52.3	2.0	男女計	12,548	100.0	47.4	51.5	1.1
60～64歳	5,665	100.0	37.7	60.9	1.4	60～64歳	6,713	100.0	41.3	57.4	1.3
65～69歳	6,989	100.0	52.1	45.3	2.6	65～69歳	5,835	100.0	54.5	44.8	0.8
男性計	6,856	100.0	58.1	40.5	1.4	男性計	6,985	100.0	58.1	41.2	0.7
男性・60～64歳	3,080	100.0	49.5	49.3	1.2	男性・60～64歳	3,767	100.0	52.7	46.8	0.4
男性・65～69歳	3,776	100.0	65.1	33.3	1.6	男性・65～69歳	3,219	100.0	64.3	34.6	1.1
女性計	5,799	100.0	31.0	66.2	2.8	女性計	5,563	100.0	34.0	64.5	1.5
女性・60～64歳	2,585	100.0	23.6	74.8	1.6	女性・60～64歳	2,947	100.0	26.6	71.0	2.4
女性・65～69歳	3,214	100.0	36.9	59.4	3.8	女性・65～69歳	2,617	100.0	42.3	57.3	0.4

(注)「該当者数」とは、当該設問の対象となった人の復元後の人数である(以下同じ)。

(2) 定年を経験した人の就業状況

(定年年齢)

定年を経験した人に定年の年齢を尋ねた結果を65～69歳層についてみると、60歳だったとする人が66.2%、61～64歳が6.6%、65歳が13.0%などとなっている。

2014年調査と比較すると、64歳以下の割合が低下し、65歳以上の割合が上昇している。大きな変化ではないが、定年年齢に上昇の動きがあることがうかがわれる。(図表3-25)

図表 3-25 定年経験者の定年年齢(55歳当時雇用者)

〈2019年調査〉								
	総数 (千人)	計	60歳未満	60歳	61～64歳	65歳	66歳以上	無回答
男女計	5,780	100.0	9.0	73.2	5.5	8.2	1.9	2.3
60～64歳	2,137	100.0	9.3	85.0	3.7	-	-	2.1
65～69歳	3,643	100.0	8.9	66.2	6.6	13.0	3.0	2.4
男性計	3,984	100.0	7.2	77.0	4.8	6.1	2.2	2.7
男性・60～64歳	1,526	100.0	8.8	85.1	4.0	-	-	2.1
男性・65～69歳	2,458	100.0	6.2	72.0	5.3	9.8	3.6	3.1
女性計	1,796	100.0	13.1	64.6	7.1	12.9	1.1	1.2
女性・60～64歳	611	100.0	10.6	84.6	2.9	-	-	1.9
女性・65～69歳	1,185	100.0	14.4	54.2	9.3	19.5	1.7	0.8

(注)「60歳未満」とする回答も少なくないが、これには早期に定年扱いで退職した場合など様々な事情があるものと考えられる。

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	60歳未満	60歳	61～64歳	65歳	66歳以上	無回答
男女計	5,948	100.0	10.9	73.0	7.2	6.3	1.2	1.4
60～64歳	2,769	100.0	10.0	84.8	3.8	-	-	1.5
65～69歳	3,178	100.0	11.6	62.8	10.2	11.8	2.3	1.3
男性計	4,056	100.0	10.5	76.5	7.2	3.5	0.9	1.4
男性・60～64歳	1,986	100.0	9.9	84.9	3.8	-	-	1.3
男性・65～69歳	2,070	100.0	11.0	68.4	10.5	6.9	1.8	1.4
女性計	1,892	100.0	11.7	65.6	7.0	12.4	1.8	1.5
女性・60～64歳	784	100.0	10.3	84.2	3.6	-	-	1.9
女性・65～69歳	1,108	100.0	12.7	52.4	9.5	21.1	3.1	1.2

(注)「60歳未満」とする回答も少なくないが、これには早期に定年扱いで退職した場合など様々な事情があるものと考えられる。

(定年直後の就業状況)

定年を迎えた直後の就業状況をみると、「仕事をしていた」が63.4%、「仕事をしていなかった」が29.5%となっている。

2014年調査と比較すると、「仕事をしていた」の割合が6ポイント程度上昇している。年齢層別では、男女とも60～64歳層において15ポイント程度の大幅な増加が見られる。(図表3-26)

(注)2019年調査では2014年調査から選択肢を一部変更(「失業して仕事を探していた」と「仕事や求職活動はしていなかった」を「仕事をしていなかった」として統合)していることに留意が必要である。

図表3-26 定年経験者の定年直後の就業状況(55歳当時雇用者)

〈2019年調査〉

(%)

	該当者数 (千人)	計	仕事をして いた	仕事をして いなかった	無回答
男女計	5,780	100.0	63.4	29.5	7.1
60～64歳	2,137	100.0	71.9	20.9	7.2
65～69歳	3,643	100.0	58.4	34.5	7.1
男性計	3,984	100.0	69.6	24.9	5.5
男性・60～64歳	1,526	100.0	74.5	18.8	6.6
男性・65～69歳	2,458	100.0	66.5	28.7	4.8
女性計	1,796	100.0	49.6	39.6	10.8
女性・60～64歳	611	100.0	65.4	26.0	8.7
女性・65～69歳	1,185	100.0	41.5	46.6	11.9

〈2014年調査〉

(%)

	該当者数 (千人)	計	仕事をして いた	失業して 仕事を探 していた	仕事や求 職活動は していな かった	無回答
男女計	5,948	100.0	57.3	14.9	19.9	8.0
60～64歳	2,769	100.0	57.0	14.3	19.3	9.4
65～69歳	3,178	100.0	57.5	15.4	20.4	6.7
男性計	4,056	100.0	63.1	14.2	15.2	7.6
男性・60～64歳	1,986	100.0	60.4	15.1	15.2	9.3
男性・65～69歳	2,070	100.0	65.6	13.3	15.2	5.8
女性計	1,892	100.0	44.8	16.4	29.9	8.8
女性・60～64歳	784	100.0	48.4	12.3	29.6	9.7
女性・65～69歳	1,108	100.0	42.3	19.4	30.2	8.2

(定年直後の仕事の就業経緯)

定年直後に仕事をしていた人にその就業経緯を尋ねた結果をみると、73.9%が勤務先の会社などでの再雇用・勤務延長によるものであり、2014年調査と比較すると8ポイント程度上昇している。特に、男性では10ポイント以上上昇(63.9%→75.0%)している。(図表3-27)

図表 3-27 定年直後にしていた仕事の就業経緯
(55歳当時雇用者で定年直後就業者)

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた	勤務先の会社から別の会社などをあつせんされて再就職した	勤務先からのあつせんによらず別の会社などに再就職した	自ら事業を起こした	内職・家業の手伝い、任意に行う仕事などをしてきた	友人・知人から就職先を紹介された	その他	無回答
男女計	3,664	100.0	73.9	6.8	10.6	1.5	0.3	1.4	1.8	3.7
60～64歳	1,537	100.0	74.8	7.1	9.1	1.1	0.4	1.8	1.1	4.8
65～69歳	2,127	100.0	73.3	6.6	11.7	1.9	0.3	1.1	2.3	2.9
男性計	2,772	100.0	75.0	7.7	9.7	1.6	0.2	1.0	1.6	3.1
男性・60～64歳	1,137	100.0	78.3	7.5	7.1	1.4	—	0.4	1.4	3.9
男性・65～69歳	1,635	100.0	72.7	7.9	11.5	1.8	0.4	1.4	1.8	2.5
女性計	892	100.0	70.7	3.8	13.3	1.1	0.7	2.6	2.3	5.5
女性・60～64歳	399	100.0	64.7	5.9	14.7	—	1.5	5.9	—	7.4
女性・65～69歳	492	100.0	75.5	2.0	12.2	2.0	—	—	4.1	4.1

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた	勤務先の会社から別の会社などをあつせんされて再就職した	勤務先からのあつせんによらず別の会社などに再就職した	自ら事業を起こした	内職・家業の手伝い、任意に行う仕事などをしてきた	その他	無回答
男女計	3,406	100.0	66.0	12.5	13.5	1.2	1.9	2.7	2.2
60～64歳	1,579	100.0	73.4	8.8	10.9	1.2	1.6	2.4	1.6
65～69歳	1,827	100.0	59.6	15.6	15.8	1.2	2.1	3.0	2.7
男性計	2,559	100.0	63.9	15.7	12.3	1.1	1.9	2.9	2.1
男性・60～64歳	1,200	100.0	71.9	11.2	10.4	0.5	1.6	3.2	1.1
男性・65～69歳	1,359	100.0	56.8	19.8	14.0	1.6	2.2	2.6	3.0
女性計	848	100.0	72.4	2.5	17.2	1.4	1.8	2.2	2.5
女性・60～64歳	379	100.0	78.0	1.4	12.6	3.2	1.5	—	3.2
女性・65～69歳	468	100.0	67.8	3.5	20.8	—	2.0	4.0	1.9

(注)「友人・知人から就職先を紹介された」という選択肢は2014年調査にはなかった

（継続雇用者の職種の変化）

定年到達直後に従事した仕事の職種（大分類）について、定年前から変更があったとする人は少なく、8割程度（79.2%）の人が同じ職種であったとしている。2014年調査と比べて、全体的に定年前と同じ職種の割合が若干低下している。（図表3-28）

図表 3-28 定年到達直後の仕事の職種が同じか

（55歳当時雇用者で定年経験者のうち定年後再雇用等で雇用継続された人）

〈2019年調査〉						〈2014年調査〉					
	総数 (千人)	計	はい	いいえ	無回答		総数 (千人)	計	はい	いいえ	無回答
男女計	3,664	100.0	79.2	17.5	3.3	男女計	3,406	100.0	83.9	13.6	2.6
60～64歳	1,537	100.0	80.5	16.8	2.7	60～64歳	1,579	100.0	83.5	14.2	2.3
65～69歳	2,127	100.0	78.3	18.1	3.6	65～69歳	1,827	100.0	84.2	13.0	2.8
男性計	2,772	100.0	78.8	18.6	2.6	男性計	2,559	100.0	82.3	15.6	2.1
男性・60～64歳	1,137	100.0	78.3	19.6	2.1	男性・60～64歳	1,200	100.0	82.3	15.7	2.1
男性・65～69歳	1,635	100.0	79.1	18.0	2.9	男性・65～69歳	1,359	100.0	82.3	15.6	2.1
女性計	892	100.0	80.6	14.1	5.4	女性計	848	100.0	88.7	7.3	4.0
女性・60～64歳	399	100.0	86.8	8.8	4.4	女性・60～64歳	379	100.0	87.4	9.4	3.2
女性・65～69歳	492	100.0	75.5	18.4	6.1	女性・65～69歳	468	100.0	89.8	5.6	4.6

（賃金の変化）

55歳当時雇用者で定年到達直後に再雇用・勤務延長により勤務をしていた者を対象に、定年直後の賃金の変化を見ると、賃金は減少したとする割合が8割（82.3%）を超えている。

2014年調査からの変化をみると、賃金は減少したとする割合が若干上昇している（81.0%→82.3%）。（図表3-29）

図表 3-29 定年経験者の定年直後の賃金の変化

（55歳当時雇用者で定年経験者のうち定年後再雇用等で雇用継続された人）

〈2019年調査〉							〈2014年調査〉						
	該当者数 (千人)	計	賃金額は 減少した	賃金額は 余り変化 していない	賃金額は 増加した	無回答		該当者数 (千人)	計	賃金額は 減少した	賃金額は 余り変化 していない	賃金額は 増加した	無回答
男女計	2,709	100.0	82.3	14.8	-	2.8	男女計	2,249	100.0	81.0	13.6	1.2	4.2
60～64歳	1,149	100.0	81.8	16.0	-	2.2	60～64歳	1,159	100.0	86.0	9.3	1.1	3.5
65～69歳	1,560	100.0	82.7	14.0	-	3.3	65～69歳	1,090	100.0	75.6	18.1	1.4	4.8
男性計	2,078	100.0	86.5	11.1	-	2.4	男性計	1,635	100.0	85.6	9.3	1.7	3.4
男性・60～64歳	890	100.0	86.4	12.7	-	0.9	男性・60～64歳	863	100.0	88.5	7.2	1.5	2.8
男性・65～69歳	1,188	100.0	86.6	9.9	-	3.5	男性・65～69歳	772	100.0	82.4	11.6	2.0	4.1
女性計	630	100.0	68.5	27.1	-	4.4	女性計	614	100.0	68.6	25.2	-	6.2
女性・60～64歳	258	100.0	65.9	27.3	-	6.8	女性・60～64歳	296	100.0	78.7	15.6	-	5.7
女性・65～69歳	372	100.0	70.3	27.0	-	2.7	女性・65～69歳	318	100.0	59.2	34.2	-	6.6

また、55歳当時雇用者で60歳定年到達直後に再雇用・勤務延長により勤務をしていた者を対象に、60歳定年前後の賃金率の増減及び増減率をみると、賃金は減少したとする割合が8割を超えている。2014年調査からの変化をみると、賃金は減少したとする割合が若干上昇

している。(84.8%→85.3%) (図表3-30)

図表3-30 60歳定年前後の賃金額の増減及び増減率
(55歳当時雇用者で60歳定年経験者のうち定年後再雇用等で雇用継続された人)

〈2019年調査〉 (％)

	総数 (千人)	計	賃金額は減少した										賃金額は 余り変化し ていない	賃金額は 増加した	無回答
			1%~ 10%	11%~ 20%	21%~ 30%	31%~ 40%	41%~ 50%	51%~ 60%	61%~ 70%	71% 以上	無回答				
男女計	2,284	100.0	85.3	1.1	6.0	12.4	17.4	23.6	11.9	6.0	1.6	5.3	13.0	-	1.7
60~64歳	1,034	100.0	83.2	1.4	7.5	10.1	20.6	21.6	12.3	5.9	2.3	1.6	14.7	-	2.1
65~69歳	1,250	100.0	87.0	0.9	4.8	14.3	14.8	25.2	11.5	6.1	0.9	8.4	11.6	-	1.4
男性計	1,752	100.0	89.8	1.1	4.5	13.0	19.6	25.5	14.0	7.8	1.4	2.9	9.0	-	1.2
男性・60~64歳	793	100.0	87.8	1.0	6.1	8.7	22.4	23.0	15.3	7.7	1.5	2.0	11.7	-	0.5
男性・65~69歳	959	100.0	91.4	1.2	3.1	16.6	17.2	27.6	12.9	8.0	1.2	3.7	6.7	-	1.8
女性計	532	100.0	70.5	1.1	11.2	10.4	10.4	17.2	4.9	-	2.2	13.2	26.1	-	3.3
女性・60~64歳	241	100.0	68.3	2.4	12.2	14.6	14.6	17.1	2.4	-	4.9	-	24.4	-	7.3
女性・65~69歳	291	100.0	72.4	-	10.3	6.9	6.9	17.2	6.9	-	-	24.1	27.6	-	-

〈2014年調査〉 (％)

	総数 (千人)	計	賃金額は減少した										賃金額は 余り変化し ていない
			1%~ 10%	11%~ 20%	21%~ 30%	31%~ 40%	41%~ 50%	51%~ 60%	61%~ 70%	71% 以上	無回答		
男女計	1,906	100.0	84.8	3.6	8.3	15.3	11.2	20.7	9.6	7.1	4.5	4.5	10.8
60~64歳	1,084	100.0	86.4	4.2	7.1	13.2	11.8	22.5	11.1	9.8	3.7	3.0	9.3
65~69歳	821	100.0	82.8	2.8	9.9	18.2	10.5	18.3	7.6	3.5	5.5	6.4	12.7
男性計	1,388	100.0	87.3	1.5	8.1	12.3	12.8	24.7	11.6	8.0	4.9	3.4	7.4
男性・60~64歳	801	100.0	88.6	1.3	5.9	11.5	13.3	27.0	13.4	10.2	4.2	1.8	6.8
男性・65~69歳	586	100.0	85.6	1.9	11.0	13.5	12.1	21.6	9.1	4.9	5.8	5.8	8.2
女性計	518	100.0	78.1	9.2	9.0	23.4	7.1	9.9	4.3	4.7	3.5	7.2	19.9
女性・60~64歳	283	100.0	80.0	12.4	10.5	18.1	7.7	9.7	4.5	8.5	2.2	6.4	16.3
女性・65~69歳	235	100.0	75.9	5.3	7.1	29.9	6.5	10.1	3.9	0.0	5.0	8.1	24.1

(続き)

(％)

賃金額は増加した										無回答
1%~ 10%	11%~ 20%	21%~ 30%	31%~ 40%	41%~ 50%	51%~ 60%	61%~ 70%	71% 以上	無回答		
1.2	0.6	0.2	0.2	-	0.2	-	-	-	3.2	
1.2	0.4	-	0.3	-	0.4	-	-	-	3.2	
1.3	0.7	0.6	-	-	-	-	-	-	3.2	
1.7	0.8	0.3	0.2	-	0.3	-	-	-	3.6	
1.6	0.6	-	0.4	-	0.5	-	-	-	3.0	
1.8	1.0	0.8	-	-	-	-	-	-	4.5	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(定年に際して継続雇用されなかった理由)

定年直後に仕事に就いていなかった人(図表3-5参照)に、継続雇用されなかった理由を尋ねた結果をみると、継続雇用を「希望しなかった」が83.1%となっており、2014年調査からかなり高くなっている。(13.9ポイント上昇)

継続雇用を「希望したが雇用されなかった」とする割合は7.5%と少ないが、2014年調査からはやや低下している。(図表3-31)

図表3-31 定年到達の際に継続雇用されなかった理由
(定年を経験し、定年直後に仕事に就いていなかった人)

〈2019年調査〉		(%)				
	該当者数 (千人)	計	再雇用・勤務延長を希望しなかったから	再雇用・勤務延長を希望したが雇用されなかったから	定年前に早期退職した	無回答
男女計	1,122	100.0	83.1	7.5	9.4	-
60～64歳	366	100.0	88.1	2.7	9.2	-
65～69歳	756	100.0	80.7	9.9	9.4	-
男性計	707	100.0	82.2	9.7	8.1	-
男性・60～64歳	243	100.0	91.7	1.7	6.7	-
男性・65～69歳	465	100.0	77.2	13.9	8.9	-
女性計	415	100.0	84.6	3.8	11.5	-
女性・60～64歳	123	100.0	81.0	4.8	14.3	-
女性・65～69歳	291	100.0	86.2	3.4	10.3	-

〈2014年調査〉		(%)				
	該当者数 (千人)	計	再雇用・勤務延長を希望しなかったから	再雇用・勤務延長を希望したが雇用されなかったから	勤務していた会社に再雇用・勤務延長の制度がなかったから	無回答
男女計	1,818	100.0	69.2	8.9	21.4	0.5
60～64歳	841	100.0	72.4	9.3	17.3	1.0
65～69歳	977	100.0	66.4	8.6	25.0	-
男性計	1,051	100.0	71.9	11.4	16.3	0.4
男性・60～64歳	529	100.0	73.6	10.6	15.0	0.7
男性・65～69歳	522	100.0	70.3	12.1	17.6	-
女性計	767	100.0	65.4	5.5	28.5	0.6
女性・60～64歳	312	100.0	70.3	6.9	21.3	1.6
女性・65～69歳	455	100.0	62.0	4.6	33.4	-

(注) 2019年調査では2014年調査から一部選択肢を変更していることに留意が必要である。

(継続雇用を希望しなかった理由)

定年に際して継続雇用を希望しなかった理由(複数回答)をみると、「趣味やボランティア活動に打ち込みたかった」(29.4%)、「健康上の理由」(24.8%)、「家族などの介護」(24.3%)が2割を超えており、次いで「再雇用・勤務延長後の賃金が安すぎるから」(19.3%)などが多くなっている。このほか、仕事に関連する理由をみると、「職場の雰囲気や人間関係がよくなかったから」(13.2%)や「後進のポストや仕事を奪うことになるから」(11.4%)などが比較的多くなっている。

2014年調査と比較すると、「趣味やボランティア活動に打ち込みたかった」(21.4%→29.4%)、「家族などの介護」(17.5%→24.3%)、「再雇用・勤務延長後の賃金が安すぎるから」(12.9%→19.3%)などで上昇し、「年金など仕事以外の収入で十分に生活できたから」(17.7%→12.7%)、「会社の業績が悪く、会社に迷惑をかけてしまうと思ったから」(6.8%→1.6%)などで低下している。(図表3-32)

図表 3-32 定年到達の際に再雇用や勤務延長を希望しなかった人のその理由

(複数回答、%)

		総数 (千人)	計	再雇用・勤務延長後に自分のやりたい仕事ができなかったから	余剰扱いされたから	職場の雰囲気や人間関係がよくなかったから	再雇用・勤務延長後の賃金が安すぎるから	再雇用・勤務延長後の身分・役職に納得いかなかったから	再雇用・勤務延長後の就業時間に納得がいかかったから	後進のポストや仕事を奪うことになるから	会社の業績が悪く、会社に迷惑をかけてしまうと思ったから	健康上の理由から
				60～69歳計	2019年調査	996	100.0	11.2	5.2	13.2	19.3	6.6
	2014年調査	1,258	100.0	11.6	3.8	14.5	12.9	6.3	5.8	9.5	6.8	21.8
60～64歳計	2019年調査	360	100.0	15.0	7.8	19.4	16.1	5.6	2.8	11.1	1.1	21.1
	2014年調査	609	100.0	15.7	3.6	16.7	16.6	10.2	8.9	11.5	4.8	25.8
65～69歳計	2019年調査	636	100.0	9.0	3.7	9.6	21.1	7.1	7.1	11.5	1.9	26.9
	2014年調査	649	100.0	7.6	4.0	12.5	9.4	2.5	2.9	7.5	8.7	18.1

(つづき)

		家族などの介護のため	家業を継ぐ予定だったから	他の会社に転職したから	独立開業したから	趣味やボランティア活動に打ち込みたかったから	年金など仕事以外の収入で十分に生活できたから	継続雇用制度の基準に合致しないと思い、希望をしなかったから	その他	無回答
									60～69歳計	2019年調査
	2014年調査	17.5	0.9	4.2	-	21.4	17.7	5.1	10.8	1.9
60～64歳計	2019年調査	21.0	1.1	9.5	2.2	27.3	10.5	5.0	12.2	-
	2014年調査	14.7	-	6.1	-	22.0	16.1	4.7	10.7	0.9
65～69歳計	2019年調査	26.1	-	2.8	0.9	30.6	14.0	6.2	7.4	-
	2014年調査	20.2	1.7	2.4	-	20.9	19.1	5.5	10.9	3.0

(3) 定年を経験していない人の就業状況

(55歳当時雇用者であった人の定年前等の退職の有無)

55歳当時雇用者であった人で定年を経験していない人(図表3-24参照)について、定年前等の退職(注)の有無をみると、「退職した」が50.3%、「現在も勤務している」が48.5%となっている。

2014年調査と比べると、「退職した」の割合が低下(53.9%→50.3%)し、「現在も勤務し

ている」が上昇（43.8%→48.5%）している。年齢層別には、60～64歳層で「退職した」が大きく低下（47.3%→39.6%）し、男性については65～69歳層でも低下（65.2%→57.0%）している。（図表3-33）

（注）定年のない会社などから退職した場合を含む

図表 3-33 定年前等の退職の有無
(55歳当時雇用者で定年を経験していない人)

〈2019年調査〉						〈2014年調査〉					
	総数 (千人)	計	退職した	現在も勤務している	無回答		総数 (千人)	計	退職した	現在も勤務している	無回答
男女計	6,617	100.0	50.3	48.5	1.2	男女計	6,468	100.0	53.9	43.8	2.3
60～64歳	3,451	100.0	39.6	59.4	1.0	60～64歳	3,856	100.0	47.3	50.2	2.4
65～69歳	3,167	100.0	62.0	36.6	1.4	65～69歳	2,613	100.0	63.6	34.2	2.2
男性計	2,776	100.0	46.3	52.5	1.3	男性計	2,878	100.0	55.2	41.7	3.1
男性・60～64歳	1,518	100.0	37.3	61.9	0.8	男性・60～64歳	1,764	100.0	48.8	48.4	2.8
男性・65～69歳	1,259	100.0	57.0	41.1	1.9	男性・65～69歳	1,114	100.0	65.2	31.2	3.6
女性計	3,841	100.0	53.2	45.6	1.1	女性計	3,590	100.0	52.9	45.4	1.7
女性・60～64歳	1,933	100.0	41.3	57.4	1.2	女性・60～64歳	2,092	100.0	46.1	51.8	2.1
女性・65～69歳	1,908	100.0	65.3	33.7	1.1	女性・65～69歳	1,498	100.0	62.4	36.5	1.2

（定年前退職者の状況）

定年の前等に55歳当時の勤め先を退職した人に、その退職が事業主都合によるものであったかどうかを尋ねた結果をみると、「事業主都合であった」は21.8%であった。

2014年調査と比較すると、事業主都合の割合は、男性で若干の低下（32.2%→29.8%）となっているのに対して、女性では大幅な低下（28.1%→16.8%）となっている。（図表3-34）

図表 3-34 55歳当時の勤務先からの退職の態様
(55歳当時に雇われていた会社を定年前に退職した人)

〈2019年調査〉						〈2014年調査〉					
	総数 (千人)	計	事業主都合であった	事業主都合でなかった	無回答		総数 (千人)	計	事業主都合であった	事業主都合でなかった	無回答
男女計	3,328	100.0	21.8	74.6	3.6	男女計	3,486	100.0	29.9	66.3	3.8
60～64歳	1,366	100.0	19.4	76.2	4.4	60～64歳	1,825	100.0	33.6	63.9	2.5
65～69歳	1,963	100.0	23.5	73.4	3.0	65～69歳	1,661	100.0	25.9	68.9	5.2
男性計	1,284	100.0	29.8	65.1	5.1	男性計	1,588	100.0	32.2	64.4	3.4
男性・60～64歳	567	100.0	25.0	68.6	6.4	男性・60～64歳	861	100.0	38.3	59.1	2.6
男性・65～69歳	718	100.0	33.6	62.3	4.1	男性・65～69歳	726	100.0	25.0	70.6	4.4
女性計	2,044	100.0	16.8	80.5	2.6	女性計	1,898	100.0	28.1	67.9	4.1
女性・60～64歳	799	100.0	15.4	81.6	2.9	女性・60～64歳	964	100.0	29.4	68.2	2.5
女性・65～69歳	1,245	100.0	17.7	79.8	2.4	女性・65～69歳	934	100.0	26.7	67.6	5.8

（高齢期に向けて行った諸準備）

全ての調査対象者に、高齢期のキャリアを意識して行った職業能力開発や転職準備等について複数回答で尋ねたところ、「特に取り組んだことはない」が 65.4%と最も多く、これに「資格を取得するために自分で勉強したことがある」(12.8%)、「資格取得について調べたことがある」(7.6%)、「資格取得を目的とはしないが、自分で勉強したことがある」(7.6%)が つづく。

2014年調査と比較すると、選択肢を一部変更しているため単純に比較はできないが、「特に取り組んだことはない」が最も多い傾向に変化はない。(図表3-35)

図表3-35 50歳前後になってから、転職や職業能力向上のために取り組んだこと

〈2019年調査〉

(複数回答、%)

	総数 (千人)	自営業を始めるための準備をした	資格取得について調べたことがある	資格を取得するために自分で勉強したことがある(自学自習、講座の受講など)	資格取得を目的とはしないが、自分で勉強したことがある(自学自習、講座の受講など)	職業能力の向上に取り組んだことはないが、転職の準備はしたことがある	過去の職務経歴を振り返って、自分の職務能力分析を行ったことがある	社内外の専門家に今後のキャリアについて相談した	高齢期の働き方に関する研修・セミナーに参加した	その他	特に取り組んだことはない	無回答
男女計	17,303	3.0	7.6	12.8	7.6	5.6	6.0	0.8	2.6	0.8	65.4	2.6
60～64歳	7,634	2.5	9.1	13.7	7.6	5.5	6.7	1.1	2.6	0.8	64.4	2.1
65～69歳	9,669	3.4	6.4	12.0	7.6	5.8	5.4	0.7	2.5	0.7	66.1	3.0
男性計	8,468	4.6	8.7	13.0	8.1	6.4	8.3	1.4	3.8	1.1	62.6	2.1
男性・60～64歳	3,780	4.1	8.9	13.0	8.0	5.6	8.5	1.7	4.4	1.3	62.4	1.8
男性・65～69歳	4,687	5.0	8.5	13.0	8.2	7.2	8.2	1.1	3.3	0.9	62.7	2.3
女性計	8,835	1.4	6.6	12.6	7.1	4.8	3.8	0.3	1.4	0.5	68.0	3.1
女性・60～64歳	3,854	0.9	9.3	14.5	7.2	5.3	5.0	0.5	0.9	0.3	66.3	2.4
女性・65～69歳	4,981	1.8	4.4	11.1	7.1	4.4	2.8	0.2	1.8	0.6	69.4	3.6

〈2014年調査〉

(複数回答、%)

	総数 (千人)	自営業を始めるための準備をした	資格取得について調べたことがある	資格を取得するために自分で勉強したことがある	資格を取得するために学校に通ったり、通信講座を受講したりした	職業能力の向上に取り組んだことはないが、転職の準備はしたことがある	過去の職務経歴を振り返って、自分の職務能力分析を行ったことがある	その他	特に取り組んだことはない	無回答
男女計	16,980	3.7	5.5	6.0	5.0	4.0	9.9	2.4	70.5	3.1
60～64歳	9,083	3.4	6.0	6.1	5.5	4.3	9.4	2.0	69.6	3.0
65～69歳	7,897	4.1	5.0	5.8	4.3	3.7	10.4	2.9	71.5	3.2
男性計	8,225	5.5	6.3	7.3	4.3	5.4	12.9	2.9	65.3	2.9
男性・60～64歳	4,412	5.1	6.7	6.9	3.7	5.4	12.6	2.5	66.2	2.7
男性・65～69歳	3,812	5.9	6.0	7.7	5.0	5.3	13.2	3.4	64.2	3.1
女性計	8,755	2.1	4.8	4.7	5.6	2.8	7.1	1.9	75.3	3.3
女性・60～64歳	4,671	1.7	5.3	5.4	7.3	3.3	6.5	1.4	72.7	3.3
女性・65～69歳	4,084	2.5	4.2	4.0	3.6	2.3	7.7	2.4	78.3	3.3

3 今後の就業希望

(65歳以降の働く予定)

60～64歳で働いている人を対象に65歳以降の働く予定を尋ねた結果をみると、「採用してくれる職場があるなら、ぜひ働きたい」が30.5%、「すでに働くことが(ほぼ)決まっている」が25.6%、「まだ決めていない。わからない」が27.2%、「仕事はしたくない。仕事からは引退するつもり」が7.0%などとなっている。

2014年調査と比較すると、「採用してくれる職場があるなら、ぜひ働きたい」(13.5%→30.5%)と「すでに働くことが(ほぼ)決まっている」(15.9%→25.6%)の割合が大きく上昇し、「まだ決めていない。わからない」(31.4%→27.2%)、「仕事はしたくない。仕事からは引退するつもり」(11.7%→7.0%)の割合は低下している。男女別にみても、男女ともこれと同じ傾向である。(図表3-36)

図表 3-36 65歳以降の働く予定
(60～64歳で働いている人を対象)

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	採用して くれる職場が あるなら、 ぜひ働きた い	すでに働く ことが(ほ ぼ)決まっ ている(誘 い・雇用契 約がある)	まだ決めて いない。わ からない	仕事はした くない。仕事 からは引退 するつもり	自分の健 康、家庭の 事情等で働 けないと思 う	健康ではあ るが、私の 職種は体力 等を要する 仕事なの で、肉体的 に働けない と思う	その他	無回答
男女計	5,359	100.0	30.5	25.6	27.2	7.0	2.0	1.9	3.8	2.1
男性	3,056	100.0	32.5	24.4	27.7	7.4	0.8	1.3	4.8	1.2
女性	2,303	100.0	27.8	27.3	26.5	6.4	3.6	2.6	2.6	3.3

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	採用して くれる職場が あるなら、 ぜひ働きた い	すでに働く ことが(ほ ぼ)決まっ ている(誘 い・雇用契 約がある)	まだ決めて いない。わ からない	仕事はした くない。仕事 からは引退 するつもり	自分の健 康、家庭の 事情等で働 けないと思 う	健康ではあ るが、私の 職種は体力 等を要する 仕事なの で、肉体的 に働けない と思う	その他	無回答
男女計	6,005	100.0	13.5	15.9	31.4	11.7	2.0	3.4	13.4	8.7
男性	3,541	100.0	13.5	14.9	33.2	12.3	1.1	3.5	14.0	7.5
女性	2,464	100.0	13.5	17.3	28.8	10.8	3.4	3.2	12.6	10.5

(65歳を過ぎても働くために必要なこと)

65歳を過ぎても働くために必要なことを複数回答で尋ねたところ、「健康・体力」が82.0%と最も多く、次いで「仕事への意欲」(58.9%)、「仕事の専門知識・技能があること」(46.2%)、「協調性(年下の管理監督者の下でも働けることなど)」(34.9%)、「専門性よりは色々な仕

事ができる能力や幅広い経験」(21.4%)が挙げられた。

2014年調査と比較すると、選択肢を一部変更しているため単純に比較はできないが、「健康・体力」が最も多い傾向に変化はない。(図表3-37)

図表3-37 65歳を過ぎても働くために必要なこと(複数回答)

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	仕事の 専門知識・技能 があること	専門性よりは 色々な仕事 ができる能力 や幅広い 経験	協調性(年下 の管理監督 者の下でも 働けること など)	仕事への 意欲	健康・体力	幅広い人脈、 知り合いが 多いこと	過去の 転職経験	定年前から、 定年後を意 識した準備 (転職の準備 を含む)を進 めること	わからない	その他	無回答
男女計	10,201	46.2	21.4	34.9	58.9	82.0	15.3	3.6	9.2	1.6	1.1	0.5
60～64歳	5,359	46.1	22.8	37.7	60.9	84.2	15.0	3.8	9.9	1.9	1.1	0.2
65～69歳	4,842	46.3	19.9	31.9	56.7	79.7	15.7	3.4	8.5	1.2	1.1	0.8
男性計	5,849	51.4	21.9	33.4	56.8	79.2	18.0	3.0	9.2	1.6	1.0	0.6
男性・60～64歳	3,056	50.3	22.0	34.4	58.7	80.5	18.5	3.7	9.1	2.1	1.2	0.3
男性・65～69歳	2,794	52.6	21.9	32.2	54.7	77.7	17.5	2.3	9.3	1.1	0.8	1.1
女性計	4,352	39.2	20.8	37.0	61.7	85.9	11.6	4.3	9.3	1.5	1.2	0.2
女性・60～64歳	2,303	40.6	24.0	42.1	63.8	89.0	10.2	3.8	11.0	1.5	1.0	0.0
女性・65～69歳	2,049	37.7	17.2	31.4	59.3	82.4	13.2	4.9	7.4	1.5	1.5	0.5

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	仕事の専門 知識・技能が あること	専門性よりは 色々な仕事 ができる能力 や幅広い 経験	協調性、仕 事に取り組 む真摯な態 度など	いつまでも現 役で活躍す る(若い者 には負けない という意欲	健康・体力 (65歳まで の勤務以上 に重要であ る)	幅広い人脈、 知り合いが 多いこと(就 職のあっせ んで助けて もらえる)	過去の転職 経験	定年前から、 定年後を意 識した準備を 用意周到に 進めること	高齢者にな かなか仕事 はないので 転職などは せず慣れた 職場で働くこ と	無回答
男女計	10,000	47.2	19.4	34.6	27.4	66.8	11.6	3.2	5.8	23.7	5.6
60～64歳	6,005	48.6	17.1	33.5	27.3	64.8	10.7	2.9	5.8	24.9	4.8
65～69歳	3,994	45.1	22.7	36.4	27.6	69.8	12.9	3.8	5.7	21.9	6.8
男性計	5,779	53.0	21.0	34.9	29.3	64.2	13.9	3.1	5.6	17.6	5.7
男性・60～64歳	3,541	54.4	19.5	32.8	29.0	62.3	13.4	2.9	6.0	18.9	4.6
男性・65～69歳	2,238	50.9	23.5	38.2	29.8	67.1	14.7	3.5	5.0	15.7	7.4
女性計	4,220	39.3	17.1	34.3	24.8	70.3	8.5	3.4	6.0	31.9	5.5
女性・60～64歳	2,464	40.3	13.7	34.5	24.8	68.3	6.9	2.8	5.6	33.5	5.1
女性・65～69歳	1,756	37.8	21.7	34.1	24.8	73.1	10.7	4.1	6.5	29.8	6.1

(70歳以降の働く予定)

65～69歳で働いている人を対象に70歳以降の働く予定を尋ねた結果をみると、「まだ決めていない。わからない」が28.9%と最も多く、次いで「年金だけでは生活できないので、なお働かなければならない」が26.9%、「生きがいや健康のために、元気な限り働きたい」が22.4%、「もう十分に働いたので、引退して好きなことを楽しみたい」が11.0%などとなっている。

2014年調査と比較すると、「まだ決めていない。わからない」と「年金だけでは生活できないので、なお働かなければならない」の割合が上昇する一方で、「生きがいや健康のために、元気な限り働きたい」の割合は低下し、「もう十分に働いたので、引退して好きなことを楽しみたい」の割合には大きな変化は見られない。男女別にみても、男女とも概ねこれと同じ傾

向である。(図表3-38)

図表3-38 70歳以降も働くつもりがあるか
(65～69歳で働いている人を対象)

〈2019年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	まだ決めて いない。わ からない	もう十分に 働いたの で、引退し て好きなこ とを楽しみ たい	年金だけ では生活が できないの で、なお働 かねばなら ない	生きがい や健康のた めに、元気 な限り働 きたい	すでに働 くことが (ほぼ)決 まっている (誘い・雇 用契約が ある)	その他	無回答
男女計	4,842	100.0	28.9	11.0	26.9	22.4	3.8	3.2	3.8
男性	2,794	100.0	27.2	12.6	27.2	21.9	4.4	2.7	4.0
女性	2,049	100.0	31.4	8.8	26.5	23.0	2.9	3.9	3.4

〈2014年調査〉

(%)

	総数 (千人)	計	まだ決めて いない。わ からない	もう十分に 働いたの で、引退し て好きなこ とを楽しみ たい	年金だけ では生活が できないの で、なお働 かねばなら ない	生きがい や健康のた めに、元気 な限り働 きたい	すでに働 くことが (ほぼ)決 まっている (誘い・雇 用契約が ある)	その他	無回答
男女計	3,994	100.0	23.4	10.4	18.9	30.8	2.6	2.8	11.0
男性	2,238	100.0	24.4	11.0	20.6	28.2	3.5	2.2	10.2
女性	1,756	100.0	22.3	9.8	16.8	34.1	1.6	3.5	12.1